

目次

法 律 関 係	2
政 治 関 係	14
哲学・思想／倫理／宗教関係	22
心 理 関 係	36
教 育 関 係	59
社会・文化	70
言語・経済・科学他	86
初年次教育	90

北樹出版 大学テキスト 目録

2016-17

■このテキスト目録には、**2016年10月**までに小社で刊行した既刊図書のうちから、大学テキストに適したものを選別し、分類・収録されています。[近刊]の表示のあるものは、おもに2017年春頃までの刊行を予定しているものです。

■各書目は、編著者名・書名・副題・内容紹介・判型・頁数・価格・ISBNコード、版（改訂版、新版等）刊行年の順に並び、新たに各〈主要目次〉をすべてに附しました。

■ISBN（国際標準図書番号）コードとは、

日本国(国別)記号 書名記号(本目録に表示)
978-4-89384-.....
北樹出版(出版社)記号
978-4-7793-.....

で構成される各書目独自の商品記号です。書店にご注文なさる場合に、このコード番号をご利用いただくと商品の届けが早く確実になる場合がございます。なお書名記号3桁が 978-4-89384 に続くコードとなり4桁のものが 978-4-7793 に続くコードになります。

■この目録に表示されている価格はすべて**本体価格**です(2016年10月現在)。ご購入の際にはこれに**消費税が加算**されることになりますので、ご注意下さい。また諸事情により価格を変更する場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

法律

法学一般／憲法／行政法／民商法
刑事法／刑事学／労働法／国際法

澤木敬郎・荒木伸怡・南部 篤 著

ホーンブック法学原理 [第4版]

〈ホーンブックシリーズ〉

法学を学ぼうとする学生が法律学に対して抱いている従来のイメージを打破することを目標に、人と社会の関連性を明確に認識させ、法学が体系的な学問であり、技術的要素を持つ学問であることを説く。

A 5上製 249頁 2400円 (0460-6) [2015]

〈主要目次〉

序章 法学を学び始める人へ 第1章 法とはなにか 社会と秩序—行為規範—慣習・道徳・法—権利と義務—法と実力—法と言語—法と論理—法の目的・理念 第2章 法の成立と形式 法系と法の継受—制定法—附合契約—慣習法—判例法—学説—条理 第3章 法と裁判 裁判制度の基礎—民事紛争の解決—裁判制度とその理念—裁判と法曹—司法過程と事実認定 第4章 法と行政 第5章 法の発展 終章 法学の学び方

吉田 稔 著

社会に生きる法 [改訂版]

法との新しい出会い

刊行以来5年、重要な法律問題の発生や新立法の制定、古いデータや数字の訂正の必要性、授業体験の中での項目の取捨選択等により、さらに身近かな法への糸口として、読者に問う新しい法学のテキスト。

四六上製 266頁 2600円 (727-9) [1999]

〈主要目次〉

1 法学への案内 2 社会のしくみと法 3 現代法の原理と法の解釈 4 紛争の解決と裁判 5 家族生活と法 7 財産 8 契約 9 損害賠償 10 土地と都市 11 企業社会と法 12 環境と法 13 地球環境問題と法 14 高度情報化社会と法 15 社会保障と高齢化社会 16 教育と法 17 犯罪と刑罰 19 人権の尊重 20 個人と国家 21 象徴天皇制 22 憲法第9条と国際平和 23 生命と法 学習文献案内

土岐 茂・渡辺隆司・吉田 稔 著

人間と法 [改訂版]

労働・秩序・生命

社会現象が多様化し、法律が細分化して錯綜する現代社会における根本的問題を解決するために秩序・労働・生命と法の基本的問題を今日的具体的事柄を多数取り上げて平易・簡明に論究した新テキスト。

四六上製 250頁 2500円 (978-6) [2004]

〈主要目次〉

第1編 秩序と法 1 秩序とルール 2 自由と基本的人権 矛盾の発生と法秩序 3 平和と法 第2編 労働と法 1 仕事をさがす 2 働きはじめる仕事を変える、やめる 3 今日の問題と労働者の権利保護に向けて 第3編 生命と法 1 生命の誕生 2 生命の終焉 3 生命と医療技術、社会 4 生命倫理と法

榎 透・岩切大地・大江一平・大林啓吾・守谷賢輔 著

時事法学 [新版]

法から見る社会問題

昨今ホットな法的問題を扱い、法的論点を解説したテキスト。各章冒頭に事例と設問を挙げ、適宜法律、判例に触れながら、具体的に説明した。さらに章末の練習問題で、理解の深化を図ることができる好テキスト。

A 5 上製 240 頁 2400 円 (0274-9) [2011]

〈主要目次〉

- 1 食の安全と法 2 プライバシーと法—自己情報コントロール権の問題 3 インターネットと法—ネット上の名誉毀損の問題 4 報道と法—取材と報道の衝突 5 動物と法 6 環境と法 7 宗教と法 8 家族と法—同性愛者の法的問題 9 性的区別と法 10 国籍と法 11 福祉と法 12 医療と法—尊厳死・安楽死・輸血拒否の自己決定権 13 保育と法 14 健康保険と法 15 飲酒・喫煙と法 16 虐待と法 17 国際離婚と法

山本 聡 著

法学のおもしろさ [改訂版]

法の起源から人権まで

かちかち山と刑罰・J-POP と社会規範、安部公房と所有概念、千と千尋の神隠しと契約、サザエさんと家族法親族法等あらゆる素材を駆使して法とは何かを説く。法学への興味の喚起を意図するテキスト。

A 5 並製 232 頁 2400 円 (0369-2) [2013]

〈主要目次〉

法の起源について 法と文学 法と道徳と倫理 権利と義務の関係 法の解釈と屁理屈 公法と私法の分離と融合 刑罰は何のためにあるのか 回顧的刑事責任から展望的刑事責任へ 契約の自由と信義則 親戚はどの範囲まで 社会法の成立 責任という原理 知は誰のものか 日本国憲法のおもしろさ 法的思考とバランス 等

三浦 隆・石川 信 編著

現代法学入門

国際社会では同時多発テロ・北朝鮮問題、国内では凶悪犯罪・児童虐待・医療過誤等。改めて社会とは何か、法とは何かが問われている現在にあって、現代法学の基礎知識を提供しながら現状と課題を探る。

A 5 上製 316 頁 2900 円 (955-7) [2004]

〈主要目次〉

- 第1部 法のアウトライン 法学へのいざない 法とはなにか 法と社会規範 法の種類 法の効力 法の適用 法の発展 第2部 憲法のアウトライン 憲法とはなにか 国民主権 平和主義 基本的人権 三権分立 地方政治 憲法改正
- 第3部 現代法の基本問題 家族生活と法 日常生活と法 金融取引と法 犯罪と法 裁判と法 国際社会と法 情報社会と法 福祉社会と法 資料 日本国憲法

山岸喜久治 著

法のかたちと国家のなりたち

人間の共同体かつ権力機構である「国家」という視点をもちつつ、その秩序維持のために存在する法を歴史的・体系的に解説。更に英米独仏の政治制度と比較することにより、日本のそれを浮き彫りにする。

四六上製 262 頁 2400 円 (0354-8) [2012]

〈主要目次〉

- 第1部 法のかたち 序 公法と私法の体系 1 公法・その1—憲法 2 公法・その2—行政法 3 公法・その3—刑法 4 私法・その1—民法 5 私法・その2—商事法 6 私法・その3—労働法 7 訴訟法・その1—民事訴訟法 8 訴訟法・その2—刑事訴訟法 第2部 国の統治システム 9 アメリカの政治制度 10 イギリスの政治制度 11 フランスの政治制度 12 ドイツの政治制度

三浦一郎 著

リアルタイム法学・憲法 [改訂4版]

法学・憲法を学ぶ意味を身近に感じ、実践的なものにするために、最新のニュースをリアルタイムに取り上げ、生活と関わらせながら法の重要項目を判例、用語解説、資料を多数収録し、具体的に把握させる入門書。

A 5 上製 246 頁 2600 円 (0448-4) [2015]

〈主要目次〉

法学セクション 1 法とは何か 2 法と社会規範 3 法の分類 4 法の効力 5 法の適用 6 裁判と法 7 犯罪と法 8 家族と法
憲法セクション 9 憲法とは何か 10 国民主権 11 平和主義 12 基本的人権の尊重
13 自由権 14 参政権・国務請求権 15 社会権 16 平等権 17 新しい人権 18 人権の制限が許される場合 19 三権分立 20 憲法と財政 21 地方自治 22 憲法の保障

加藤一彦・植村勝慶 編著

新4版 現代憲法入門講義

憲法と現実の矛盾を意識しつつ、そのあるべき姿を初学者に理解できるよう解説、新しい憲法問題にも言及した。各講のレジメが要点の把握をたすけ、チェックポイントがさらなるステップアップを促す。

A 5 並製 344 頁 2800 円 (0443-9) [2015]

〈主要目次〉

[新5版近刊]

憲法の勉強の仕方 憲法とはそもそも何か 日本国憲法史と日本国憲法の3大原則 人権総論 外国人の人権と国際人権保障 法の下での平等 内面の精神的自由 経済活動の自由 人身の自由 社会権 平和主義 国会 政治・政党・官僚制 内閣・議員内閣制 裁判所 財政 地方自治 象徴天皇制 憲法改正 ゼミに入ってから勉強法 キーワード索引

麻生多聞 ほか著

初学者のための憲法学

新進気鋭の執筆陣が初学者にも分かりやすいよう、現代社会の問題を切り口に基本的論点を浮き彫りにしながら丁寧に解説した。スタンダードで新しい憲法の入門書。日本国憲法、大日本帝国憲法も収録。

A 5 上製 310 頁 2700 円 (0122-3) [2008]

〈主要目次〉

はしがき 1 章 憲法とは何か 2 章 日本国憲法 3 章 国民主権 4 章 平和主義 5 章 基本的人権の原理 6 章 人権の制約と適用範囲 7 章 包括的基本権 8 章 法の下での平等 9 章 表現の自由 10 章 思想・良心の自由 11 章 信教の自由 12 章 社会権 13 章 教育と憲法 14 章 人身の自由 15 章 経済的自由権 16 章 参政権 17 章 家族と憲法 18 章 国会 19 章 内閣 20 章 裁判所 21 章 地方自治

柏谷友介 著

憲法入門

日本国憲法の全体的枠組みとその内容を平易に解説。条文や判例などを随所に挿入し、幅広い総合的判断力を培うよう配慮し、限られた頁数内で全体を容易に把握できるように工夫のいきとどいた入門書。

四六並製 188 頁 1800 円 (329-X) [1994]

〈主要目次〉

第1章 憲法—近代憲法・日本国憲法
第2章 国民主権—国民主権・地方自治・天皇制 第3章 基本的人権の保障—国民の基本的人権・包括的基本権・個別的基本権・国民の義務 第4章 平和主義—裁判所における憲法9条と自衛隊・裁判所における国（政府）の主張・憲法9条と日米安保条約・国際連合 第5章 権力分立—国会と立法権・内閣と行政権・裁判所と司法権

藤田尚則 著

日本国憲法 [2改訂版]

国民投票法が成立し、日本国憲法を取り巻く問題状況が大きく変化する中、基本理念たる平和主義・民主主義・人権尊重主義に立ち返り、現実に沿った憲法解釈の論点を解説する。重要判例を多数掲載する。

A 5 上製 278 頁 2800 円 (0297-8) [2011]

〈主要目次〉

はしがき 第1部 総論 1 憲法とは何か 2 日本憲法史 3 平和主義の原理
第2部 基本的人権 1 基本的人権の原理 2 包括的基本権と法の下での平等 3 精神的自由権 4 経済的自由権 5 人身の自由 6 国務請求権と参政権 7 社会権
第3部 統治機構 1 国民 2 天皇 3 国会 4 内閣 5 裁判所 6 違憲審査制と憲法訴訟 7 地方自治 8 財政

加藤一彦・只野雅人 編著

現代憲法入門ゼミ 50 選

憲法の特質を明確に打ち出し、平易な記述で共同討論の素材を提供。厳選した50の課題に対応する学説、判例、理論を確実に理解させ、公務員試験、各種資格試験、法科大学院進学のための知識を把握させる。

A 5 並製 384 頁 3300 円 (984-0) [2005]

〈主要目次〉

1 個人の尊厳 2 幸福追求権 3 人権の私人間効力 4 個人の人権 5 外国人の人権 6 国際人権保障 7 法の下での平等 8 非嫡出子相続分と法の下での平等
9 思想・良心の自由 10 信教の自由とその限界 12 表現の自由と報道・取材の自由 17 学問の自由 18 経済的自由と職業選択 19 経済的自由と財産権の保障 23 教育を受ける権利 26 国民主権と代表制 30 国政調査権 50 憲法改正の限界他

横坂健治 著

憲法と市民社会

人生と法律の関係を様々な社会状況の中で考察した。単なる憲法解釈や法律文言の説明にとどまらず、市民、国民生活としての実態を基に、家族、犯罪、裁判、行政や社会に即した法的議論を展開した憲法のテキスト。

A 5 上製 252 頁 2700 円 (0415-6) [2014]

〈主要目次〉

1 法と人間社会（道徳や宗教による行為規範機能、法と文化 他） 2 家族と法（家族法の変遷、婚姻と親族、親子の関係、相続 他） 3 犯罪と法（犯罪と社会、刑罰の根拠、死刑制度について、保安処分 他） 4 裁判と法（行政事件と裁判、民事事件と裁判、刑事事件と裁判 他） 5 市民社会と法（財産、契約、損害賠償、生活環境、地球環境、都市生活と国土、社会福祉と社会保障、企業社会と労働者、生命の終わり 他） 6 国家と憲法 7 憲法と人権 8 憲法と制度

山岸喜久治 著

教養としての憲法学

分かりやすくコンパクトな憲法の入門書。実際に条文を参照しながら、憲法の「あるべき姿」と「ある姿」を考えていくことができるよう、条文資料を豊富に掲載している。憲法の全体像を捉えるのに最適なテキスト。

四六上製 332 頁 2300 円 (0007-x) [2005]

〈主要目次〉

序 憲法とは何か 1 章 国民主権と天皇制—象徴天皇制他 2 章 恒久平和主義 3 章 基本的人権の尊重—根源的人権—人身の自由他 4 章 国会の地位と権能—議院および議員—衆議院の優越他 5 章 内閣と行政権—行政権の帰属—内閣の構成・資格他 6 章 裁判所と司法権—司法権の独立—憲法訴訟他 7 章 国家財政の制度 8 章 地方自治の保障—地方自治の意義—公共団体の組織と運営他 9 章 憲法の改正—憲法忠誠他

米沢広一 著

憲法と教育 15 講 [第4版]

子どもの問題・教育の問題が注目される現在において、日本国憲法下で法は何を目指すのか。子どもの権利・親・教師・学校の教育の自由等、教育権論争を踏まえながら個別問題毎の論考で、全体像を明らかにする。

A 5 上製 228 頁 2400 円 (0487-3) [2016]

〈主要目次〉

- 1 日本国憲法下での教育権論争と現在の課題
- 2 未成年の人権享有主体性
- 3 生徒の自己決定権
- 4 日の丸・君が代と学校
- 5 宗教と公立学校
- 6 生徒と政治
- 7 教育情報の本人開示と公開
- 8 教科書の検定、採択、給付、使用
- 9 学校事故の賠償と防止
- 10 障害児の教育を受ける権利
- 11 外国人の子どもの教育を受ける権利
- 12 親の教育の自由
- 13 教師の「教育の自由」
- 14 私立学校と憲法
- 15 児童の権利条約

花見常幸・藤田尚則 著

憲 法 [改訂版]

憲法の学習に際し、基本原理や構造を歴史的な背景や比較の視点を通し正確に理解すること、現実政治や社会・経済生活の中での裁判規範としての憲法の役割を柱に、初学者に向け、徹底した平和主義と人権尊重を提示する。

A 5 上製 332 頁 3000 円 (0345-6) [2012]

〈主要目次〉

- 1 部総論 1 憲法の概念 2 近代立憲主義と現代の変容 3 日本の憲法史 4 国民主権と象徴天皇制 5 平和主義 2 部人権論 1 人権の原理 2 人権の主体 3 基本的人権の限界 4 包括的基本権 5 法の下位の平等 6 精神的自由 7 経済的自由 8 人身の自由と刑事手続上の諸権利 9 国務請求権 10 社会権 11 参政権 12 国民の憲法上の義務 3 部統治機構論 1 国会 2 内閣 3 裁判所 4 財政 5 地方自治 6 憲法の保障と違憲審査制

加藤一彦 著

教職教養憲法 15 話 [改訂3版]

教職を目指す人達のための憲法のテキスト。人権とは何かを問いかけ考えさせつつ、日本の国家のしくみ・根幹を分かりやすくコンパクトに解説する。生徒への眼差しを養う、実践に生きる憲法学習入門。

四六並製 186 頁 1900 円 (0482-8) [2016]

〈主要目次〉

- 1 オリエンテーション：法の世界への誘い
- 2 憲法と日本国憲法
- 3 人権設計図
- 4 法の下位の平等
- 5 精神的自由（1）：思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由
- 6 精神的自由（2）：表現の自由
- 7 経済的自由
- 8 人身の自由
- 9 生存権と労働基本権
- 10 教育権
- 11 平和主義
- 12 国会
- 13 国会と内閣／議院内閣制
- 14 裁判所
- 15 地方自治 補講 日本国憲法の未来 学習参考文献 資料：教育関係重要法文書

山本 聡 著

憲法のおもしろさ [改訂版] 憲法に欠けているもの余計なもの

憲法の基本をウルトラマンや大岡政談等、ユニークな切り口で、読者の興味を惹きつつ解説。憲法の役割、成り立ち、自由・平等の理念、民主主義、国会、司法権、地方自治等を丁寧に解説した入門書。

A 5 並製 212 頁 2300 円 (0377-7) [2013]

〈主要目次〉

憲法は素晴らしいが、何の役に立つのだろうか？ 戦後の日本はヘソによってつくられた天皇の給料は、お仕事にみあっているか ウルトラマンは地球を守るために戦う？ 自由が先か、平等が先か 大岡政談にみる黙秘権と無罪の推定 言論の自由は「言いたいことを言う権利」ではない 教育の主体国家？ それとも国民？ 幸福追求権の中身と自己決定 参政権があるだけでは民主主義とはいえない 統治機構は人権を守る手段である 等

櫻井智章 著

判例で読む憲法

憲法の学習における最重要判例を詳しく取りあげ、それについて関連する判例・法令・学説について解説。憲法判例を読むことを通して、憲法を学ぶ上で修得すべき基礎知識の獲得を目指した意欲的な書。

A5並製 320頁 2400円 (0513-9) [2016]

〈主要目次〉

憲法と憲法上の権利 裁判所と司法権 違憲審査権 法の下での平等(1)(2) 精神的自由(1)(2) 経済的自由 二重の基準論 適正手続 包括的基本権 選挙権 基本権の主体 基本権の私人間効力 公務員の基本権(1)(2) 政教分離

山岸喜久治 著

憲法のことばと考え方

憲法の基礎知識と基本的な考え方が修得できるように編まれた憲法学の入門書。憲法の性質、歴史的成り立ちや政治システムにおける役割、仕組みを解説した上で、判例を学説に即しつつわかりやすく説述。

A5上製 230頁 2400円 (0498-9) [2016]

〈主要目次〉

序章 憲法とは何か 1 明治憲法と近代(明治維新と憲法 明治憲法の特徴) 2 日本国憲法の成立(日本国憲法の制定 憲法の前文と三原理) 3 憲法と政治システム(権力の分立 国会 内閣 裁判所 財政 地方自治) 4 国民の権利と義務(総説 包括基本権(一般的自由権) 平等権 自由権 参政権 受益権(国務請求権) 社会権 義務) 5 憲法の最高法規性(最高法規 憲法の改正)

柳瀬 昇 編著 岡田順太・上代庸平 著

憲法(統治機構論)標準講義(仮題)

[近刊]

〈主要目次〉

はじめに

1 憲法総論 2 国会と立法権 3 内閣と行政権 4 裁判所と司法権・違憲審査権 5 財政 6 地方自治 7 天皇 8 平和主義 9 日本憲法史 10 憲法改正

猪野 積 著

行政法講義(総論)

全体を行政執行と国民の関係を機能的に解説するという体系で統一し、実務上の具体的問題事案の解決例を通じて理解を深められるよう、できる限り判例の引用に努めることで、行政法の理解を促す好著。

A5並製 216頁 2200円 (0223-7) [2010]

〈主要目次〉

1 行政法総説 憲法と行政 行政の意・分類・法源 行政法上の法律関係の特質 法治主義 行政法の効力の及ぶ範囲 2 行政組織法総論 行政主体 行政機関 行政関通則 3 行政作用法総論 行政の行為形式 行政手続 行政情報の公開 行政機関個人情報保護

安達和志 ほか著

ホーンブック行政法

行政法の初学者に向けて、基本的内容を体系的に分かりやすくコンパクトに解説した入門教科書。2016年度からの法改正など近年の動向を反映し、前身の好評の書『ホーンブック新行政法』を全面改訂した。

A5 上製 252 頁 2600 円 (0505-4) [2016]

〈主要目次〉

- 1 行政法の基本原理（民主国家における責任行政・司法国家的な法治行政・生存権保障のための積極行政・地方分権と住民自治の原理）
- 2 行政法の体系（行政法と六法・現代諸法 行政法存在形態 行政法の制度とその編成 行政作用のしくみ）
- 3 行政組織法（行政主体と行政機関国と自治体の行政組織）
- 4 行政活動の法的規律（行政活動の諸形態 行政上の手続的規律 行政の実効性確保）
- 5 行政救済法（行政不服申立て 行政事件訴訟 国家賠償 損失補償）

人見 剛・須藤陽子 編著

ホーンブック地方自治法 [第3版]

（ホーンブックシリーズ）

これからの地方自治を考えるために必要不可欠な地方自治法の基礎と現在を詳説しつつ、問題点と課題を提示した。体系的で事例も多く盛り込み、分かりやすく、初学者・自治体関係者に必携のテキスト。

A 5 上製 252 頁 2600 円 (0450-7) [2015]

〈主要目次〉

- 1 地方自治の法原理と地方自治制度の歴史
- 2 自治体の種別と区域
- 3 自治体の組織と自治組織権
- 4 住民の権利・義務
- 5 自治立法権
- 6 自治行政権
- 7 公の施設
- 8 自治財政権

兼子 仁 著

自治体行政法入門 [改訂版]

実務行政法学をめざして
〈法務研修・学習テキスト〉

〈主要目次〉

- 1 自治体行政法とは一住民の参画する地域自治他
- 2 自治体の政策法務 自治政策立法をサポートする法務
- 3 自治体行政にかかわる法分野のいろいろ
- 4 自治体の情報公開と個人情報保護
- 5 自治体による行政手続、行政処分、行政強制
- 6 自治体をめぐる争いの解決—行政訴訟—苦情相談とオンブズマン他
- 7 住民に開かれた自治体財務
- 8 「公の施設」の利用と管理のしくみ—「公の利用」と管理のしくみ他

地方分権の時代に、「自治体行政法」の入門研修が、各自治体の自治立法や法解釈の重要性とともに活発化している。本書は自治体職員の法務研修用テキストとして具体例をコラム等に盛り込み分かりやすく解説する。

A 5 並製 216 頁 2400 円 (0127-8) [2008]

浪本勝年 代表編集

ハンディ教育六法 [2016 年版]

現行教育法のみならず、資料・図表及び年表を充実させ、近現代の教育史上重要な文書や法令、及び教育制度の図表化等で相互関係のかつ歴史変遷的に理解できるよう工夫した教育関係者必携の教育六法。

四六並製 474 頁 2100 円 (0489-7) [2016]

〈主要目次〉

- 第1編 教育基本法編
- 第2編 学校教育編 学校教育 教科書 学校図書館 私立学校
- 第3編 教育振興・奨励編 就学奨励他
- 第4編 学校保健・学校安全編
- 第5編 社会教育・生涯学習編
- 第6編 児童・社会福祉編
- 第7編 教育行財政編 教育行政 教育財政
- 第8編 教育職員編 人事通則 免許関係他
- 第9編 関連法編
- 第10編 自治体条例編
- 第11編 資料編 年表他

米沢広一 著

教育行政法

教育基本法改正と共に大きく変動する教育行政の動きに焦点をあてつつ、教育行政とは何か、その法体系の概要を整理しながら法的論点を抽出し、教育行政の基本原理に基づいた検討を加える注目の意欲作。

A 5 上製 232 頁 2500 円 (0296-1) [2011]

〈主要目次〉

序 教育行政法の基本原則 1 教育行政組織（国と地方の役割分担 他） 2 学校制度（学校の設置、就学校、進学・進級、学校の組織編制、学校評価 他） 3 教員免許制・任用・服務（教員免許制、公立学校教員の任用、公立学校教員の評価・研修・勤務条件等） 4 教育活動（授業、生徒の評価、生徒指導等） 5 教育財政（教育財源、奨学措置、私学助成・減免税） 6 救済制度（行政上の救済、司法上の救済）

原田三朗・日笠完治・鳥居壯行 著

新・情報の法と倫理

情報化社会のなかでクローズアップされる、プライバシーの侵害や不法侵入の問題等に対して情報に関する法的・倫理的規制を基礎から解説し、情報セキュリティも含め具体的な課題の検討をまとめた好著。

A 5 上製 238 頁 2800 円 (899-2) [2003]

〈主要目次〉

1 法と倫理の基本概念 法の基本的枠組み リーガルマインドの形成 倫理の基本的枠組み 情報関連職の職業倫理 2 情報の法 表現の自由の展開 表現の自由の限界 情報価値の保護 情報流通の法制度 3 情報の倫理 情報化社会と倫理の必要性 メディアの倫理 記録管理の倫理 情報通信の倫理 情報セキュリティ 参考文献一覧

浪本勝年・三上昭彦 編著

「改正」教育基本法を考える

逐条解説

[改訂版]

多くの問題を孕み改正された教育基本法の中に、教育条理・憲法・子どもの権利条約等の精神を踏まえた解釈の可能性を探り、逐条解説の形式で問題点と課題を考察。民主党の日本国教育基本法案等も掲載。

A 5 並製 128 頁 1300 円 (0134-6) [2008]

〈主要目次〉

1 「改正」教育基本法を考える一その制定過程と特徴 問題点 課題 新法の制定過程 「改正」教育基本法の構成と基本的性格 憲法 国際人権条約と新教育基本法 教育条理にそった新教育基本法の解釈を 2 1947 年教育基本法の歴史的意義 成立の過程 3 「改正」教育基本法の逐条解説 教育の目的及び理念・教育の実施に関する基本 教育行政 法令の制定・附則一施行期日等 4 教育基本法をめぐる資料 文献・資料

兼子 仁 著

行政書士法コンメンタール

[新 7 版]

改正を重ね発展している行政書士法に関する第一人者による最新のコンメンタール。重要資料を多数集録した逐条研究による最先端の実務的法解説書として、行政書士とその受験者にとっての必携の書。

A 5 並製 238 頁 2400 円 (0438-5) [2015]

〈主要目次〉

I 序説 行政書士とは 行政書士法の成立と改正の沿革 行政書士法コンメンタールとしての本書の意図 II 行政書士法の逐条研究 総則 行政書士試験 登録 行政書士の義務 行政書士法人 監督 行政書士会及び日本行政書士会連合会 雑則 罰則 付則 III 資料編 行政書士法施行規則 組合等登記令 行政書士試験の施行に関する定め 行政書士試験事務規程 日本行政書士連合会会則 東京都行政書士試験手数料条例他

伊藤 進 編著

ホーンブック民法Ⅰ 民法総則

〈ホーンブックシリーズ〉

〔改訂版〕

ホーンブック民法の第1巻として総則全般を俯瞰的に平易に解説。バラエティに富む記述で読者のニーズを配慮し、基本的問題を自ら考え、関心を惹起する学習入門書となることを意図としてまとめる。

A 5 上製 202 頁 2000 円 (818-6) [2001]

〈主要目次〉

- 1 章 民法とはどのような法律か 2 章 私的関係を処理する道具—私権
3 章 私法関係の主体となりうる人間 4 章 私法関係の主体となりうる組織体
5 章 私権の対象となりうる「物」 6 章 私権変動の原因となりうる法律行為
7 章 他人による法律行為 8 章 法律行為の効力 9 章 法律効果にかかわる条件と期限 10 章 期間の計算 11 章 時の経過による私権の変動

伊藤 進 編著

ホーンブック民法Ⅱ 物権法

〈ホーンブックシリーズ〉

〔改訂版〕

1巻と同じ編集方針のもとに種々の工夫をこらし、物権法全般にわたる基礎的知識を平易に理解・把握させることを意図とした新鮮な入門テキスト。

A 5 上製 232 頁 2400 円 (980-8) [2005]

〈主要目次〉

- 1 章 物件法とは 2 章 物件の変動を生じさせる原因
2 章 物の所有に注目した権利—占有権
4 章 物を全面的に支配できる権利—所有権
5 章 土地の利用関係を処理する権利—用益物権
6 章 物を担保にする関係を処理する権利—担保物権

伊藤 進 編著

ホーンブック民法Ⅳ 債権各論

〈ホーンブックシリーズ〉

〔改訂版〕

初心者にとって理解しやすいように債権各論の全般をコラム・図解等を挿入し、きわめて平易に要点を絞り解説。基本的問題の解説は基礎力を養い、検討課題を提示することで、読者を次なるステップへと導く。

A 5 上製 264 頁 2400 円 (915-8) [2003]

〈主要目次〉

- 1 章 債権各論とはなにか
2 章 契約の締結・効力・解除
3 章 種々の契約
4 章 事務管理
5 章 不当利得 6 章 不法行為

伊藤 進 編著

ホーンブック民法Ⅴ 親族・相続法

〈ホーンブックシリーズ〉

〔改訂版〕

親族・相続法の全般にわたり、基本的な問題を体系的に整理し、簡明に要説する。図解・コラム及び検討問題等を多数収録して、初学者が容易に理解でき、基礎力が身に付くことを意図とした新しいテキスト。

A 5 上製 296 頁 2700 円 (0026-6) [2006]

〈主要目次〉

- 第1編 親族法 親族・相続法とは 家事事件を処理するための手続き 親族とは 戸籍と氏 夫婦関係に関する法 夫婦関係の解消に関する法 内縁の関係 親子の関係 親権および後見とは 扶養の関係は
第2編 相続法 相続とは 相続できるひと 相続の割合 相続の対象となる財産 遺産の分割 相続回復請求権 相続の承認、放棄 遺言制度 遺留分制度

伊藤 進・織田博子 編著

民法判例演習

法科大学院テキストシリーズ

〈主要目次〉

組合契約の解釈、強行規定 債権の準占有者に対する弁済—民法478条の適用範囲 消滅時効の援用 賃料債権への物上代位—抵当権と利用権の調整 1 抵当権者と妨害排除—抵当権と利用権の調整 2 医師の過失と患者の自己決定（輸血拒否事件） 被害者の素因と過失相殺の類推適用 過労と自殺 将来債権の包括的譲渡 転用物訴権 内縁夫婦の一方の死亡と居住不動産の利用関係 無権代理と相続 遺言の解釈—〇〇を相続させる旨の遺言

重要判例を素材に、事案の把握、争点に関する整理と裁判所の判断、そして更なる展開という構成で自主学习によって法曹としての能力を養うことができるように工夫された法科大学院生向けの新テキスト。

A 5 並製 256 頁 2700 円 (958-1) [2005]

小嶋明美 著

民事訴訟の仕組みと理論

〈主要目次〉

1 民事訴訟法とは（実体法と手続法、訴訟と ADR 他） 2 民事訴訟の仕組み 3 裁判機関 4 当事者 5 審理の対象 6 訴訟の開始 7 訴訟の審理①：審理・口頭弁論の展開（審理・口頭弁論の展開、訴訟行為の規律 他） 8 訴訟の審理②：裁判所と当事者の役割（職権進行主義、弁論主義 他） 9 訴訟の審理③：事実認定と証拠（証拠調べ手続総論、書証、証人尋問、鑑定、検証、自由心証主義 証明責任 他） 10 判決、その他の訴訟終了 11 上訴

身の回りで起こる身近な出来事を対象としているものの、民事訴訟法は身近とはいえない。そのイメージを払拭すべく、柔らかい言葉でリアルに民事訴訟法の仕組みと理論を解説。初学者にも分かりやすい入門書。

A5 上製 266 頁 2500 円 (1399-9) [2014]

棚橋祐治・高倉成男 著

ホーンブック知的財産法 I

〈ホーンブックシリーズ〉

〈主要目次〉

1 章 総論 知的財産法の概要 知的財産戦略の動向 知的財産訴訟制度の改革 2 章 特許法 職務発明 特許出願 特許用件 先端技術と特許用件 審査 審判 特許庁の処分に係る訴訟 特許権の効力と制限 実施権 特許侵害と救済措置 特許権侵害に関する最近の法改正 3 章 不正競争防止法 沿革 概念 規制 体系 不正競争防止法の個別類型 条約上不正行為として禁止する行為 民事上の規律 刑事上の規律他

現今における特許法及び不正競争防止法の最新テキスト。図解と関連資料を多数収録し、全般にわたり簡潔・平易に解説。初めて学ぶ読者に知的財産法の基礎的理論と新しい立法の動向を習得させる好著。

A 5 上製 238 頁 2600 円 (0040-1) [2006]

河内隆史 編著

手形法・小切手法

現代商法講義 Ⅲ

〈主要目次〉

1 章 手形・小切手の使い方と特徴 手形・小切手とは何か 2 章 銀行取引の中の手形・小切手 当座勘定契約 3 章 手形行為と手形学説 交付欠陥と多型理論 4 章 偽造・変更 5 章 手形・小切手の記載事項 6 章 白地手形 7 章 手形・小切手の流通と流通保護 8 章 裏書と形式的資格 9 章 手形抗弁 10 章 手形・小切手の支払・遡求・保障 11 章 手形の時効と利得償還請求権 12 章 手形・小切手の喪失対策 資料

商法を難解と考える初学者にも親しみやすい商法入門書として企画された現代商法講義の第 3 巻。手形法・小切手法を分かりやすく概説。付属資料として銀行取引約定書他、手形、小切手等の見本も掲載。

A 5 上製 226 頁 2500 円 (0067-3) [2006]

紙 博文 著

法人税法概説

税法の入門として、まず税とは何か、徴収根拠等から税の基本的事項を解説し、三大税収の一つである法人税法のアウトラインを示す。本文に即して、コラムや計算式・判例・新聞報道を挿入し具体化を図る。

A5 上製 200 頁 2300 円 (0476-7) [2015]

〈主要目次〉

第1章 租税に関する基本的な項目1 第2章 租税に関する基本的な項目2 第3章 法人税法の概要1 第4章 法人税法の概要2 第5章 課税所得計算の概要 第6章 課税所得の計算1 第7章 課税所得の計算2 第8章 課税所得の計算3 第9章 申告と納税 補論 所得税 消費税

船山泰範 編著

ホーンブック新刑法総論

〈ホーンブックシリーズ〉

自学自習が可能なテキストとして、刑法学のエッセンスを、きわめて平易な叙述と、全体の把握を容易にさせ親しみを与える図版及びイラストを用いて初学者にも理解できるよう工夫をこらした最新の書。

A5 上製 236 頁 2600 円 (0140-7) [2008]

〈主要目次〉

第1章 刑法の役割と基本原則 第2章 刑法の歴史 第3章 刑罰の内容 刑罰の意義 第4章 犯罪の成立要件 第5章 構成要件該当性 第6章 違法性 違法性の意味 第7章 有責性 責任能力 第8章 故意 故意とは何か 第9章 過失 過失犯処罰 第10章 未遂犯 第11章 共犯 第12章 刑の適用と執行

船山泰範 編著

ホーンブック新刑法各論 [改訂3版]

〈ホーンブックシリーズ〉

総論と同じ意図のもとに刑法改正に対応した最新書。

A5 上製 254 頁 2600 円 (0447-7) [2015]

〈主要目次〉

第1章 生命・身体に対する罪 第2章 交通犯罪 第3章 人身の自由を侵す罪 第4章 精神的自由・生活の平穏を害する罪 第5章 性犯罪 第6章 財産罪総論 第7章 窃盗・強盗の罪 第8章 詐欺・恐喝の罪 第9章 横領・背任、その他財産犯罪 第10章 公共の平穏を害する罪 第11章 国民の健康を害する罪 第12章 偽造犯罪 第13章 社会生活の感情を侵す罪 第14章 公務員による犯罪 第15章 公務を害する罪 第16章 国家の存立を危うくする罪

船山泰範・清水洋雄・中村雄一 編著

刑法演習 50 選

入門から展開まで

刑法の初学者向けの入門編と法学部を卒業したレベルの人向けの展開編を設け、その二つを関連付けることで理解を深められるように編集。現実の問題に対し、自ら考える力を養える刑法学習の好手引書。

A5 並製 264 頁 2600 円 (0329-6) [2012]

〈主要目次〉

第1部：総論（刑法の役割、罪刑法定主義、責任主義、構成要件、不真正不作為犯、因果関係と第三者の行為、因果関係と共犯、具体的事実の錯誤、抽象的事実の錯誤、違法性阻却事由、心身喪失、過失犯、未遂犯・不能犯、共同正犯、幫助犯、罪数論）第2部：各論（承諾殺人罪、同時傷害の特例、危険運転致死傷罪、保護責任者遺棄罪、事後強盗罪、横領と背任、放火罪の客体、名義人の承諾と偽造罪、証拠隠滅罪）他

川端 博 編著

刑法判例演習

法科大学院テキストシリーズ

法科大学院の刑法教育の目標達成を意図として実務教育にとり最適の教材となる判例の有する特色を学説との対応関係を明らかにしつつ深く考察した。的確な問題指摘と法的思考のモデルを提示した好著。

A 5並製 234頁 2500円 (971-9) [2004]

〈主要目次〉

- 1 因果関係・伊東研祐 2 構成要件の事実の錯誤・佐久間修 3 過失と予見可能性・松原芳博 4 被害者の承諾・奥村正雄 5 正当防衛と相当性・只木誠 6 違法性の認識・今井猛嘉 7 実行の着手・中空壽雅 8 共謀共同正犯・對馬直紀 9 胎児性障害・船山泰範 10 窃盗罪の保護法益・松澤伸 11 権利の実行と恐喝罪・川端博 12 放火罪・平野潔 13 文書偽造罪・成瀬幸典 14 公務執行妨害罪・石井徹哉 15 賄賂罪・明照博章

内海朋子 著

ステップアップ刑法

初学者向けの刑法の入門書。第1部総論で刑法のイメージを捉え、第2部各論で様々な犯罪・問題を取り扱い、丁寧に解説する。また各章末に小テストと応用編を付し、理解力を確かめ更なる学びへと誘う入門書。

A 5判並製 210頁 2300円 (0178-0) [2009]

〈主要目次〉

- 1部 刑法って何だろう 罪刑法定主義 不作為犯・間接正犯 因果関係 故意犯と事実の錯誤 過失犯 違反性阻却事由 正当防衛 緊急避難 違法性の錯誤・違法性阻却事由の錯誤 責任 未遂犯 共犯総論 共同正犯 2部 刑法における生命の保護 暴行・傷害 遺棄 業務上過失致死傷罪と交通犯罪 個人の私的領域を侵す罪 人格的利益に対する罪 財産犯総論 窃盗罪とそれに関連する諸犯罪 強盗罪 詐欺罪 放火罪 偽造罪 他

菊田幸一・辻本衣佐 著

ホーンブック犯罪学 [第3版]

(ホーンブックシリーズ)

やさしい教科書として随所に統計資料などを挿入しつつ体系だった常識と現在の問題点を整理し、今後の展望について総体的・簡潔にまとめた好著。犯罪学の鳥瞰図たる役割を果たす斬新な入門書である。

A 5上製 268頁 2800円 (0335-7) [2012]

〈主要目次〉

- 1 犯罪学の意義 意義・発展・現代の犯罪学・わが国における犯罪学の展開・犯罪予防 2 犯罪原因と犯罪現象 犯罪統計・犯罪予測・犯罪白書にみる犯罪の動向・犯罪原因と犯罪現象 3 犯罪者の処遇 意義・刑罰と処分・司法的処遇・施設内処遇・中間的処遇・仮釈放と善時制・社会内的処遇 4 非行少年とその処遇 5 犯罪の被害者 6 非犯罪化・非刑罰化 7 刑事法改正問題 8 国際化と人権擁護 資料編

森川俊孝・佐藤文夫 編著

新国際法講義 [改訂版]

グローバル化の益々強まる国際社会の変動と国際法の発展を踏まえて編まれた国際法のテキスト。基礎概念を分かりやすく概説し、個人から国際関係に至るまで、国際法の多様な側面を網羅した好入門書。

A 5上製 276頁 2700円 (0408-8) [2014]

〈主要目次〉

- 1 国際法総論 2 国際法の成立形式 3 国家と国家機関 4 国家の基本的権利義務と管轄権 5 国家領域 6 海の国際法 7 空と宇宙の国際法(領空、宇宙空間等) 8 個人(難民の保護、国際犯罪等) 9 国際人権法 10 国際経済法(国際投資法等) 11 国家責任(義務違反国の新しい義務等) 12 国際環境法 13 国際組織 14 紛争の平和的解決(国際裁判等) 15 安全保障 16 武力紛争法(戦時国際法、国際人道法等)

政治

政治学・政治思想／政治史／日本政治
各国政治・国際関係／行政学

杉本 稔 編著

政治の世界

政治の理論・思想・歴史・制度から地域社会、国際社会まで政治学の基本的事項を平易、明確に解説。政治の世界の全体像をこれまでに政治学を体系的に学んだことのない初学者に案内する好テキスト。

A 5 上製 256 頁 2600 円 (944-1) [2004]

〈主要目次〉

- 1 政治の世界 政治状況と権力 支配と服従 政治の科学
- 2 政治の思想 古典古代・中世の政治思想 イデオロギーの時代 現代の政治思想他
- 3 政治の歴史 大衆社会の形成と展開他
- 4 政治のアクター 選挙の機能 世論の政治的役割他
- 5 政治の制度 議会の制度 行政の制度他
- 6 地域社会の政治 地方自治の歴史 地方自治の仕組みと課題他
- 7 国際社会と政治 国際機構の政治 トランснаショナル関係他

豊島 修 著

はじめて学ぶ現代政治学 [改訂版]

東西冷戦の終結・ソ連の解体・ドイツの統一・五五年体制の崩壊等十数年間の内外の政治の激震、新しい政治の枠組の模索を簡明に整理し、理解できるようまとめられた現代政治を学ぶ若者へのメッセージ。

四六上製 190 頁 2200 円 (0168-1) [2009]

〈主要目次〉

- 1 政治と民主主義 政治の概念・民主主義
- 2 議会制 議会制略史・欧米国と日本の議会制・二院制と一院制
- 3 内閣制 内閣制の分類・各国および日本の内閣制
- 4 政党制 政党・政党制・各国および日本の政党制
- 5 現代社会と民主主義理論 大衆社会・現代の民主主義理論
- 6 国際政治 国際政治理論・現代国際政治の潮流 資料

外山公美・平石正美・中村祐司・西村 弥・五味太始・古坂正人・石見 豊 著

日本の公共経営

新しい行政

公共経営の概念の紹介と整理をし、海外の動向を盛り込みつつも、日本での行政の実態や改革の動きを詳しく解説。また、解説だけにとどまらず、管理論、改革論中心の行政学の試論的提案を行った意欲的テキスト。

A 5 並製 230 頁 2500 円 (0423-1) [2014]

〈主要目次〉

- 1 日本における公共経営論の展開
- 2 行政改革と NPM の論理と展開
- 3 民間委託の歴史・現状・課題
- 4 第三セクターから学ぶべき点
- 5 日本の PFI、PPP の特徴と課題
- 6 市場化テスト：公共サービス改革法のインパクト
- 7 指定管理職者制度の背景・現状・課題
- 8 独立行政法人制度の現状と課題
- 9 道路関係四公団の民営化とその課題
- 10 日本郵政公社の民営化とその課題
- 11 日本における政策評価の動向と特質
- 12 公務員制度改革と非正規公務員問題

井田正道 著

日本政治の潮流

大統領制化・二大政党化・脱政党

選挙制度改革、国政選挙・地方選挙の動向、有権者の意識、選挙報道といった様々な角度から、日本の政治、選挙の変容と現在を読み解いていく。選挙に関する調査データ等、資料も多数掲載した充実の書。

四六上製 188頁 2300円 (0103-2) [2007]

〈主要目次〉

1 選挙制度改革の諸相 小泉政権にみる日本政治の大統領制化 選挙制度改革と二大政党 18歳選挙権の論点 2 変わる有権者―選挙離れと政党離れ 転換期としての1990年代 選挙離れする有権者 政党離れする有権者 3 選挙潮流 小泉自民に吹いた「年金」逆風 小泉劇場 地方選における民主党の台頭 知事選の潮流 4 マニフェスト選挙とメディア マニフェスト選挙は選挙報道を変えたか 5 構造改革と有権者の意識

井田正道 著

政治・社会意識の現在

自民党一党優位の終焉と格差社会

基礎知識を丁寧に概説した上で、昨今の政治の潮流から見えてくる政治意識、また格差社会という観点からの社会意識を数多くの貴重な調査データをもとに、また各国との比較も交えつつ詳細に読み解いた。

四六上製 174頁 2100円 (0155-1) [2008]

〈主要目次〉

第I部 投票行動論 第1章 アメリカにおける投票行動論の展開 第2章 日本における投票行動研究の展開 第2部 政治意識と選挙 第3章 先進諸国における政党一有権者関係の衰退 第4章 日本における二大政党時代の幕開け―2004年参院選分析 第5章 自民党一党優位状況の終焉 第3部 格差に関する社会意識 第6章 生活に対する満足と不満 第7章 階層集団の研究

等松春夫監修 竹本知行・尾崎庸介 編著

ファンダメンタル政治学

〔増補改訂版〕

原論から思想・文化、国際政治まで、政治学の基礎知識から現代社会における問題や課題等までを包括的に捉えられる充実のテキスト。コラムでは多様な話題が織り込まれ、読者の政治への興味を惹起する。

A5上製 260頁 2700円 (0367-8) [2013]

〈主要目次〉

国家一権力行為としての政治・国家を構成するさまざまな制度 法と政治 政治過程論 政治と軍隊 政治とメディア イデオロギー ナショナリズム グローバリズム 宗教 政治と文化 国際社会 国際社会の組織化 国際経済 人権・環境問題 等

甲斐祥子 著

現代政治のナビゲーター〔新2版〕

現代政治のしくみや機能を歴史的視点から織り込みつつ、各国との比較を交えながら、あくまで「私たち」の政治という目線から丁寧に解説した。政治の根幹を捉えられ、興味を惹起するよう編まれた入門書。

A5並製 196頁 2300円 (0409-5) [2014]

〈主要目次〉

1 民主主義を再考する 「民主主義だからよい」は正しいか？ 2 有権者 投票してもしかたがない？―現代の有権者 3 選挙 選挙に行こう！ 4 利益団体・NPO／NGO 利益団体の存在意義 5 政党 変化する政党と政党制 6 議会 議会は何をやる場所？ 7 議員・政治家 地元の皆様のために？―議員の仕事 8 内閣・首相 首相と大統領はどちらが強い？ 9 官僚・公務員 国民は官僚をコントロールできるか 10 マスメディア 他

山本佐門 著

現代国家と民主政治 [改訂版]

現代政治の基本視点

〈主要目次〉

1 政治視点と政治学の領域—政治の定義と政治学の領域 政治現象の理解の基本方向と注目すべき学説他 2 国家と国家権力—国家の三形態 国家権力としての国家他 3 変容する現代国家—揺れ動く現代国家 21世紀の国の形他 4 政治体制と政治集団—現代世界における独裁体制 政治体制論の課題他 5 代表制民主主義 議会制民主主義の歴史的特色他 6 代表民主主義の現実 終 近代国家の転換期と民主政治の再生—直面する課題

変容過程にある現代政治の特色を政治が展開される場としての「国家」と、そこでの政治的現実たる「民主政治」の実態に分けて、その分析のための概念・視点への理解を前提として平易に解説した入門テキスト。

A 5 上製 156 頁 1800 円 (0245-9) [2010]

今村都南雄・武藤博己・佐藤克廣
沼田 良 著

ホーンブック基礎行政学 [第3版]

(ホーンブックシリーズ)

〈主要目次〉

序 行政学への招待 1 行政学の理論展開 2 官僚制と組織の理論 3 行政官僚制と政策過程 4 行政官僚制の組織構成 5 行政官僚制の人的資源 6 行政官僚制の意思決定システム 7 政府体系の中の地方自治—団体自治の系 8 市民と行政の関係—住民自治の系 9 公共サービス改革の動向 10 行政責任と行政統制 他

中央省庁の編成の変動、新地方自治法の施行等による地方自治の変化など、行政学の対象となる現実の大きな動きに対応し、的確・簡明な解説にて基礎的事項の全般を平易にまとめた最新テキストと好評。

A 5 上製 262 頁 2700 円 (0472-9) [2015]

磯崎初仁・金井利之・伊藤正次 著

ホーンブック地方自治 [第3版]

(ホーンブックシリーズ)

〈主要目次〉

I 部 制度論 自治体と地方自治制度・歴史 地方分権改革 II 部 機構論 自治体の政治機構・行政機構 自治体統治機構の国際比較 III 部 政策論 自治体の政策と総合計画 政策法務と条例 まちづくりと公共事業 産業政策と地域振興 福祉政策と健康 教育政策と自治体防災政策と安全 IV 部 管理論 自治体の組織管理 財政運営と財政改革 職員の職務と人事管理 行政統制と自治体改革 V 部 住民論 住民と自治体 コミュニティの自治 他

地方自治の制度的な枠組みを体系的かつ多面的に示すとともに、政策論や管理論についても基本となる制度を的確に紹介。また地方自治の政策や組織について実態に目を向け、実践的視点を重視した入門書。

A 5 上製 282 頁 2800 円 (0403-3) [2014]

土岐 寛・平石正美・外山公美・石見 豊 著

現代行政のニュートレンド

〈主要目次〉

I 行政学の窓を開く—基礎理論と歴史 (背景と対象、ヨーロッパ、アメリカの行政学、官僚制、行政と管理、組織等) II 日本と諸外国の行政理解—構造と機能 (日本の行政と官僚制の歴史、公務員制度と人事行政、日本・アメリカ・ヨーロッパの行政等) III 現代行政を考える—ガバナンスと政策トレンド (グローバル化とガバナンス論、公共財概念とガバナンス環境、NPMと民間活力の導入、電子政府と情報政策、景観行政の新展開等)

行政学の歴史、課題、公共性・行政の本質といった、歴史や基礎理論を踏まえた上で、現代のグローバル化や情報化へ対応した行政の今を捉える。これまでと今の行政を見据え、これからの行政を拓く入門書。

A 5 上製 278 頁 2800 円 (0281-7) [2011]

土岐 寛・平石正美・斎藤友之・石見 豊 著

現代日本の地方自治 [改訂版]

昨今の地方自治を取り巻く環境変化や今日的な課題を視野に入れ、地方自治の理念・歴史・制度を概説。さらに、ガバナンスとマネジメントの新たな動向を紹介解説しつつ、政策動向を見極め、展望を示した意欲的な入門書。

A 5 上製 248 頁 2600 円 (0277-0) [2011]

〈主要目次〉

地方自治の思想と理念・基本構造 戦後日本の地方自治 地方議会と執行機関 住民参加と住民投票 地方税制と自治体税制 広域行政と狭域行政 市町村合併と道州制 ガバナンスと NPM と市場化テスト 分権化をめぐる世界と日本の動き e ガバメントと情報管理 自治体の行政評価 PFI と PPP 多様化するアウトソーシング手法 公共政策の管理とネットワークの構築 模索する新しい公共交通 安全・安心のまちづくり 他

土岐 寛・平石正美・石見 豊 著

地方自治と政策展開

「地方自治の基礎概念—理論と比較」「地方自治の基本問題—歴史と制度」「地方自治の最新動向—環境変化と個別政策」の 3 部構成で、目覚しく動く最近の地方自治の問題点を平易にまとめた基本的テキスト。

A 5 上製 244 頁 2500 円 (906-9) [2003]

〈主要目次〉

1 地方自治の基礎概念 思想と理念 地方自治と中央地方関係 比較地方自治他 2 地方自治の基本問題 地方分権と地方自治 地方自治の基本構造 地方議会と政治・地方税制と自治体制度・首都制度と東京問題・市町村合併の動向と論理他 3 地方自治の最新動向 情報公開と住民投票・地域福祉と介護保険・環境保全とまちづくり・教育改革と生涯学習 他

土岐 寛 編著

行政と地方自治の現在

体系的で網羅的な解説にとどまらず、ここ 20 年の改革の流れを丁寧におさえながら、現代的課題や代表的な事例をとりあげることを通じて、学生や市民の関心を喚起する行政学・地方自治の好テキスト。

A 5 並製 216 頁 2300 円 (0452-1) [2015]

〈主要目次〉

1 「改革の時代」の社会的・理論的背景 2 日本の行政組織とその改革 3 日本官僚制と公務員制度改革 4 アカウンタビリティを求める動向 5 参加と協働の理念と実際 6 平成の大合併と市町村の変容 7 道州制と地方制度の未来 8 改革派首長の挑戦と地方議会改革 9 地方分権改革の 20 年 10 戦後わが国教育委員会の「分離」と「統合」 11 自治体福祉政策の展開と課題

沼田 良・安藤 愛 著

住民自治 再構築

東日本大震災で明白になった「住民による自治」の重要性を手掛かりに、従来団体自治に比べ二次的な扱いだった住民自治を起点とした地方自治の再構築を提起する。基礎から発展までをまとめた手引書。

四六判並製 196 頁 2000 円 (0446-0) [2015]

〈主要目次〉

なぜ住民自治の再構築が必要か 1 起点としての住民 2 住民ができること 3 市民としてできること 4 地方自治とは何か 5 地方自治の歴史 Part 1 6 地方自治の歴史 Part 2 7 各国の地方自治制度 8 自治体の仕組み 9 自治体基本条例と議会基本条例 10 地方財政の破綻と再生 11 地方分権と地域主権 12 立案と決定 13 課題

石見 豊 著

戦後日本の地方分権

その論議を中心に

〈主要目次〉

序章 分権と論議 1章 地方分権の概念—自治と分権の関係 国家と歴史と集権・分権他 2章 諸外国の分権化—近年における分権化の動き 英国の分権改革他 3章 戦後分権論議の歴史 1—社会環境と主な制度改革他 4章 戦後分権論議の歴史 2—地方制度調査会と道州制論他 7章 90年代の分権論議—分権論議の概要他 8章 地方分権推進委員会の審議と勧告—第1次～4次勧告をめぐる論議とその内容他 終章 最終報告他

A 5 上製 204 頁 2800 円 (974-3) [2004]

今川 晃 編著

自治体政策への提言

学生参加の意義と現実

〈主要目次〉

1 はじめに 政策を考えよう 2 現場が大切にする視点とは? (私たちが知る現場と未知の現場 各フォーラムのリーダーが視る地域分析視点他) 3 アカデミックが大切にする分析視点とは? (アカデミックの有用性 政策提言のための分析視点—思想・技法・潮流) 4 現場の視点とアカデミックな視点はなぜ食い違うのか? (現場とアカデミックとの懸け橋を求めて フェーチャーデザインを題材に考えよう 町内会を題材に考えよう) 5 自治体政策と政策学習

A 5 並製 168 頁 2000 円 (0508-5) [2016]

佐々木 毅・鷲見誠一・杉田 敦 著

西洋政治思想史

〈主要目次〉

1 古典古代政治思想 プラトン・アリストテレス 2 中世政治思想 キリスト教世界の成立・普遍の確立・公会議運動他 3 近代政治思想 マキアヴェッリの政治思想・宗教改革と政治思想の展開・ホッブズ・ロック・モンテスキュー・ルソーの政治思想・保守主義・社会主義・自由主義の政治思想他 4 現代政治思想 大衆民主政の政治思想・集団とエリートの理論自由主義思想の展開・近代をめぐる政治思想・政治思想の可能性他

ギリシアから現代まで、アメリカ思想を含め——プラトンからハイエク、ロールズ、フーコー、アーレントに至るまで——広範囲にわたる政治思想を原典を随所に紹介しつつまとめたスタンダードな通史。

A 5 上製 220 頁 2400 円 (475-X) [1995]

高村忠成 著

国際政治論 [再改訂版]

〈主要目次〉

1 国際政治論の基礎 近代国際政治の史的展開他 2 西欧国家体系の発展 帝国主義の時代他 3 冷戦の時代 核軍拡競争他 4 経済格差と国際政治 南北問題とは他 5 新国際秩序の形成 冷戦構造の崩壊他 6 国連の時代 平和維持活動他 7 地球環境と人間 国際協力と環境擁護 8 人権の国際化 人権と国際社会他 9 文明の衝突論と日本 日本認識の問題他 10 非対称型戦争と平和的解決 人間の安全保障他

国際政治の歴史的流れを基盤にしながら現在を把握するための理論と実態、将来をみすえるためのパラダイムを論述。目まぐるしい国際政治を、読者が自分なりに考えていくための“目”を基礎から鍛える。

四六上製 268 頁 2500 円 (808-9) [2003]

上村信幸 編著

ベーシック国際関係論

冷戦崩壊後の変貌著しい国際社会をどう捉えれば良いのか。国際関係論の基本と課題を学ぶ。基本原理・国際組織の構造と機能・歴史的観点・地球社会が抱える諸課題・研究ツールとしてのインターネットを考察。

A 5 上製 156 頁 1900 円 (827-5) [2001]

〈主要目次〉

1 国際関係論とは 国際関係の基本・国際関係の主体 2 国際システム 国際システムの発展・国際機構の形成・国際連盟・国際連合 3 国際関係史 2 連邦の崩壊・日露関係と領土問題 4 地球的問題と国際関係 軍縮と紛争・地球環境問題 5 地球社会とエネルギー問題 エネルギー問題・石油エネルギーの重要性和枯渇問題 6 国際関係論とインターネット インターネットと情報リテラシー・文献検索方法・研究情報収集他

杉本 稔 著

現代ヨーロッパ政治史 [増補版]

第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦の3つの戦争の戦後に、ヨーロッパの政治・社会がいかに変容したのかを概観する。時代毎の地図等も掲載し、ヨーロッパの激動期の歴史とその特質を興味深く解説。

A 5 上製 248 頁 2600 円 (0316-1) [2012]

〈主要目次〉

序 現代への序曲—市民的政治体制の生成と展開 市民革命と市民的政治体制 1 第一次世界大戦とヨーロッパ政治 2 第二次世界大戦とヨーロッパ政治 3 冷戦の終焉とヨーロッパ政治 終 新時代の胎動「第3の道」の行方 統一後のドイツ政治 ゴーリストの復権 EU 新時代に向けて 資料 他

杉本 稔 著

デモクラシーの政治学 [増補版]

冷戦構造の崩壊・55年体制—党優位システムの終焉等の激動する政治状況のなか、政権交代こそが議院内閣制を活性化させデモクラシーを実体化させるとするならば、その条件は何か。長年の思索の軌跡。

A 5 上製 214 頁 2500 円 (0269-5) [2011]

〈主要目次〉

序章 デモクラシーの政治学 1 政治の科学（政治学の学門的特質・科学としての政治学ほか） 2 政治権力とデモクラシー（権力と政治・リーダーシップの政治学ほか） 3 現代政治社会の形成（市民革命と市民社会—リベラル・デモクラシーの生成・大衆社会とデモクラシー） 4 政治制度とデモクラシー（代議制デモクラシーと権力分立・議院内閣制の生成と展開ほか） 5 政治過程と参加デモクラシー（政治過程の概念と政治文化ほか）

渡辺容一郎 著

オポジションとヨーロッパ政治

欧州諸国におけるオポジションの変遷を辿り現状を明らかにすることにより、政治の本質や問題点の理解を促し、現代日本政治の課題を考察。オポジションの視点から民主政治充実化を考えたユニークな書。

A 5 上製 240 頁 2500 円 (0213-8) [2010]

〈主要目次〉

オポジションの意味と様態 イギリスの議会オポジションとオポジション力・起源 議会オポジションにおける政策立案能力の制度化・党選出プロセスの意義 議会オポジションの変質と政権意欲・適応性の喪失 イギリス保守党オポジション力の復活と党首効果 連合王国独立党の台頭とその意義 グローバル化とヨーロッパ極右の新展開

渡邊頼純 著

GATT・WTO 体制と日本 [増補二版]

貿易摩擦を解消し、国際貿易体制を支えてきた WTO が現在世界各国で台頭する地域主義との関係により抱えている問題を分析。国際貿易の政治的側面の歴史的経緯を概説するとともに、展開を論じた好著。

四六上製 330 頁 2500 円 (0337-1) [2012]

〈主要目次〉

第1章 保護主義VS. 自由貿易主義 第2章 GATTからWTOへ 第3章 GATT・WTO 体制における日本 第4章 多国間貿易交渉の政治経済学 第5章 WTO 新ラウンド交渉の課題と展望 第6章 WTO体制と地域統合 第7章 アジア太平洋の地域経済統合—経済連携強化に向けた日本の役割

杉山知子 著

移行期の正義とラテンアメリカの教訓

権威主義から民主主義への移行期に真実や正義の追究をしたアルゼンチンとチリ、内戦から平和構築の過程で真実を明らかにし新たな社会を築いたエルサルバドルを取り上げ、移行期の正義のあり方を探る。

A 5 上製 204 頁 2300 円 (0301-2) [2011]

真実と正義の政治学

〈主要目次〉

1 移行期の正義とは何か 2 移行期の正義に関する研究のアプローチ 3 冷戦期・ポスト冷戦期におけるアメリカとラテンアメリカ 4 アルゼンチンにおける民主主義・権威主義・国家テロリズム 5 アルゼンチンにおける移行期の正義とその後 6 チリにおけるピノチェト政権の誕生とその限界 7 チリにおける移行期の正義とその後 8 エルサルバドルの内戦と和平合意 9 エルサルバドルの真実・正義と平和構築 終章

ホーンブック・シリーズ

アメリカで「ケース・ブック」に対比して使われている入門書・手引書にならったもので、とりあげられることの少なかった論点や新しいテーマ・話題にも積極的に論及し、また設問や自習の手引きを設けることで読者の関心を惹起し自ら考えていけるよう工夫をこらす。

第一線で活躍する執筆陣による読者本位の親しみやすいユニークなテキストシリーズ。

澤木敬郎・荒木伸怡 南部 篤 著 2400 円

ホーンブック法学原理 [第4版]

樋口陽一 編著 2900 円

ホーンブック憲法 [改訂版]

兼子 仁ほか 著 2400 円

ホーンブック行政法 [新版増補]

椎名慎太郎・村上 順ほか 著 2400 円

ホーンブック新行政法 [3改訂版]

安達和志ほか 著 2600 円

ホーンブック行政法

神田 修・兼子 仁 編著 2200 円

ホーンブック教育法

伊藤 進 編著 2000 円

ホーンブック民法Ⅰ [改訂版]

伊藤 進 編著 2400 円

ホーンブック民法Ⅱ [改訂版]

伊藤 進 編著 2000 円

ホーンブック民法Ⅲ [再改訂版]

伊藤 進 編著 2400 円

ホーンブック民法Ⅳ [改訂版]

伊藤 進 編著 2700 円

ホーンブック民法Ⅴ [改訂版]

棚橋祐治・高倉成男 著 2600 円

ホーンブック知的財産法Ⅰ

田宮 裕・板倉 宏 編 2500 円

ホーンブック刑法総論 [改訂新版]

田宮 裕・板倉 宏 編 2500 円

ホーンブック刑法各論 [改訂新版]

船山泰範 編著 2600 円

ホーンブック新刑法総論

船山泰範 編著 2600 円

ホーンブック新刑法各論 [改訂3版]

田宮 裕 編 2800 円

ホーンブック刑事訴訟法 [改訂新版]

菊田幸一・辻本衣佐 著 2800 円

ホーンブック犯罪学 [新3版]

菊田幸一 著 1600 円

ホーンブック少年法

金 東勲・芹田健太郎・藤田久一 著 2500 円

ホーンブック国際法 [再改訂版]

今村都南雄ほか 著 2600 円

ホーンブック行政学 [改訂版]

今村都南雄ほか 著 2700 円

ホーンブック基礎行政学 [第3版]

磯崎初仁・金井利之・伊藤正次 著 2800 円

ホーンブック地方自治 [第3版]

平原春好・神田 修 編著 2200 円

ホーンブック教育行政学

人見 剛・須藤陽子 編著 2600 円

ホーンブック地方自治法 [改訂版]

大山 正・杉本敏夫 編著 2400 円

ホーンブック心理学

哲学・思想／倫理／宗教

哲学一般／各論／西洋哲学／東洋・日本思想／生命／論理学／社会思想／倫理／宗教

岩崎武雄・山本 信 編著

哲学概論 [新版]

(大学教養選書)

哲学とは何かより説きおこし、哲学史を古代から現代に至るまで平易に解説。ついで認識論・存在論・価値論に関する現代の考察と直面している哲学の諸問題にまでふれた全般にわたる概説書として好評。

A 5 上製 261 頁 1900 円 (062-2) [1978]

〈主要目次〉

哲学とは何か 哲学と科学と宗教・哲学と哲学史・哲学の諸部門他 西洋哲学史 古代・中世・近世前期・後期・現代の哲学他 現代哲学の諸問題 認識論・古典的認識論・諸科学の危機・論理実証主義・認識論他 存在の問題 自然と人間・歴史と人間 価値の問題 倫理学とはどんな学問か・実証主義の倫理観・マルクス主義の倫理観・分析哲学 倫理学説・プラグマティズムの倫理観 哲学の現状・現代哲学の課題・哲学の学問性

岩崎武雄・山本 信 編著

哲学 [新版]

何が問題なのか

哲学思想の根底に存している基本問題を明確に浮彫することにより、現代の哲学の思想的位置を見極め、ついで現代の多くの哲学思想の持つ意義を探究する。哲学における新しい視野をきりひらいた基本参考書。

A 5 上製 263 頁 1900 円 (091-6) [1978]

〈主要目次〉

哲学の理解のために 哲学と生活・西洋哲学思想の変遷他 1 西洋哲学思想の流れ 古代・自然・魂 中世・神・信仰と理性 近世・自然・人間・認識・歴史 2 現代哲学 マルクス主義 生の哲学・ショーペンハウエル・ニーチェ・ベルグソン・ジンメル・ディルタイ 現象学・フッサール・先験的現象学の功罪他 実証哲学・キルケゴール・ヤスパース・ハイデガー・サルトル プラグマティズム・パース・ジェイムス他 分析哲学他

山本 信 著

哲学の基礎

まず哲学とはどのようなものなのかを性格づけ、ついで現代にまで至る基本的な概念と理論の歴史的考察をきわめて平易に示した後、現代の主要な哲学説を紹介する。放送大学の講義に基づく入門テキスト。

四六上製 180 頁 1800 円 (010-X) [1988]

〈主要目次〉

哲学とはなにか・哲学史の意義・哲学の諸部門存在論の基本問題・主観概念・近世的二元論・認識論の系譜・主体性の形而上学・近代科学の思想史的意味・科学的思考の諸性格・生命と人間性・心身問題・自由と必然・真理論・現代の哲学的状況 参考文献について

松山壽一 著

生きることと哲学すること [新版]

網羅的な概説を避け、明快で親しみやすく、読みものとしても面白い、哲学の実質をも備えた入門書を意図して、人間とは何か、生きることの意味とは何かの問いに応えることにより初心者を哲学へ誘う。

四六上製 275 頁 2300 円 (0139-1) [2008]

〈主要目次〉

序 哲学は学ぶるか 哲学の奇妙な性格・哲学の魅力・難解さ 1 わたしは誰 偶然と運命・エディプス・コンプレックス・オイディプス王の悲劇・オイディプス王のドラマ トゥルギー・人間存在の謎 2 世界は影 (1) プラトンの哲人王の思想とイデア論 ギリシアにおける詩と哲学・哲人王の思想・イデア論・哲人教育・哲学は解説しうるか 3 世界は影 (2) ベーコンのイドラ論 人間と偏見・イドラ・四つのイドラ・時代と思想

向坂 寛 編著

哲学の展開

(大学教養選書)

ギリシア哲学以来提起されてきた哲学の基本問題の様相を初学者にもわかりやすく簡潔に概観することによって、現代に至る哲学の流れを体系的に把握させてくれる、スタンダードな哲学史の好テキスト。

A 5 上製 198 頁 2100 円 (092-4) [1982]

〈主要目次〉

1 古代ギリシアの哲学 ソクラテス・アテナイ期・ヘレニズムの哲学 2 中世における哲学の展開 教父哲学・ギリシア・ローマ哲学の伝統・スコラ哲学 3 近世哲学の展開 ルネッサンスの哲学・近世合理主義哲学の成立・展開 4 近代 イギリス経験論の展開 5 ドイツ観念論の展開 6 現代哲学の展開 マルクス主義・新カント学派・生の哲学・実存主義の哲学・フッサールの現象学・プラグマティズム・分析哲学への発展他

竹原 弘 著

哲学的に考えよう

学問としての哲学を概観の後、存在、私、時間、私が存在すること、身体、他者、空間、心身問題、言語、知ること、人間の歴史性、信仰といった哲学的命題を具体的に解説し、哲学的思考へと誘う入門書。

四六上製 242 頁 2500 円 (0242-8) [2010]

〈主要目次〉

1 哲学とは 2 存在とは 3 私とは 4 時間とは 5 私が存在するとは 6 身体とは 7 他者とは 8 空間について 9 心身問題 10 言語とは 11 知るとは 12 人間の歴史性について 13 信仰について

嘉吉純夫 編著

哲学の軌跡

哲学史・思想史の俯瞰を主眼とした『西洋思想の要諦周覧』の姉妹篇として、個々の哲学者や思想家の人生と主要著作を紹介し、その哲学・思想の内実に踏み込んで解説を施すことを主眼とした哲学案内書。

A 5 上製 250 頁 2600 円 (664-7) [1998]

〈主要目次〉

ソクラテス・プラトン・アリストテレス・イエス・アウグスティヌス・モンテーニュ・パスカル・デカルト・スピノザ・ライプニッツ・ベーコン・ロック・ホブズ・バークリ・カント・フィヒテ・シェリング・ヘーゲル・ベンサム・ミル・ショーペンハウアー・キルケゴール・ニーチェ・フッサール・ベルクソン・パース・ラッセル・フレーゲ・カルナップ・ポパー・クワイン・マルクス・ハイデガー・ヤスパーズ・サルトル・フーコ・デリダ他

田代博司 著

人間と「知の論理」

難解とされ敬遠されがちな哲学を、その面白さ、意義深さを損なわずに、分かりやすく丁寧に語るコンセプトの下に編まれた、人間理解のための初学者向け入門書。人とはなにか、より深く広く考えることへと誘う。

四六上製 230 頁 3500 円 (0194-0) [2009]

〈主要目次〉

人間と「知の論理」－理論哲学の重要問題 神話から理性へ－古代の神話的世界観と宇宙論的世界観・理性と信仰の間で－中世の神学的世界観の変遷・苦悩する理性－近代の構成的世界観とその諸問題

嘉吉純夫・斎藤 隆 編著

西洋思想の要諦周覧

「存在」と世界観の問題、「認識」と「論理」の問題、「価値」と人生観の問題というテーマに即し、古代から現代に至る哲学、倫理学を中心とした西洋思想の展開を要点的、概括的にたどった通史的便覧書。

A 5 上製 271 頁 2600 円 (348-6) [1994]

〈主要目次〉

1 存在と世界観の問題 古代ギリシア・ローマの思想家たちの存在分析と世界観・キリスト教の世界観とスコラ哲学・近・現代の思想家たちの世界観と存在把握 2 認識と論理の問題 古代及び中世における真理探究の歩み・近代的認識論の成立と展開・現代における真理探究の歩み 3 価値と人生観の問題 古代ギリシア・ローマの倫理思想・キリスト教の思想家たちの人生観・ヒューマニズムと社会思想の系譜・現代思想の理想と現実

飯塚勝久 著

概説ヨーロッパ精神史

狭義の哲学思想のみならず、それと密接な関係にある宗教思想をも含めた、その時代の全体的な精神状況を理解し、これを現代的視点において考察する、という精神的立場によりまとめられたコンパクトな概説書。

四六上製 210 頁 2300 円 (793-7) [2001]

〈主要目次〉

1 古代ギリシア思想 根源への問い・不安な魂と個人道徳の哲学他 2 中世キリスト教 哲学と信仰・教父哲学・スコラ哲学の諸相・3 近代ヨーロッパ思想 ヒューマニズム運動と宗教改革・バスキカルとジャンセニスム他 4 転換期の思想家・啓蒙主義の開花・発展他 5 現代ヨーロッパ思想 フッサールの現象学・ハイデッガーの存在論他 6 現代的課題としての歴史哲学 近代歴史哲学の成立・20 世紀の歴史哲学他

林田新二・羽入佐和子・佐藤真理人

原 一子・越部良一 著

哲学へ

ヤスパースとともに

現代における諸問題をより深く、広く考察できるような哲学的視野を養うことを目的として、ヤスパースの哲学を基に6つの側面から現代社会を丁寧に読み解く。「自らへの問い」としての哲学のすすめと好評。

A 5 上製 198 頁 2500 円 (555-1) [1996]

〈主要目次〉

1 哲学とその根本問題 万人の哲学と哲学者の哲学・存在の問題－哲学の根本問題としての存在の問い－実態の存在について他・人間－人格と実存他・認識の問題－認識の範囲他 2 哲学と現代 「科学」は生きる意味を与えるか－科学迷信－哲学に導かれた科学他・宗教－宗教と哲学すること他・「死」へのまなざし－死の不安を超えて他・個人と社会・自己と他者－融和的他者論他・現代を歴史的にどう観る？－ヤスパースの歴史観他

山本 新 著

ソクラテスからデカルトまで

ソクラテス、プラトン、アリストテレス、アウグスティヌス、トマス・アクィナス、デカルトを取り上げ、前半では彼らの生涯とその時代を概観し、主な著作の要約を紹介。後半では彼らの思想を紐解く。

A 5 並製 246 頁 2200 円 (0341-8) [2012]

〈主要目次〉

- 1 ソクラテス（ソクラテスの生涯、哲学）
- 2 プラトン（プラトンの生涯、哲学）
- 3 アリストテレス（アリストテレスの生涯、哲学）
- 4 アウグスティヌス（アウグスティヌスの生涯、哲学）
- 5 トマス・アクィナス（トマス・アクィナスの生涯、哲学）
- 6 デカルト（デカルトの生涯、哲学）

円谷 裕二 著

デカルトとカント

人間・自然・神をめぐる争い

近代代表的哲学者、デカルトとカントの問いを現代に生きる私達自身の問題として引きうけつつ、現代のものの見方・感じ方の源流を遡るにより相対化する知の冒険。読者の興味を育てる最適入門書。

A5 上製 238 頁 2500 円 (0477-4) [2015]

〈主要目次〉

近代の哲学の特徴 方法的懐疑 「私は思惟する、ゆえに私はある」 神と自己 世界と自己 心身問題とデカルト哲学の意義 『純粹理性批判』 実践哲学 『判断力批判』
近代哲学の射程と反省的判断力

藤井 聡・羽鳥剛史 著

大衆社会の処方箋

実学としての社会哲学

〈叢書 新文明学 1〉

「大衆化」に根をもつ社会問題が深刻の度を増す現代日本—公共政策の専門家が、オルテガの大衆論とその背後にある社会哲学に基づき、実証的なフィールドで思想の力を問い直し、実学の新たな地平を拓く。

四六並製 350 頁 2700 円 (0392-0) [2014]

〈主要目次〉

- 序 現代文明社会の問題と危機 1 実学としての社会哲学 2 「大衆の反逆」の哲学 3 大衆尺度 4 「科学的検証」とは何か 5 社会を裏切る「大衆」 6 議論できない「大衆」 7 政府に対する「大衆の反逆」 8 人間疎外による大衆化 9 運命から目を背ける「大衆」 10 非本来的な時間を生きる「大衆」 11 大衆社会の中で「社会的秩序」の形成を図る 12 「大衆性低減」のための三つの基本方略（「運命焦点化」「独立確保」「活物同期」）等

先崎彰容・浜崎洋介 著

アフター・モダンティ

近代日本の思想と批評

〈叢書 新文明学 2〉

近代日本における〈批評〉の誕生を眼前に浮かび上げらせる精神史の登場。中江兆民、北村透谷、石川啄木、芥川龍之介、小林秀雄を通して、断絶にみちた過去が現代日本に突きつける問いを明らかにする。

四六並製 240 頁 2200 円 (0431-6) [2014]

〈主要目次〉

I 部 矛盾時代への処方箋：現代社会、ロマン主義、明治日本（中江兆民 北村透谷 石川啄木：百年前の「時代閉塞の現状」） II 部 「批評」の誕生：小林秀雄と昭和初年代（「危機」と「批評」取り扱われた「屋根」：第一次世界大戦と西欧 近代日本の「不安」：関東大震災、新感覚派、芥川龍之介の死 「非人間的なるもの」をめぐる：プロレタリア文学と近代の超克 「意識」と「自然」：初期小林秀雄の試行 「批評」が生まれるとき 見出された「宿命」：近代日本と伝統）他

川久保 剛・星山京子・石川公彌子 著

方法としての国学

江戸後期・近代・戦後
〈叢書 新文学3〉

日本人はグローバル化とナショナリティの間でいかに生きるべきか。そのヒントを本居宣長、平田篤胤、国友藤兵衛、柳田國男、保田與重郎、折口信夫、新京都学派、戦後保守思想を繙くことにより探った。

四六並製 256 頁 2300 円 (0495-8) [2016]

〈主要目次〉

序章 江戸時代の国学者（新思潮としての国学 本居宣長の古典研究 国学の拡大と新たな展開）
第Ⅰ部 江戸のグローバル化と国学（1 国学者の西洋研究とナショナル・アイデンティティ
2 国学者をめぐる知のネットワーク 3 近江の科学者・国友藤兵衛と国学）第Ⅱ部 近代国学の諸相（4 柳田國男の思想 5 保田與重郎の思想 6 折口信夫の思想）第Ⅲ部 戦後「国学」精神の一系譜（7 新京都学派に流れる「国学」の心 8 戦後保守思想に流れる「国学」の心）

大石久和・藤井 聡 著

国土学

国民国家の現象学
〈叢書 新文学4〉

従来技術や政策面からのみ語られてきた国土づくりを、さらに歴史、現状、思想面も絡めて捉え直す。多発する自然災害や急激な気候変動下、いかにこの国土とともに生きてゆけばいいのかその大局を示す。

四六並製 244 頁 2200 円 (0500-9) [2016]

〈主要目次〉

1 国土学の構造（今、日本を守るために必要なのは「国土学」である 国土学は「国民国家の現象学」である 国民国家現象は「国土をめぐる無限循環」である）2 日本の国土学（日本人はどのような国土に暮らしてきたのか この国土にわれわれはどう働きかけてきたのか われわれはこの国土で何を経験してきたのか われわれはこの国土にどう向き合っていけばいいのか 3 国土学の哲学（「国土に働きかける」ということは「生きる」ことである 「精神の大地」としての国土をつくる）

松井慎一郎 著

近代日本における功利と道義（仮題）

[近 刊]

南條文雄 著

現代の人間学 [増補改訂版]

哲学・社会学的探究

近代西欧の人間観の生成と更にその批判的展開としての現代の人間観を中心に様々な領域で露呈した「豊かさの中の貧しさ」という事態に呼応し、現代人の具体的多様な側面を捉えた新たな哲学的人間学の入門書。

四六土製 308 頁 2800 円 (0161-2) [2008]

〈主要目次〉

1 豊かな社会と現代の人間像 高度情報社会における人間他 2 現代の倫理的課題 バイオエシックス・エコシックス他 3 近代の人間観 ベーコンとデカルトの自然観・パスカルの人間観・ヘーゲルの人間哲学他 4 現代の人間観 マルクスの社会思想・ニーチェの人生観・フロイトの精神分析学他 5 現代の思想的課題 ウェーバーの社会思想他 6 現代社会と人間の未来 現代を生きる人間他 7 大学における教養の再構成

行安 茂 著

21世紀に生きる力

その哲学と教育

〈主要目次〉

1 生きる力を考える—哲学入門 転機としての20代・人間性と逃避・衝動をどう生かすか・自由と責任・平等と個性・豊かな心とは何か・幸福と生きがい・仕事とストレス・生と死・デューイとフロム他 2 道德教育の研究 日本における民主主義の道德・生活指導主義と価値主義・道德教育の補充・深化・統合・研究授業で何が得られるか・体験の基本と実態・校則・規律と規範意識・フレンケルに学ぶ・正義と価値教育・心の教育と人種

能力、自由と責任、平等、生きがい、生と死といった哲学的諸問題を現代教育に不可欠な「生きる力」の視点から考察する第一部を踏まえ、第二部ではそれを育てる道德教育のあり方を論究した好入門書。

A 5 上製 222 頁 2600 円 (649-3) [1998]

佐藤臣彦 著

身体教育を哲学する

体育哲学叙説

〈主要目次〉

序 予備的な考察 身体教育(体育)と哲学 問題の所在・方法の探究・体育概念の現状と先行研究の批判 1 教育そのものを哲学する 教育概念と分析カテゴリー・教育概念における関係性・重層性・超越性 2 教育にかかわる身体を哲学する 身体と教育・わが国における体育的身体論批判・身体性のカテゴリー論的考察 3 身体教育、すなわち体育を批判する 体育概念における関係性・重要性・超越性 技術者のための哲学

体育の本質を問う哲学的問題の解明と概念的把握を企図して、錯綜した現代的状況の中において、分析装置としてのカテゴリーの運用という方法を提示し、本格的な体育哲学論を展開する類例のない試み。

A 5 上製 322 頁 2900 円 (311-7) [1993]

芹澤数雄 著

反科学を超えて

宗教化した科学への問いかけ

〈主要目次〉

1 科学信仰を問う 一般大衆の科学信仰の根拠 2 科学批判に耳を傾ける 科学の進歩は正しい進歩か 科学的心理の根拠は示されているか? 3 科学信仰の根拠を暴く—客観性 世界は時間、空間の中にあるのか? 4 科学信仰の根拠を暴く—権威 知の体系は存在するか? 学会・教育という権威 5 科学信仰の根源である功利主義、ニヒリズムについて考える 功利主義を超えて、ニヒリズムを越えて 6 科学は学ぶに値するか 等

磐石とも思える科学信仰の存在の背景についてあぶり出しを行うと共に、科学信仰の根拠となる客観性に批判的検討。更に根底に流れる功利主義的についても論考を行い、新たな人間の価値観を模索する。

A 5 上製 220 頁 2400 円 (0209-1) [2010]

寺本 剛・鈴木俊洋 著

入門 科学哲学 (仮題)

技術とのつきあい方

[近 刊]

芹澤数雄 著

ニヒリズムを超えて

ニヒリズムの経済学を超えて

〈主要目次〉

- 1 置かれている状況 欲望の絶対肯定
- 2 ニヒリズムの蔓延する世界
- 3 価値を問う
ニヒリズムは価値を求める
- 4 ニヒリズムの原点を問う エゴイズム・快楽主義・欲望主義を問う
- 5 現われた世界の根拠を問う 時間と空間の世界 事物の世界
- 6 現代社会の価値を問う 客観主義 理性主義 自由主義 有用主義 生存主義 民主主義 平等主義 福祉主義 進歩主義
- 7 ニヒリズムの経済学を超えて 価値と古典経済学 等

功利主義、ニヒリズムの蔓延した現代社会で前提とされる欲望の問題に焦点を当て、生物学、心理学の成果をも引きつつ正面から検討。現代社会の価値を問い直しニヒリズムを超える経済学への試みを示唆。

A 5 上製 216 頁 2400 円 (0240-4) [2010]

河上正秀・小林秀樹 編著

変容する社会と人間

実存のトポスを求めて

〈主要目次〉

- 第Ⅰ部 福祉社会と人間探究のフロンティア 1 「共生」を語るための倫理 2 多様性に配慮する公共空間 3 記憶への介入とエンハンスメント 第Ⅱ部 自由と自律のリアリティー 4 「空気」を意識する 5 大学生の変容と大学の理念 6 パターナリズムと子どもの自律／自由 第Ⅲ部 技術と人間存在のコンフリクト 7 技術者の「誇り」と「開かれていること」 8 青木繁、『オイディプス王』にみる実存の変容とその意味 9 科学の確かさの限界 10 知覚の変容と私たちの文化

倫理思想的な思索に立脚しつつ、各人が変容してやまない現代的な社会に向き合い、人間にとっての実存的なトポス（場所）を模索することを福祉社会、自由と自律、科学技術とコンフリクトの観点から試みた論考。

A 5 並製 220 頁 2300 円 (0426-2) [2014]

田代博司 著

アルゴリズムの論理学

ロゴスの形式化理論の展開と限界

〈主要目次〉

- 1 論理学についての序章的考察 論理学の歴史・学問的位置づけ他
- 2 論理学と推論のアルゴリズム 形式的言語と形式的思考・アルゴリズム設計言語・論理学とアルゴリズム
- 3 命題論理学と推論のアルゴリズム:真理表作成法 命題の記号化・分析タブロー法他
- 4 命題論理学:自然演繹法 形式的演繹体系・アルゴリズム化の準備他
- 5 述語論理学と推論のアルゴリズム 命題論理学の拡張他
- 6 人間と論理 論理の哲学他

記号論理学における命題論理及び述語論理の推論過程を、従来数学・情報科学などで用いられているアルゴリズムの観点から詳細に吟味することにより、推論機構を本質的・具体的に理解させてくれる好著。

A 5 上製 252 頁 2900 円 (467-9) [1995]

大窪徳行・田畑博敏 著

論理学の方法

〈主要目次〉

- 1 論理とは何か 論理学の歴史・論理学の方法・論理学の分類
- 2 文論理 文関数と真理表・トートロジーと正しい推論・トートロジーの判定とその応用・自然演繹法による推論・公理論的方法
- 3 述語論理 量子化とその用法・モデルと妥当性・自然演繹法による推論-①ゲンツェンNK体系-②LK体系・公理論的方法
- 4 様相論理学 歴史の概観・様相文論理・クリプキノデル・意味論的モデル・決定手続き・自然演繹法

現代の論理学の基本的な方法とその概念について、著者自身のオリジナルな方法と分析の成果をも織り込みながら、構文論と意味論に重点をおき、興味ある例題を挿入して、平易に解説した入門テキスト。

A 5 上製 216 頁 2600 円 (345-1) [1991]

新保 哲 編著

近現代の日本文化

近世・近代・現代の流れの中でどのように日本文化は変遷を遂げたのか、思想史、文化人類学、宗教学、教育学等の側面から、多角的に論考した。日本文化の多様性、さまざまな彩りを描き出した比較文化論。

A 5 上製 232 頁 2500 円 (0184-1) [2009]

〈主要目次〉

- 1 古代から近現代の信仰／宗教
- 2 近現代の思想／宗教
- 3 近世日本の社会と元禄文化—西鶴、芭蕉、近松の挑戦
- 4 近現代の倫理／科学技術
- 5 近現代の禅文化
- 6 近現代の教育

藤本一司 著

生きるための哲学

笑顔のコミュニケーションへ

日々直面する人生の難問・奇問。私たちはそれらをどのように考え、どのように心地よく生きていけるのか？ 分かりやすく親しみやすい口調にて、具体的事象を例に、日常の多面にわたり哲学した明快な入門書。

四六上製 180 頁 1900 円 (0303-6) [2011]

〈主要目次〉

- 1 章 夢と現実のあいだで「夢」も「現実」も手放さない（アリストテレス）他
- 2 章 「私の位置」を知る 私は「いつもすでに」決断している（ハイデガー「頹落」からの脱出）迷子であることを知らない迷子とは？（ソクラテス「無知の知」）「自分の当然さ」を疑う力（フーコー「系譜学」）他
- 3 章 未知性・他者・贈与 私の「外部」に耳をすます（レヴィナス「他者」）「物語」が「現実」をつくる（バルト「エクリチュール」）他

藤本一司 著

老いから学ぶ哲学

身体の復権

著者が自身の日々の介護体験の中からすくい上げ、そしてレヴィナスの思想を織り込みながら紡ぎ上げたユニークで新鮮な哲学書。身体と意識との関係、私とあなたとの関係を斬新な視点から読み解いた。

四六上製 176 頁 1800 円 (0309-8) [2012]

〈主要目次〉

- 序章 「私」とは「身体」である
- 1 「身体」は、「他者からの贈与」である
- 2 「意識」は、「身体」から自立する（思い上がる）
- 3 「身体」は「あなたのために」動きだす
- 4 「責任」は、「身体」からの声である
- 終章 「あなたのために」「私はここにあります」

内田詔夫 著

論理の基礎と活用

知識成長・問題解決・論述文読み書きのために

論理の意義や仕組み、使い方を日常的事例に即して分かりやすく説明し、自ら活用できる力を養えるテキスト。また、チェックポイントで要点を確認し、問題を解きながらトレーニングができる実践的な書。

A 5 並製 144 頁 2000 円 (0334-0) [2012]

〈主要目次〉

- 1 主張相互の関係
- 2 暗黙の前提
- 3 妥当な推論
- 4 「ならば」と「または」—論理力トレーニングⅠ
- 5 「すべて」と「ある」—論理力トレーニングⅡ
- 6 妥当性の証明—論理力トレーニングⅢ
- 7 推論と推測、演繹と帰納
- 8 知識成長・改善と論理
- 9 問題解決と論理
- 10 論述文と論理
- 11 論述文読み書きトレーニング
- 12 記号論理の基礎—論理力トレーニングⅣ

【倫 理】

小牧 治 編著

倫 理 学

生活・倫理・思想

倫理学の歴史とその変遷を学生・初心者理解でき、かつ親しめるようきわめて平易・簡潔に説述し、現代社会における新しい倫理とはいかなるものなのか、その根本問題にまでふれた好評の倫理学の教科書。

A 5 上製 218 頁 1900 円 (095-9) [1978]

〈主要目次〉

- 1 倫理学の性格
- 2 ポリスの倫理 アリストテレスの理想主義・世界市民の生き方他
- 3 キリスト教倫理
- 4 近代の人間とその思想的自覚 ルネッサンスとエートス・大陸合理論他
- 5 市民社会における人間疎外と開放への構想 功利主義・分析哲学・実存主義他
- 6 仏教の流れ
- 7 中国の思想 伝統思想と近代思想他
- 8 日本の思想
- 9 現代社会の特色
- 10 身近な社会集団
- 11 日常生活と道徳
- 12 精神分析と倫理他

山下太郎 編著

西洋倫理思想史概説

〈大学教養選書〉

西洋倫理思想の流れを古代から近代まで初心者にもわかるよう平易に解説。各時代を代表する思想を問題史的に抽出し、重点的にとらえ、思想史の展開を広く概観させながら倫理学の中心課題に迫っていく。

A 5 上製 220 頁 2300 円 (096-7) [1987]

〈主要目次〉

- 倫理学の意味・展開
- 1 古代ギリシアの倫理思想・よりよく生きるための知恵・幸福への道他
 - 2 中世キリスト教の倫理思想 アウグスティヌスの人間観他
 - 3 近世大陸合理主義の倫理思想 合理主義の成立・展開他
 - 4 イギリス経験主義の倫理思想 功利主義の倫理他
 - 5 ドイツ理想主義の倫理思想 カント・シェリング・ヘーゲル他
 - 6 現象学派の倫理思想
 - 7 実存主義の倫理思想
 - 8 プラグマティズムの倫理思想他

小松奈美子 著

統合医療の扉

生命倫理の視角から

医療と人間の関係から生命倫理の問題をとらえ、生命倫理の現状と課題を追求する中から、西洋と東洋の人間観の違いを具体的に把握し、新たな人間観を構築するとともに代替医療の可能性を探った注目書。

四六並製 180 頁 1800 円 (887-9) [2003]

〈主要目次〉

- 1 最先端医療技術と生命倫理 アメリカ医療と生命倫理・最先端医療技術と生命倫理
- 2 代替医療と生命倫理 現代医学と代替医療・中国医学—気孔—中国医療の身体観他・心理療法—現代医学と心理療法サイモントン療法他・手かざし療法・ホメオパシー・オステオパシー・カイロプラクティック・アーユルヴェーダ(インド医学)—思想—特徴
- 3 統合医療の時代 代替医療のもたらす「希望」・統合医療への道

小松奈美子 著

医療倫理の扉

生と死をめぐる

現実の医療現場を念頭におき、そこで悩み苦しむ患者の立場からターミナル・ケア、がん告知、安楽死、臓器移植、不妊治療、出生前診断などの問題点に焦点を合わせて考える。貴重な資料を多数収録し平易に解説。

四六並製 200頁 1600円 (993-X) [2005]

〈主要目次〉

- 1章 生と死をみつめて—人間にとっての死—がん告知をめぐる—インフォームド・コンセント よりよく生きるために—遺伝子治療
- 2章 生と死のはざまで—安楽死—臓器移植
- 3章 かけがえのない生命をめぐる—不妊治療—出生前診断と障害児の生命感
- 4章 死と宗教 その緊密なかかわり—日本人と宗教—仏教的死生観—キリスト教

小川芳男 著

医療倫理学 [3改訂版]

生命倫理・インフォームドコンセント等、医療が人の心と大きく関わってきている現在において、医師・看護師・薬剤師等を指す人たちに必要な倫理とは何か。ヘルシンキ宣言や倫理綱領を多数掲載。

A 5上製 184頁 2300円 (0214-5) [2010]

〈主要目次〉

- 第1章 主要な倫理思想 倫理とは・ギリシアの倫理・キリスト教倫理・カントの理性主義・功利主義・プラグマティズム・実存主義・仏教・儒教・精神分析と倫理
- 第2章 医(療)の倫理 ヒポクラテスの誓い・ニュールンベルグ綱領・ジュネーブ宣言・国際医療倫理綱領・ヘルシンキ宣言・リスボン宣言・薬剤師の倫理・看護師の倫理
- 第3章 生命倫理 (バイオエシックス) 生命倫理の意義と研究対象・遺伝子診断・治療他

坂本百大・青木 清・山田卓生 編著

生命倫理

21世紀のグローバル・バイオエシックス

人間と環境についてグローバルな視点から21世紀のバイオエシックスを考える。生命倫理上の問題の構造と取り組み方、解決法等各分野最高水準の執筆者による知識の羅列でないレベル高い解説と論究。

A 5上製 240頁 2500円 (0004-5) [2005]

〈主要目次〉

総論 生命倫理の成立、背景と発展 生命倫理の基礎 生命科学と生命倫理 **各論** パターナリズムと自律 (オートノミ) 自己決定とインフォームド・コンセント 権利・人格・共生—生物としての人間から 出生をめぐる生命倫理 死、臓器移植をめぐる生命倫理 遺伝子をめぐる生命倫理 医療・看護と現場の臨床倫理 医療資源の公正の配分 環境倫理 人口・開発・健康 グローバル・バイオエシックスの構想—将来の展望 関連資料

行安 茂 著

生命倫理の問題と人間の生き方

現代の倫理的諸問題に対し解決の指針を与える倫理学として、生命倫理の問題と逃避と自己実現の問題に迫る。脳死・臓器移植を中心に死生観の構築と先哲の思想の考察により現代にどう生きるかを考える。

A 5上製 190頁 2300円 (775-9) [2000]

〈主要目次〉

- 1 生命倫理の諸問題 なぜ、今、生命倫理か・現代社会と人間性の回復・脳死は人の死か・臓器移植と道徳的判断・医師と患者の家族・合理主義と感情・与えることは損であるか・宗教とは何か・倫理と宗教・現代社会とストレス・人生の転機と二十代他
- 2 現代社会と人間の生き方 人間とは何か・逃避から自己実現へ・過保護と自己実現・自己実現と利己主義・功利主義の人間観・理想主義の人間観・プラグマティズムの人間観

関根 透 著

医療倫理の系譜 [改訂版]

患者を思いやる先人の知恵

〈主要目次〉

はじめに 現在日本の医の倫理的状況 1 古代の医の倫理観 医の神 2 飛鳥時代の医の倫理観 仏典が示す医の倫理観 3 奈良時代の医の倫理観 4 平安時代の医の倫理観 5 鎌倉時代の医の倫理観 職業としての医師の立場 6 室町時代の医の倫理観 戦場で実践された医療倫理 7 安土・桃山時代の医の倫理観 8 江戸時代の医の倫理観 9 明治以降昭和初期の医の倫理観 西洋医学の導入 10 現在の医の倫理観

アメリカから広がった生命倫理が注目される中、医療の現場に求められる医療倫理を、古代から現在に至る日本の医の倫理思想史から書き、その叡知より、問題解決の糸口を探る、優れた人間学としても注目。

四六上製 248 頁 2600 円 (0147-6) [2008]

中村友太郎・関根靖光
小林紀由・瀬本正之 編著

環境倫理

「いのち」と「まじわり」を求めて

〈主要目次〉

1 倫理の視点から 環境倫理学・ディープ・エコロジー 2 科学の視点から 環境破壊とは何か・エネルギー・資源から見た地球環境科学とキリスト教の接点から見た環境問題-共有と分配の倫理 3 教育の視点から 「道徳・倫理学」における環境の問題-宗教的情操の問題を中心に・日本人の自然観・女性の権利と環境問題 4 提言-これから倫理に向けて 第三倫理の道・生態学から「第三倫理の生態学」へ

自然との「共生」の概念を、どれだけ実生活に引き寄せられるか。環境倫理は現代日常生活の根幹をなす教育的課題といえる。倫理、科学、教育とさまざまな総合的な考察を試み、今後の展望を見通した。

A 5 上製 215 頁 2400 円 (571-3) [1996]

藤本一司 著

倫理学への助走

「わかる」と「わからない」のあいだ

〈主要目次〉

序 「わかる」と「わからない」の「あいだ」 第1章 「うぬぼれ」と「無意識」 第2章 「善いことをする」は善いか 第3章 「悪」にどのように向き合うか 第4章 「倫理」は、すでに決着済みか 第5章 「倫理」と「未知性」 第6章 「私」の解体と再生 参考文献 あとがき

「わかる」という「私の自明性」にどっぷりとつからずに、当たり前だと思っていたことを疑ってみる、考えることへの誘い。善、悪、私…。人間の永遠のテーマに、親しみやすい語り口で解説した入門書。

四六上製 162 頁 1600 円 (0118-6) [2008]

福井一光 著

知と心の教育

鎌倉女子大「建学の精神」の話

〈主要目次〉

はじめに 第1章 創設者と歴史-学祖松本生太先生と鎌倉女子大学 第2章 教育の理念-感謝と奉仕に生きる人づくり 第3章 教育の目標-女性の科学的教養と向上と優雅な性情の涵養 第4章 教育の姿勢-人・物・時を大切に 第5章 教育の方法-ぞうきんと辞書をもって学ぶ 第6章 教育の体系-知育・徳育・体育の調和

鎌倉女子大学の建学の精神を紐解くことにより、現代社会・教育の諸問題を見据えつつ、教育の理念・本質とは何かを考える。

四六上製 244 頁 2000 円 (0121-6) [2008]

【宗 教】

芦名定道 著

宗教学のエッセンス

宗教・呪術・科学

現代宗教学の全体像を紹介し、宗教現象を具体的に分析する手法を解説。ついで宗教と科学との関係を歴史的事実にも即しまとめ、読者に自分の常識を批判的に点検する方法論を示した現代宗教学の基本書。

A 5 上製 231 頁 2400 円 (324-9) [1993]

〈主要目次〉

序 宗教学とは 1 現代宗教学の展望 宗教現象のモデル・信じるとは?・宗教的象徴・神話と民族・神話と精神の深層構造・儀礼の意味・祭研究に向けて・コスモロジーとしての呪術・宗教の変容・新宗教から現代を見る 2 科学時代の宗教の意義 宗教・神話・科学・旧約聖書の創造論・イエスの福音と終末論・無からの創造と自然科学ルネッサンスと自然神学・進化論とキリスト教・宗教と科学の現在・未来・生命倫理の挑戦とキリスト教他

芹川博通・久米原恒久・
渡辺研二・渡辺真宏 著

仏教思想へのいざない

〔増補版〕

インド仏教、中国仏教、日本仏教の三地域に区分し、代表的仏教思想を写真・図版を多数収録して誰にも理解できるよう平易に解説。ついで、地域をこえて仏教の現在・未来を語った仏教思想へのいざない。

四六上製 194 頁 2200 円 (814-3) [2001]

〈主要目次〉

1 ブッダの生涯一人と思想 2 初期仏教 初期仏教のアウトライン・初期仏教の思想 3 大乘仏教 大乘仏教のアウトライン・大乘仏教の思想 4 中国仏教 中国仏教のアウトライン・中国仏教の思想 5 日本仏教 日本仏教—どのような宗派があるか・日本仏教の思想・仏教思想と現代 アヒンサーの思想と仏教・自然をたつとぶ思想—現代の環境問題を考える・共済主義と共生主義—福祉の思想・宗教的多元主義と大乘仏教主義

保坂俊司 著

癒しと鎮めと日本の宗教

現代人が忘れかけている、心の救い、死後をどう捉えるか、という問題を人類の発達史をなぞる形で鳥瞰し、日本社会において死に対する不安がどのように乗り越えられてきたかを仏教の視点から考察した。

四六上製 210 頁 2300 円 (0172-8) [2009]

〈主要目次〉

第1部 日本人の宗教の原型 スーパースターも紙となる「あやかり思想」 1 日本人の宗教嫌いはこうして捏造された 2 宗教理解の基本概念的考察 3 宗教の起源について 4 文明期の宗教 第2部 日本仏教の「救い」と「鎮め」 5 古代社会の救いと癒し 6 日本仏教の救いと鎮め 7 戒名と救い 8 救いの日本展開 9 逆修戒名と葬送儀礼 10 仏教的救済構造の崩壊 11 仏教の身体的救い 老いや死を大切にした仏教 他

吉村 均 著

神と仏の倫理思想 [改訂版]

日本仏教を読み直す

日本の神や仏といった宗教の諸様相を読み解くことにより、日本文化、思想の根幹を探った好著。宗教学の他、哲学、民俗学、能等、さまざまな資料を丹念に論考し、日本の倫理思想を詳らかに描き出した。

四六上製 248 頁 2500 円 (0457-6) [2015]

〈主要目次〉

1 近代の知と神仏 近代の知を再考する 和辻哲郎と仏教 民俗学と神信仰 2 伝統的仏教観からの読み直し 伝統的仏教観 道元を読み直す 親鸞を読み直す 日本仏教の特色 3 神と仏の倫理思想史のために 伝来当初の仏教—『日本霊異記』を中心に 浄土信仰の諸相—折口信夫『支社の書』を手がかりに 語りと成仏—夢幻能の世界 他

田中かの子 著

比較宗教学 [新装改訂版]

「いのち」の探究

人類は「いのち」をいかに尊んできたのか。世界の諸宗教にその軌跡をたどりながら味読できる明快な文体。心理学や哲学などの視点からも語る、独創的な章構成。一覧表、図版・聖句の解説、年表、註、索引を満載。

A 5 上製 258 頁 3100 円 (0280-0) [2011]

〈主要目次〉

第1章 「～教」以前の「宗教」とは? 1 「いのち」に気づく 2 「いのち」の表現他 第2章 多様な「～教」の発祥・成立・展開 1 「宗教学」の基本的立場 2 人類の歴史から「宗教史」を切り取る他 第3章 比較宗教学の目的と方法 1 パラノイア感覚にもとづく諸宗教の把握 2 比較するには共通項が必要である他 第4章 比較宗教学の実践例 1 大切なものは眼に見えない 2 初めに、8宗教を俯瞰する他

芦名定道 ほか著

科学時代を生きる宗教

過去と現在、そして未来へ

宗教が非科学的であるとの「常識」を批判的に再検討し、現代に求められている新しい価値の創造を展望する。宗教研究の方法・キリスト教と科学との歴史的関係性・現代の倫理的諸問題への意味に答える。

A 5 上製 216 頁 2200 円 (945-x) [2004]

〈主要目次〉

第1部 科学としての宗教学 1 現代宗教学への招待 2 現代哲学と宗教 第2部 宗教と科学の関係史 3 聖書の世界と科学 4 キリスト教と自然学—古代から中世 インターリウド 宗教改革と近代科学 5 科学革命から進化論へ 6 宗教と科学の現在 第3部 7 生命—偶然か、当為か 8 環境危機と宗教 (キリスト教) エピローグ 情報時代におけるコミュニケーション

石浜弘道 編著

芸術と宗教 [第三版]

キリスト教的視点より

芸術・美の視点から、哲学・宗教の思想を紐解いた入門書。自分のこととして考えられる思考を身につけられるよう章末に課題も掲載した。身近に触れられる美を切り口により深い思索の道へと誘う斬新な書。

A 5 並製 132 頁 1600 円 (0347-0) [2012]

〈主要目次〉

1 芸術の世界 2 芸術は神になりうるか 3 享楽か信仰か: キルケゴールの実存主義的生の諸相 4 どうして神は存在すると言えるのか 5 鳩は平和を: シンボル 6 愛に生きた人たち: アガペー 7 エクスタシー: 神秘主義の世界 8 オーラが見えますか: 霊性 (スピリチュアリティ) の宗教

頼住光子 著

日本の仏教思想

原文で読む仏教入門

日本の伝統的思想、文化の根底にある仏教思想を論考した好著。仏教の基本教理とその歴史や日本への影響を概説しつつ、仏教者の思想的解明を通して日本仏教の展開を概観した、日本を知る上での必携書。

A 5 上製 204 頁 2500 円 (0253-4) [2010]

〈主要目次〉

第1部 仏教の成立と展開 1 仏教とは何か 2 釈迦の生涯と教え 3 初期仏教（原始仏教）と部派仏教 4 大乘仏教 5 アジア各地への伝播 南方仏教・漢訳仏教圏・朝鮮仏教 第2部 日本の仏教思想 1 古代日本仏教思想 2 中世仏教の思想 3 近世仏教の思想 等

加藤みちこ 著

「かみ」は出会って発展する

神道ではない日本の「かみ」史・古代中世編

日本の「かみ」は歴史の中で色々な思想との出会い、政治的・経済的状況等により変容発展してきた。その過程を読み解くことにより、日本のかみの特色と日本人との関わりを分かりやすくコンパクトに概説。

四六並製 158 頁 1800 円 (0289-3) [2011]

〈主要目次〉

1 日本の「かみ」とは？—十の特色 2 「まつり」とは？—「かみ」と人とはどうかかわるか 3 変容発展する「かみ」—仏教伝来以前の「かみ」と仏教と出会った「かみ」 4 仏教と出会って発展する「かみ」ステップ2—修行する「かみ」、出世する「かみ」八幡神 5 仏教と出会って発展する「かみ」ステップ3—仏になった「かみ」 6 「皇」字を欲しがる神—社寺縁起と伊勢神宮 7 「かみ」のバンテオンを乗り越え根源神へ

心 理

心理総論／基礎心理／発達心理
教育心理／臨床心理／社会心理

梅岡義貴・大山 正 編著

心理学の展開 [改訂版]

〈大学教養選書〉

心理学の各領域における基本的問題を最新の学問的成果を盛り込みつつ、簡潔・平易に解説することにより、その基礎的知識を修得させる入門書。複雑に見える心的事象の筋道を見出すための最初の一冊。

A 5 上製 235 頁 1900 円 (063-0) [1983]

〈主要目次〉

1 心理学の歴史 科学としての心理学の展開他 2 心理学の方法 意識と行動他 3 感覚・知覚－環境の認知 4 学習 道具的条件づけ・運動学習他 5 記憶 記憶の構造・記憶情報の検索他 6 思考・言語 言語の特性とその機能他 7 動機づけ・情動 内発的動機と性的動機・社会的動機 8 人格・発達 成人の人格の構造他 9 社会行動 社会行動と認知他 10 行動と能一連合野を中心として ヒトの前連合野の研究他

大山 正・杉本敏夫 編著

ホーンブック心理学

〈ホーンブックシリーズ〉

基礎的かつ重要な資料である多数の図・表・写真などを本文との関連の中で印象的に捉えられるよう、的確・簡潔に解説した本文頁の対向頁に収めて、基本知識の全体像を把握させるよう工夫をこらした。

A 5 上製 246 頁 2400 円 (167-X) [1990]

〈主要目次〉

1 心理学とは何か 心理学の歴史・心理学の方法 2 感覚・認知 色の感覚・形の知覚他 3 記憶 記憶研究の歴史・短期記憶・長期記憶 4 認知 文の理解過程・テキストの処理他 5 学習 条件づけ・弁別学習・技能学習・模倣と観察他 6 要求・情動・要求の階層と葛藤・ストレス他 7 パーソナリティの個人差 性格の構造を探る他 8 発達 発達とは何か・基本知識他 9 社会 態度と説得・対人認知の原理他

重野 純 著

心理学入門 [改訂版]

心理学をはじめて学ぶ人たちのための入門書として、特定の分野に偏ることのないように一般心理学を中心とする基礎的部門における今日迄の代表的な研究を多数の図表・写真とともに包括的に簡易に解説。

A 5 上製 179 頁 1900 円 (117-3) [1990]

〈主要目次〉

1 心理学の対象 心理学のあゆみ・現代心理学のあゆみ 2 知覚 感覚の性質・形の知覚・錯視・知覚の選択他 3 学習 古典的条件づけ・道具的条件づけ他 4 記憶 記憶の過程・測定・種類 5 動機づけ 行動の生起要因・獲得的動因・葛藤・フラストレーション・要求と適応他 6 感情 感情の科学的研究・感情の発達・表情 7 パーソナリティ 性格理論・性格の評価・知能他 8 社会的行動 社会的態度・集団と個人他

山内宏太郎 編著

はじめての心理学 [増補版]

探究対象が広範囲にわたり、また探究方法も多様な現代心理学の入門書として、心理学的人間理解の第一歩に共通して必要とされる内容に焦点を絞って心理学をはじめて学ぶ人にその全体像を把握させる。

A 5 上製 238 頁 2500 円 (224-2) [1991]

〈主要目次〉

- 1 心理学とは 現代の心理学他 2 環境の知覚 知覚の基本的特性・知覚的構え他
- 3 行動の獲得 古典的条件づけ・行動と記憶他 4 記憶 記憶の保持と忘却・記憶の変容他
- 5 成長と発達 発達段階他 6 パーソナリティ パーソナリティの形成他
- 7 心の健康 健康な心とは・正常と異常他 8 心理検査 知能検査・性格検査他 9 社会と人間行動 対人関係と行動他
- 10 環境と人間 環境の理論・空間のイメージ他

鈴木康明・飯田 緑 編著

はじめて学ぶ心理学

初学者にも親しみやすく、興味を惹起するよう、図版を多く掲載しながら、心理学の各分野の基礎的な知識をわかりやすく丁寧に解説する。学ぶ力を培うことのできる、ハンディでバランスのとれた概説書。

A 5 上製 178 頁 2100 円 (0064-6) [2006]

〈主要目次〉

- 1 章 心理学の定義と歴史 心理学の視点 歴史 心理学の未来他 2 章 感覚・知覚と情動・動機づけ 動機づけ・欲求他 3 章 学習・記憶・思考 4 章 発達 発達について 誕生 発達の様相他 5 章 性格 人格・性格・気質 類型論と特性論 性格の測定 6 章 臨床心理 適応と不適応 心理療法他 7 章 社会とのかかわり 病気・災害と心理学 対人行動他 8 章 精神医学の基礎 精神障害 精神疾患と病理の構造他

大谷真弓・安立奈歩・河野伸子 著

授業で使える心理学ワークブック

[改訂版]

自分のものの見方を位置づけ、想像力や共感能力を高めるという趣旨の、教養の心理学を学ぶための実践型基本書。口語調でわかりやすく、視覚的にも楽しめ、穴埋め課題で自主的な作業もできることが特徴。

B 5 並製 132 頁 1600 円 (0418-7) [2014]

〈主要目次〉

- 1 章 臨床心理学と「現実」 2 章 意識—前意識—無意識 3 章 コンプレックス 4 章 心と身体 5 章 ストレス 6 章 性格 7 章 自我・自己 8 章 心の病 9 章 心理検査 10 章 人の一生 11 章 乳幼児期 12 章 児童期 13 章 思春期 14 章 青年期 15 章 大学生にとってのこれから 16 章 家族 17 章 集団と個人 18 章 フロイトの理論をもとに自分を振り返ってみよう 19 章 ユングの理論をもとに自分を振り返ってみよう 20 章 心理療法とは

小島一夫・福森崇貴・鈴木真吾 著

やさしく学べる心理学

医療・福祉を学ぶ人のために

医療・福祉の分野における初学者読者が心理学の基礎を分かりやすく、興味をもって学べるよう図表を豊富に掲載し、包括的に解説。また昨今の社会的状況も鑑み、問題点をも提示した意欲的なテキスト。

A 5 上製 168 頁 2100 円 (0336-4) [2012]

〈主要目次〉

- 1 心理学とは (歴史、領域、現代心理学の研究法と方向性) 2 知覚 (視知覚、知覚と文脈、錯視) 3 学習・記憶 (学習理論、記憶、忘却) 4 発達 (発達段階と発達課題)
- 5 パーソナリティ (パーソナリティの理解、発達・変化、メカニズム、異常) 6 社会と人間 (社会的態度、集団と個人) 7 臨床 (アセスメント) 他

金政祐司・石盛真徳 編著

わたしから社会へ広がる心理学

第Ⅰ部で自己及び親密な人との関係を、第Ⅱ・Ⅲ部では視野を徐々に広げ、集団、社会、文化における人々との関わりを論考。社会心理学の最新研究を盛り込みつつ、興味深いトピックを基に分かり易く説述した。

A 5並製 240 頁 2400 円 (0070-3) [2006]

〈主要目次〉

- 1 章 わたし（自己）とは何か？ 2 章 わたしが他者を見る時、他者と関わる時 3 章 親密な関係の光と影 4 章 他者に思いを伝える、他者の思いを感じとる—対人コミュニケーション 5 章 他者に見せるわたし 6 章 集団に所属することと他者とのつながり 7 章 社会とつながるわたし—キャリア選択に関する問題 8 章 社会のなかの落とし穴—苦情・クレーム行動と悪質商法 9 章 わたしの文化を越えて—文化と心の関わり

金政祐司・大竹恵子 編著

健康とくらしに役立つ心理学

健康とは何か？ 健康を維持する条件等、スポーツ・医療・ストレスの側面から具体的に解説した上で、社会の中で人々と関わりながら健康に暮らすには、どのようにしたら良いか、心理学的に考察した。

A 5並製 196 頁 2200 円 (0170-4) [2009]

〈主要目次〉

- 1 健康とは 2 ストレスとつきあう 3 自己・文化とこころの健康 4 医療とうまくつきあうために 5 運動・スポーツとこころの関係 6 ひとと人をつなぐ絆 7 子どもたちのつながり 8 親密な人間関係と健康 9 人とかかわりのなかで“空気を読む” 10 自分を見つめる方法 11 集団のなかで生きる 12 くらしと社会的なつながり 13 災害がもたらす影響 14 子どもの育ちを支える環境 15 くらしとコミュニティ

今在慶一朗 編著

30 分で学ぶ心理学の基礎

身近な例を切り口に、図版を多用しながら心理学の基礎知識を分かりやすく興味深く概説。また、最新知見をも盛り込み、心理学の面白さを伝える。章末にミニ実験やまとめテストも付し、自習にも最適。

A 5並製 138 頁 1900 円 (0096-7) [2007]

〈主要目次〉

- 1 知覚：ものの見方、感じ方 2 思考：あたまを使うということ 3 学習：行動を身につける 4 記憶：コピーではない情報の蓄積 5 感情・動機づけ：喜怒哀楽が生まれる仕組み 6 知能：誤解されてきたこの言葉 7 性格：“その人らしさ”を理解する 8 幼児：人間らしくなる 9 青年：“子ども”から“大人”へ 10 高齢者：シニア世代の気持ち 11 自己：自分を見つめる 12 コミュニケーション 13 集団 14 研究法

青木智子・水國照充・木附千晶 著

エクササイズで学ぶ心理学

自己理解と他者理解のために

エクササイズを通して人間関係を学ぶとともに、心理学の基礎を学べるように構成。エクササイズから生み出された結果を心理学的見地から読み解けるように解説した。またその他用語解説、コラムも充実。

B 5並製 100 頁 1500 円 (0305-0) [2011]

〈主要目次〉

- 1 フレンド☆ビンゴ～はじめまして！ よろしく 2 S.O.S～力を合わせて困難を乗り切ろう 3 いやな気分になさよう～ストレスのしくみと対処法 4 自分の対人関係パターンを知る 5 家族の歴史～ジェノグラムをつくってみよう 6 自分史をつくる 7 一人ひとりの意見を尊重する 8 やめたいけれどやめられない～相談の態度とは 9 文脈や状況から理解する～コミュニケーション 10 自分でできるコミュニケーション戦略

加藤 司 著

心理学の研究法 [改訂版]

実験法・測定法・統計法

〈主要目次〉

1 心理学における研究の基礎 2 実験法 3 さまざまな研究法 観察法 質問紙法
面接法 事例研究 4 心理学的測定法 精神物理学的測定法 評定法 検査法 検査の
信頼性と妥当性 心理尺度の作成方法 5 データ分析の基礎 測定尺度 記述統計 推
測統計の基本的な考え方 6 変数間の差の検定 差の検定 t検定 分散分析 ノンパ
ラメトリック検定 7 変数間の関係 相関 多変量解析 8 研究の実施 附録 他

心理学を学ぶにあたり必要なスキルを丁寧に解説した入門書。心理学という学問の基本的考え方や歴史的な研究の流れを捉えることから始まり、実験法・測定法・統計法を作業手順に沿って詳しく説明した。

B 5並製 218 頁 1900 円 (0157-5) [2008]

村井健祐 編著

応用心理学の現在

〈主要目次〉

1 教育心理学 2 乳幼児期・児童期心理学 3 思春期・青年期臨床心理学 4 壮
年期臨床心理学 5 老年期臨床心理学 6 コミュニティ心理学 7 看護心理学 8
健康心理学 9 スポーツ心理学 10 環境心理学 11 政治心理学 12 犯罪心理学
13 捜査心理学 14 交通心理学 15 災害心理学 16 職業心理学 17 産業心理学
18 経営心理学 19 消費心理学 20 広告心理学 21 最近のトピック

最新の知識と主要内容を網羅し、興味深いトピックスをも多数収録して、応用心理学の各領域のすべてにわたり平易に紹介。初学者に、心理学とは何かを理解させる、類書の無い新しいテキストと注目される好著。

A 5 上製 328 頁 3300 円 (817-8) [2001]

富田正利 編著

人を育てる心理学

〈主要目次〉

1 部 行動を支配する心の動き—欲求・知的能力他 知覚と認知—知覚心理学・認知心理
学他 学習—技能学習・社会的学習他 測定と評価—現象の測定・評価他 2 部 発達心
理学—おもな理論・各発達段階の特徴他 人格心理学—歴史と定義・いろいろな理論他
社会心理学—個人の社会心理学・集団と個人他 臨床心理学—心理療法他 健康心理学—
ストレス他 教育心理学—やる気ってどうしたら出るんだろう・教育現場で測るもの他

多岐にわたる研究分野をもつ現代心理学を、「人を育てる」という視点でまとめた概論書。堅苦しい通常の形式をとらず、広い視野で心理学を学ぶうちに、おのずと人の育っていく過程を理解できるよう構成。

A 5 上製 236 頁 2400 円 (622-1) [1997]

伊藤哲司 著

常識を疑ってみる心理学 [第三版]

自分なりのモノサシを持つ

〈主要目次〉

「正解のない世界」を生きるために 1 情報の常識 自分自身で判断している？ 2 国際社会の常識 アメリカ人はかっこいい？ 日本は単一民族国家？ 男女平等は実現されている？ 3 心理学と科学の常識 血液型によって性格は異なる？ カウンセリングは心に効く？ 科学的知識は普遍的？ 他

IQ、占い、宗教、偏見、マスコミ情報等、日頃馴染み深い題材をもとに、情報、国際社会、科学、心理学に関する常識を心理学の知識を活かしながら解体する。多面的なモノの見方、柔軟な思考を培う好著。

A 5 上製 168 頁 1900 円 (0216-9) [2010]

伊藤哲司 著

21 世紀を生きる社会心理学

人間と社会の探究入門

21 世紀を生きる私達にとって必要な社会心理学について、いくつかのトピックスを取りあげながら社会心理学の視座でそれを捉えつつ、そこで常識とされている見方をずらし、別の見方を提示していく。

四六並製 140 頁 1700 円 (0511-5) [2016]

〈主要目次〉

はじめに：常識をずらしてみること 1 社会心理学の視座 2 「わかってるつもり」からの脱却 3 心を知るために外の世界に目を向ける 4 私たち人間はどんな存在か 5 さらに人間と社会の探究へ おわりに：自分なりの「地図」をつくる

伊藤哲司 著

みる きく しらべる かく かんがえる

対話としての質的研究

質的研究とは何か。質的研究の方法、基礎知識を分かりやすくバランスよく具体的に解説するとともに、質的研究の醍醐味が伝わるよう編まれた新鮮な入門書。実際にユニークな課題も行える実践編も収録。

四六並製 164 頁 1600 円 (0198-8) [2009]

〈主要目次〉

序 世界を質的に捉えるということ 1 人間を「みる」(カメラマンになってみる) 2 語りを「きく」(インタビュアーになってみる) 3 資料を「しらべる」(新聞記者になってみる) 4 レポートを「かく」(作家になってみる) 5 結果を「かんがえる」(研究者になってみる) 6 質的研究、さらに一歩先へ(質的研究は何を目指すのか/質的研究をさらに学ぶために) 終 質的研究者は対話する—インターローカルに生きる方法 他

村井健祐・土屋明夫・田之内厚三 編著

社会心理学へのアプローチ

社会心理学の対象・性格・研究方法から社会的自己、小集団行動、社会的認知、大衆現象の心理、環境の心理等、新しい学説や研究成果を盛り込みつつ、定説を中心として現代社会心理学を概説したテキスト。

A 5 上製 244 頁 2400 円 (753-8) [2000]

〈主要目次〉

1 社会心理学とは何か 対象・性格・歴史他 2 社会的行動の基礎 社会的動機他 3 社会的自己 自己の評価他 4 社会的態度 態度の形成・変容他 5 小集団行動 集団の構造と機能他 6 社会的認知 認知の一貫性他 7 向社会的行動 援助行動とは他 8 社会的交換 交換理論他 9 対人コミュニケーション 10 大衆現象の心理 11 環境の心理 12 社会的パーソナリティ 13 コミュニティの社会心理

田之内厚三 編著

ガイド社会心理学

これから社会心理学を学ぼうとする人達を対象として、現代社会心理学の基礎的領域の全般を重点的な 7 章に絞り、具体的実験例を多数引用しつつ極めて平易に解説。ハンディで体系的な入門テキスト。

A 5 上製 168 頁 1900 円 (0058-4) [2006]

〈主要目次〉

1 章 社会心理学の輪郭 社会心理学の視点と課題 社会心理学の研究手法 他 2 章 社会的行動の基礎 行動を動機づけるもの 対人行動他 3 章 社会的態度 態度とは何か 態度の変容他 4 章 小集団行動 集団の構造と機能 集団の影響他 5 章 社会的認知 社会的環境の認知 対人魅力他 6 章 大衆現象の心理 災害の心理 被害者の精神的ストレスと心のケア他 7 章 社会的パーソナリティ 異文化適応 日本人の国民性他

谷口淳一・相馬敏彦・金政祐司・西村太志 編著

エピソードでわかる社会心理学

恋愛関係・友人関係から学ぶ

〈主要目次〉

- 1 未知から既知へ：他者を知る
- 2 親しくなる：親密さを高めるコミュニケーション
- 3 深い関係になる：親密関係の維持と発展
- 4 親密な関係の中の自分：親密な関係と自己の相互影響関係
- 5 親密な関係からの影響：健康と対人葛藤
- 6 親密な他者集団からの影響

社会心理学の基礎理論やキーワードを恋愛関係や友人関係の具体的なエピソードから、わかりやすく解説。対人認知、対人魅力、コミュニケーション、関係維持、対人葛藤、相互影響関係、集団の影響等。

A 5 並製 [近 刊]

山内宏太郎 編著

人間の発達を考える ①

胎児から青年まで

〈主要目次〉

- 1 発達心理学の基本的問題と方法 発達の変化と環境・発達の段階他
- 2 身体・運動能力の発達 生物学的基礎・運動の発達・発達の障害他
- 3 認知の発達 乳幼児の知覚の発達・言語と社会性の発達・記憶・思考と学習・知能と創造性の発達他
- 4 情緒・要求・動機づけの発達 情緒の分化と社会化・対人関係と情緒の発達・動機づけの発達・学習動機づけ
- 5 遊びと仲間関係の発達
- 6 人格と自我形成
- 7 思春期・青年期の発達

これまでの発達心理学の足跡を概説し、心理学的人間理解の助けとなるような知見を人生という流れの中で考える基礎材料を提供。各章には話題提供のためのトピックスと内容確認のための質問も配した。

A 5 上製 176 頁 2000 円 (617-5) [1998]

若尾良徳・岡部康成 編著

発達心理学で読み解く保育エピソード

保育者をめざす学生の学びを通して

〈主要目次〉

- 保育・幼児教育における発達心理学 エピソードと解説一けいちゃんの誕生から2歳半まで (妊娠・胎児期・知覚の発達・ことばの発達・対象の永続性・共同注視 他)、保育者養成課程での学び (遊び 自己中心性 偏見 環境移行 反抗期 他) 総合解説一遺伝と環境 愛着と初期体験 発達の理論 発達の障がい

発達に関わる子どもの具体的な行動のエピソードをもとに心理学的な解説や理論を紹介するユニークでわかりやすい発達心理学のテキスト。実践で活かせる保育士・幼稚園教諭取得のための必携の好入門書。

A 5 並製 160 頁 1900 円 (0251-0) [2010]

福田佳織 編著

笑って子育て

物語でみる発達心理学

〈主要目次〉

- 一真が生まれたよ！ 一真、いざ出陣 (アタッチメント) 一真がしゃべった！ (ことばの発達) 一真とママの一喜一憂 (情動の分化) 一真の感覚は絶対！ (認知発達段階) 微妙な誕生日プレゼント (情動表出ルール) 新しいお友達 (発達障害) 5 m の金魚 (保存・分類・系列化) 先輩の行方 気になるお隣さん (児童虐待) お友達は十人十色 (不登校) 大人の階段のぼる一真 (抽象的思考) 心配な友人たち (精神病理) 一真の成長と思い出 (エリクソンの発達段階) 他

主人公一真の成長の物語を通して、人間の発達や障害の基礎知識を概説。さらに現代の子どもを取り巻く社会や環境の問題も鑑みながら、サポートのあり方を解説する。子どもの発達を楽しく学べる入門書。

A 5 並製 134 頁 1800 円 (0328-9) [2012]

新井邦二郎 監修 藤枝静暁・安齊順子 編著

保育者のたまごのための発達心理学

[改訂版]

保育者の視点から発達を捉える発達心理学の入門書。子どもの具体的発達がよく分かるよう編まれ、事例も豊富に掲載し、保育する立場になった時知識がより良い実践につながるよう諸連携についても解説。

A 5 並製 178 頁 1900 円 (0414-9) [2014]

[第3版近刊]

〈主要目次〉

- 1 保育者のための発達心理学とは（保育をめぐる最近の話題 他） 2 胎児期から新生児期 3 乳児期 4 幼児期（集団生活のはじまり、遊びの充実が育む心、思考の発達、言葉の獲得、仲間関係の開始、就学への準備） 5 児童期（社会性の発達、動機づけの発達、認知機能の発達、パーソナリティの発達） 6 障害についての基礎と障害のある子どもへの発達支援 7 保護者への支援と関係機関との連携（保護者への対応・支援、関係機関との連携） 8 児童福祉施設での養護

長谷川真里 著

発達心理学

心の謎を探る旅

生涯にわたり人間がどのように変化するか、なぜ変化するのか、人間が他者や環境とどのように相互作用しながら社会的存在となっていくのかという点に絞って解説。実験や最新知見を織り込みつつも平易に説述。

A 5 並製 174 頁 2100 円 (0439-2) [2014]

〈主要目次〉

- 1 最初期の発達：冒険者たちの旅立ち 2 幼児期の発達：魔法の森の仲間たち 3 児童期の発達：探検家たちの宝箱 4 青年期の発達：さまよえる旅人たちの休息 5 生涯発達：そして旅は続く キーパーソン一覧

柏崎秀子 編著

教職ベーシック

発達・学習の心理学

幼児、児童、生徒の心身の発達や学習のメカニズム、そして特別支援が理解できるテキスト。教員採用試験のためだけの知識だけではなく、教育現場で生きた知となるよう最新の動向も踏まえて編まれた書。

A 5 並製 168 頁 1900 円 (0226-8) [2010]

[改訂版近刊]

〈主要目次〉

- 序 教職で心理学を学ぶ意義 1 発達の原理 2 乳児期の発達 3 幼児期の発達 4 児童期の発達 5 青年期の発達 6 発達と教育 7 学習の理論①（古典的条件づけ・オペラント条件づけ） 8 学習の理論②（認知説・観察学習・効果的な学習） 9 学習と記憶 10 動機づけ 11 学力と知能のあらたな観点 12 障害の理解①（障害の理解と心理学・障害の種類と概要・特殊教育から特別支援教育へ） 13 障害の理解②（発達障害と支援） 他

肥田野 直 編著

教育心理学の展開 [改訂版]

(大学教養選書)

大学の教職課程及び専門課程におけるテキストとして平易にして、オーソドックスな叙述により、基本に関する知識を要領よく盛り込む。きわめてバランスのとれた最新のテキストとして好評の書の改訂版。

A 5 上製 228 頁 2400 円 (536-5) [1996]

〈主要目次〉

- 1 教育心理学の歴史と研究法 2 発達 発達の意味・諸相・段階・要因・理論他 3 学習 学習の意味・階層構造・記憶の過程他 4 学習指導 教授・学習過程の諸要因他 5 人格と適応 人格の概念・構造・適応障害他 6 生徒指導 非行・問題行動・ガイダンス・カウンセリング他 7 人間関係 家庭における人間関係他 8 測定と評価 学力の測定と評価他 9 障害児の心理と教育 10 幼児の心理と教育 11 教師の心理

服部 環 監修 安齊順子・荷方邦夫 編著

「使える」教育心理学 [第3版]

発達・教授・学習等教育心理学の基礎的事項を取り上げ、重要な項目を分かりやすく解説した上で、カウンセリング・特別支援教育等、学校における心理教育的援助と関連事項を具体例をひきつつ、解説。

A 5並製 204頁 2300円 (0467-5) [2015]

〈主要目次〉

教育心理学とは 歴史 研究方法 1 発達 2 学習と動機づけ 3 学習指導と教育工学 4 学級の心理学 5 教育評価 6 脳の発達と心 7 パーソナリティの理解 8 学校カウンセリング 9 幼児期、児童期、青年期の心理的問題 10 心理教育的援助サービス 11 スクールカウンセラーの活用 教育心理学の重要用語集 101

櫻井茂男 監修 黒田祐二 編著

実践につながる教育心理学

教育心理学の基礎知識や最新理論を子どもの理解、成長へのサポートを主眼に置きつつ解説する。学校での子どもの行動や教師の指導法を心理学的視点で捉える力を養える、理論と実践をつなぐ好テキスト。

A 5並製 206頁 2200円 (0325-8) [2012]

〈主要目次〉

1 発達 2 学習1—子どもの行動はどうやって身につく? 3 学習2—知識をしっかりと身につけるには? 4 動機づけ—意欲を高めるためにどうすればよい? 5 自己とパーソナリティ—自分らしさって何だろう? 6 人間関係と社会性—子どもは人間関係の中でどのように成長する? 7 学級集団—クラスはどのようにしてまとまる? 8 学校不適応—子どもの不適応をどう理解し対応すればよい? 9 発達障害—発達のつまずきって何だろう? 10 学習指導と教育評価

青木智子・山村 豊 編著

子どものための心理学

教育心理学・教育相談・支援

第1部で教育心理学の基礎知識を、第2部で教育相談・生徒指導の理論を豊富な事例を元に概説。さらに、第3部では外部機関との連携や福祉の視野から教育臨床を解説。子どもへの多面的サポートを目指す入門書。

A 5並製 172頁 1900円 (0389-0) [2013]

〈主要目次〉

第1部 教育心理学 1 教育心理学とは何か 2 発達 3 学習と認知 4 学習指導と教育評価 第2部 教育相談・生徒指導 5 生徒指導・教育相談 6 生徒の理解 7 生徒集団の構造と理解 8 実践的な教育相談のための基礎知識 第3部 教育臨床 9 子どもを取り巻く諸問題 10 特別支援教育 11 学校組織と支援

山村 豊・青木智子編著

学びのための心理学

発達、学習・認知、動機づけといった教育実践に応用可能な心理学一般の基礎的理論を概説し、学習指導、教育相談、特別支援等教育現場にいる教員が抱えている諸問題についての心理学的知見を紹介する。

A 5並製 174頁 1900円 (0475-0) [2015]

〈主要目次〉

1 心身の発達 (発達とは 発達の諸理論 赤ちゃんと幼児の発達 小学生の発達 中高生の発達) 2 教育と心理の基礎 (学習 記憶と認知 動機づけ 学習指導と教育評価) 3 教育と心理の実際 (生徒指導・教育相談 生徒の理解・パーソナリティ 生徒集団の構造と理解 実践的教育相談のための基礎知識 子どもを取り巻く諸問題) 教育心理学の歴史

神藤貴昭・久木山健一 著

ようこそ教育心理学の世界へ

よりよく子どもを理解できるよう、図版も多く掲載し具体例を基に、理論およびサポートの様々なあり方を解説。昨今の社会の状況も踏まえ、子どもの具体像が見える解説を心がけた教育心理学のテキスト。

A 5並製 194 頁 2000 円 (0404-0) [2014]

〔主要目次〕

[改訂版近刊]

- 1 教育心理学とは 2 発達（発達の基本的法則 他） 3 学習（古典的条件づけ、行動分析学、社会的学習、洞察説、技能学習 他） 4 動機づけ（自己効力感、自己調整学習 他） 5 知能・記憶・メタ認知（知能と創造性 他） 6 教授学習過程（有意味受容学習と発見学習 他） 7 教育評価 8 教師（教師のビリーフ 他） 9 仲間関係 10 パーソナリティ 11 問題行動 12 ストレスと健康（認知的評価・対処理論、災害とストレス 他） 13 教育相談 14 発達障害

伊藤崇達 編著

やる気を育む心理学 [改訂版]

やる気のみかニズムを動機づけ研究、発達心理、ストレス科学の最新知見に基づきつつ、多角的かつ分かりやすく解説した。より効果的な学習に結びつくよう、事例や実践例も多く交えて説明した充実の書。

A 5並製 152 頁 1800 円 (0218-3) [2010]

〔主要目次〕

- 1 「やる気」とはなにか やる気を支える 3 つの要素 やる気を捉える方法 2 やる気を育てる基盤 乳幼児期・幼児期におけるやる気 3 学びを支えているやる気 気持ちとやる気 自ら学ぶ力と動機づけ 4 教師がもたらすやる気 教師のものの見方および行動とやる気 授業計画および実践とやる気 5 人との関わりと動機づけ 友だちと学ぶ動機づけ 6 やる気を失うという現象 やる気を失う原因としての学校ストレス 他

会沢信彦・安齊順子 編著
教師のたまごのための
教育相談

子どもの乳幼児から高校までの発達と特徴的課題を概説し、昨今の問題を捉えた上で、校内や連携のなかでいかに効果的に子ども達を支援し、問題に対応できるか論考する。実践視点の教育相談のテキスト。

A 5並製 184 頁 1900 円 (0230-5) [2010]

〔主要目次〕

[改訂版近刊]

- 1 学校教育と教育相談 2 乳・幼児期における子どもの問題 3 小学校における子どもの問題 4 中学校・高等学校における子どもの問題 5 発達障害の理解と支援 6 精神疾患の理解と支援 7 教育相談の理論 8 教育相談の技法 9 学級経営に活かす教育相談 10 学校で使えるアセスメント 11 保護者への理解と支援 12 校内および関係機関との連携 13 スクールカウンセラーの活用

渡辺弥生・丹羽洋子・
篠田晴男・堀内ゆかり 著

学校だからできる生徒指導・教育相談 [改訂版]

近年の子ども、学校をめぐる様々な問題に対処すべく、こころのケアを考える。教師の考え、立場を考慮しつつ、いかに子どものこころを知り、発達をふまえた対応をしてゆくかを具体的に分かりやすく説き明かす。

四六並製 256 頁 2300 円 (0033-9) [2006]

〔主要目次〕

- 1 カウンセリング・マインドと子ども理解 学校教育相談の考え方・気がかりなことへの理解他 2 生徒指導・教育相談に必要な発達心理 感情とやる気はどのように発達するのか他 3 問題行動と発達に応じた対処法 いじめ・非行・無気力・不登校・心身症・自閉症他 4 生徒指導・教育相談に必要な技法 カウンセリング・ロールプレイ・交流分析他 5 教育相談がうまく機能するために スクールカウンセラーの資格と種類他

黒田祐二 編著

実践につながる教育相談

好評の実践につながるシリーズ第2弾。事例を豊富に織り込みつつ、教育相談の理論と実践を解説。子ども一人ひとりをしっかり理解し、適切に関わることのできる基礎を培うことができるよう構成した。

A 5並製 186頁 2100円 (0407-1) [2014]

〈主要目次〉

序 教育相談とは 1 不適応の子どもの理解とかかわり 2 こころの不健康（ストレスとこころの不健康、精神障害 他） 3 発達障害 4 不登校（保護者支援と家庭との連携 他） 5 いじめ（いじめの予防と対応 他） 6 暴力行為 7 心理教育的アセスメント 8 カウンセリングⅠ：基本的な理論と方法 9 カウンセリングⅡ：学校での実践 10 予防・開発的な援助（最新の動向 他） 11 学校内外の連携 12 カウンセリングの実践を目指して 他

鎌倉利光・藤本昌樹 編著

子どもの成長を支える発達教育相談

[第3版]

子どもの発達の特徴、特徴把握の為のアセスメントや、発達障害・不登校・問題行動・精神疾患等の基礎知識とその対応を概説。更に危機介入時の対応・連携等、発達相談と教育相談を統合したテキスト。

A 5並製 184頁 2000円 (0466-8) [2015]

〈主要目次〉

1 子どもの発達の特徴 2 子どもの発達の特徴をとらえるためのアセスメント 3 子どもの発達の問題 4 特別支援教育とは 5 不登校の問題とその支援 6 子どもの問題行動とその対応 7 子どもの社会性の問題とその支援 8 教育相談に関わる精神医学 9 学内外の相談体制・連携のあり方 10 教育相談に関わる危機介入 11 子育てと家族の問題とその支援 12 心理療法の基礎理論

卯月研次・後藤智子 編著

心とふれあう教育相談

子ども達に関わる際に踏まえておくべき諸問題、およびその対応や留意点を具体例をもとにわかりやすく解説した。一人ひとりの子どもの心を理解するために配慮の行き届いた実践的な教育相談の入門書。

A 5並製 188頁 2200円 (0461-3) [2015]

〈主要目次〉

1 現代社会における教育相談の意義 2 教育相談とは 3 ロジャーズの来談者中心療法 4 様々なカウンセリング理論 5 心と体の発達と精神病理 6 不登校の理解 7 いじめ 8 子どもの攻撃性と学級崩壊 9 児童虐待の理解 10 発達障害の理解 11 アセスメントと情報の共有 12 親・教師への支援

桜井美加・齋藤ユリ・森平直子 著

教育相談ワークブック

子どもを育む人になるために

教育相談の基礎知識を概説の上、特にいじめ、不登校、発達障害などの重要課題について最新情報をもとに解説した。またアクティブに教育相談の知識を身につけることができるようワークを織り込んだ入門書。

B 5判並製 144頁 2000円 (0481-1) [2016]

〈主要目次〉

児童・思春期の発達とアセスメント カウンセリングの基本 学校における連携と協働 児童虐待への理解と対応 特別支援教育を必要とする子どもたち 不登校の子どもの理解と対応 いじめの被害者・加害者への理解と対応 学校における危機介入と心のケア 非行問題への理解と対応 保護者の理解と対応 教師のメンタルヘルス 学校で使えるワーク 他

田中富士夫 編著

臨床心理学概説 [新版]

理論的基盤の多元化、技法の多様化に加え、その活動領域の範囲が著しく拡大されてきた今日の臨床心理学の現状を俯瞰できるような基礎的テキストたることをめざした最新版。巻末に用語解説をも付す。

A 5 上製 261 頁 2500 円 (551-9) [1996]

〈主要目次〉

- 1 臨床心理学の基礎 臨床心理学のあゆみ 臨床心理学の理論的背景 2 臨床査定 査定面接 監察法 心理検査 査定情報の統合と伝達 3 臨床的介入 精神分析療法 行動療法 来談者中心療法 遊技療法 4 介入活動の展開 家族療法 集団療法 地域臨床 5 臨床心理学の研究 研究活動の基礎 臨床査定の研究 臨床介入の研究 6 援助職としての心理臨床 臨床心理士の教育と訓練 心理臨床家の実践活動 心理臨床家の倫理

森谷寛之・竹松志乃 編著

はじめての臨床心理学

臨床心理学の基本的知識を分かり易く丁寧に解説した入門書。臨床心理学の定義、歴史などの概説から、心理検査法や療法といった実務面の説明に至るまで、豊富な図表と具体的事例にもとづき平易に叙述。

A 5 上製 240 頁 2500 円 (550-0) [1996]

〈主要目次〉

- 1 臨床心理学とは何か 臨床心理学と実験心理学・臨床心理学の誕生他 2 心のしくみとパーソナリティ 心の構造・性格類型・正常と異常 3 心の発達段階 エリクソンの発達観・発達段階をおって 4 心理検査を知る 心理検査の分類・実際・知能と知能検査他 5 心理療法を知る 心理療法とは・心理療法の実際 6 社会と臨床心理学 病氣と災害・ターミナル・ケア・死の準備教育・コミュニティ心理学 7 臨床心理士の活動

塩崎尚美 編著

実践に役立つ臨床心理学

[第3版]

第I部では実践の活用という視点から臨床心理学の諸理論を解説し、第II部では第一線の実践家が臨床現場での臨床心理士の仕事の現状を紹介。基礎を養い今後の課題を明確にした理論と実践を繋ぐ入門書。

A 5 並製 208 頁 2100 円 (0499-1) [2015]

〈主要目次〉

- 1 「臨床心理学」：その歴史と現状 2 パーソナリティ理論とアセスメント 3 精神分析理論と精神分析療法 4 ユング心理学とその臨床 5 ロジャーズの理論とクライエント中心療法 6 発達の理論とその臨床への応用 7 学校臨床：スクールカウンセリング・教育相談 8 精神科医療の現場 9 産業領域の臨床 10 子育て支援 11 司法領域における心理臨床

成田善弘 編著

心理療法の実践

臨床心理学の実践 1

心理療法の現場に携わってきた著者たちによる入門書。人間の成長過程の特徴およびその時期特有の症状とその療法、症状ごとに有効な療法、その他多様な種類の療法を豊富な事例をもとに丁寧に解説する。

A 5 上製 216 頁 2400 円 (937-9) [2004]

〈主要目次〉

- 第1章 心理療法を学ぶ 第2章 子どもの心理療法 第3章 思春期、青年期の心理療法 第4章 中年期・高齢者の心理療法 第5章 統合失調症の精神分析的な心理療法 第6章 人格障害の心理療法 第7章 虐待の心理療法 第8章 心身症の心理療法 第9章 非行の心理療法 第10章 学校臨床における心理療法 第11章 表現療法 第12章 精神分析療法 第13章 夢分析による心理療法

山脇圭輔 著

心理学・臨床心理学概論

[第3版]

心理学・臨床心理学の基礎を分かりやすく1冊にまとめたハンディなテキスト。心理学の重要キーワードには解説を付し、基礎概念を着実に身につけることができ、図版も多く掲載し具体的な理解を促す。

A 5並製 240頁 2400円 (0462-0) [2015]

〈主要目次〉

心理学の変遷 知覚・感覚 記憶と忘却 学習と行動 感情欲求、動機付け 思考 知能 性格 発達 社会 心の構造 精神分析の世界 臨床心理学の展開 臨床心理学の場 さまざまな精神疾患 心理療法 面接と査定法 心理学・臨床心理学とその関連領域

森脇愛子・坂本真士 編著

対人的かかわりからみた心の健康

第1部では対自己と心の健康、第2部で対他者関係と心の健康、第3部で社会における心の健康を取り上げる。自分の心とリンクさせつつ理論から応用、実践へと結びつける力を養う事のできる入門書。

A 5判並製 196頁 2200円 (0453-8) [2015]

〈主要目次〉

対自己と心の健康(心の健康と社会心理学 原因帰属と抑うつ 自己意識・自己注目と心の健康 対人不安 怒り) 対他者関係と心の健康(ソーシャルサポートと心の健康 ソーシャルスキルと心の健康 自己開示と心の健康 ストレスと対処 インターネット・携帯電話を介したコミュニケーション) 社会における心の健康(大学・職場・地域や社会における心の健康)

高田知恵子 編著

子ども・おとな・社会

こどものこころを支える教育臨床心理学

〈主要目次〉

1 子どもを理解する 子どもを支援する 子どもに見られる障がいと疾患(発達障がい こころ・からだの不調 病気や障がいのある子どものきょうだい) 子どもに見られる行動の問題(学校不適応・非行) セクシュアリティ(性の発達 人生における性の意味 性的問題 性的取り上げ方) 2 子どもをとりまくおとなと社会 保護者(保護者の抱える問題・家庭内ストレス) 教師・学校(教師の陥りやすいストレス状況 校内資源・地域資源との連携)他

子どもの健やかな育ちのために、発達段階で生じる心身の問題、不適応、非行、性といった現代の子どもの発達の諸側面を解説。保護者・教師・学校・地域等、子どもを取り巻く環境の問題と連携とを考察。

A 5並製 168頁 1900円 (0247-3) [2010]

濱口佳和・宮下一博 編著

子どもの発達と学習

(子どもの心を知る 第1巻)

〈主要目次〉

1 発達とは何か? 発達の各時期の特徴他 2 発達の規定要因 遺伝と環境他 3 発達と教育 母親の教育力他 4 身体と運動能力の発達 身体の発達他 5 社会性の発達 新生児の社会的コンピテンス他 6 認知と言語の発達 認知の発達他 7 人格の発達 人格発達の展開他 8 学習とは何か? 学習の理論他 9 記憶と問題解決 問題解決他 10 知識と創造性 知能親の変遷他 11 学習意欲 12 教授と評価 13 学級

発達の基礎概念、心身の諸側面の発達過程、教育の場での関わりと構造などを、豊富な図表や用語解説を織り込み詳説する。また随所に設けられたトピックでは教育をめぐる興味深い最新問題を取り上げる。

A 5上製 211頁 2200円 (591-8) [1997]

弘中正美・濱口佳和・宮下一博 編著

子どもの心理臨床

〈子どもの心を知る 第3巻〉

いじめ、不登校、家庭内暴力など問題山積の子どもの心に焦点をあて、臨床心理学に関する正しい認識と知識をもつことを通して子どもの心の問題を見つめる目を養ってもらうことを意図としてまとめられる。

A 5 上製 228 頁 2300 円 (715-5) [1999]

〈主要目次〉

1 心理療法の基礎理論 臨床心理学をめぐる基本的諸問題－臨床心理学の方法論他 臨床心理学の理論－フロイト・ユング・ロジャース他 子どもの心の問題のとりえ方 子どもの問題の特質他 2 子どもの心理療法 遊技療法－遊技療法のプロセス他 箱庭療法－箱庭療法とは他 芸術療法 行動療法 家族療法 3 実践家への道 心理臨床の現場－心理臨床の現状他 臨床心理士になるための訓練－臨床心理士の学習課題他

鎌倉女子大学児童学部 編

子ども心理学の現在

子どもの心の問題や問題行動が深刻になりつつある現代に子どもを理解し、援助するために広い視野から改めて総合的に「子ども」を問いなおす。時代の要請によって成立した子ども心理学の入門テキスト。

A 5 上製 234 頁 2400 円 (0314-2) [2012]

〈主要目次〉

1 子どもという時期 2 家族と子ども 3 子どもの仲間関係 4 地域社会と子ども 5 文化と子ども 6 学ぶということ 7 ICT時代の学び 8 教師に求められること 9 生きていく力 10 子どもの自己形成 11 子どもの心理臨床 12 子どもの精神医学 13 子どもの発達障害 14 子どもの不適応行動 15 子どもに対する発達支援

佐藤いづみ・鈴木悦子 著

子どもの心を育てる最前線

子どものころに耳をすまして [改訂版]

心の発達を理解するための基礎知識を概説し、援助方法として代表的な心理療法を取り上げる。将来親として、また子どもに関わる仕事に就く人々が心理療法の知識を有効に活かせるよう工夫して編まれた。

A 5 並製 192 頁 1900 円 (0515-3) [2016]

〈主要目次〉

序 心の健康とは 1 章 発達とは何か 2 章 発達理論から学ぶ 3 章 心の発達と胎児期 4 章 心の発達と乳幼児期 5 章 心の発達と児童期 6 章 女性のメンタルヘルス 7 章 発達の障害について 8 章 心理療法とは 9 章 クライアント（来談者）中心療法 10 章 精神分析 11 章 その後の精神分析－関係性 12 章 遊戯療法 13 章 親－乳幼児心理療法 14 章 心の問題と見立て－アセスメント

伊藤亜矢子 編著

学校臨床心理学 [改訂版]

学校という場を生かした支援

スクールカウンセラー、特別支援コーディネーター等は学校でどのような支援や工夫が可能なのか。校内心理職をどう活用すれば良いのか。実践に結びつく基本的な知識を概説すると共に現場における具体実践例を紹介。

A 5 並製 168 頁 1800 円 (0201-5) [2009]

〈主要目次〉

第1部 1 学校でのコミュニティ・アプローチ 2 不登校の理解と対応 3 発達障害の理解と対応 4 学習に関する問題と対応 第2部 1 子どもの特徴のアセスメント 2 発達障害のアセスメント 3 進路指導・自己理解のアセスメント 4 教師－生徒関係のアセスメント 5 学級のアセスメント 第3部 1 養護教諭のコーディネーターと担任の役割 2 学校内に相談室・支援室をつくる 3 特別支援教育コーディネーターと担任の役割

伊藤美奈子 著

思春期の心さがしと学びの現場

スクールカウンセラーの実践を通して

〈主要目次〉

1 現代社会における子どもの問題 隠されたメッセージを読み取るうー子どもの心の問題に対するとらえ方・人生前半の大きな峠・友だちって何?・親離れ子離れは難しい 2 学校現場の病理 学校に行かないということ・現代社会の縮図が見える一いじめと規範意識・教師受難の時代 3 スクールカウンセラーをめぐる 教育という車の両輪・学校現場への「黒船」・もう一人のカウンセラー—保健室と養護教諭・学校現場の分岐点

混迷している現代教育問題を教員・研究者・スクールカウンセラーと様々な立場から関わり続けてきた著者ならではの柔軟でバランスのとれた視点から捉え、開かれた連携、新たな教育の展望を具体的に示した好著。

四六上製 148 頁 1600 円 (778-2) [2000]

平石賢二 編著

思春期・青年期のこころ [改訂版]

かわかりの中での発達

〈主要目次〉

1 章 移行期としての思春期・青年期 2 章 身体とこころ 3 章 自分とのかかわり 4 章 親子の絆・家族の絆 5 章 同性・異性の友人関係 6 章 学校・社会の中での体験 7 章 小学校高学年 8 章 中学生 9 章 高校生 10 章 大学生 11 章 スクールカウンセラーが考える思春期の子どもたちへの支援 12 章 児童相談所からみた青年 13 章 青年の発達を支援する実践に向けて

思春期・青年期の子どもたちの心理社会的発達の特徴を、彼らを取り巻く様々な人々とのダイナミックな関係性に焦点を当てて考察する。執筆陣に教師・カウンセラーを加え現場の事例を豊富に盛り込む。

A5 並製 204 頁 2000 円 (0308-1) [2011]

[新版近刊]

安立奈歩・河野伸子・大谷真弓 著

授業で使える青年心理学ワークブック

青年期の心理をより深く理解するために

〈主要目次〉

1 章 思春期・青年期とは 2 章 思春期の入り口としての前青年期 3 章 思春期における心身の変化 4 章 友人関係の発達的变化 5 章 親子関係の発達の变化 6 章 アイデンティティの形成 7 章 恋愛における関係性の発達 8 章 思春期・青年期における心の病 9 章 職業選択と就労をめぐる問題

思春期・青年期の発達の基礎知識を概説しワークや豊富な資料をもとに、リアルな青年像を捉える。さらに、この時期特有の問題や、昨今の社会的問題を絡めつつ、現代の思春期・青年期の心を読み解く。

B5 並製 126 頁 1600 円 (0368-5) [2013]

渡辺弥生・小林朋子 編著

10代を育てるソーシャルスキル教育

感情の理解やコントロールに焦点を当てて [改訂版]

〈主要目次〉

1 ソーシャルスキル教育とは 2 生徒のソーシャルスキルを理解するには 3 学校でうまく機能できるように ワークブック (ワークブックの見方と使い方/導入と自己紹介スキル/話すスキル/聴くスキル/あたたかい言葉をかけるスキル/感情に気づく/感情を調節する/自尊心を高めるスキル/敬意をはらうスキル/異性とのコミュニケーションスキル:共感するスキル/計画を立てて行動するスキル)

心身ともに急激な成長を遂げる10代の発達を概説した上で、様々な問題乗り越えていくために必要不可欠なソーシャルスキル教育を解説。実践で使えるワークブックと詳しい教授法もついた実践の好著。

B5 並製 168 頁 2000 円 (0385-2) [2013]

鎌倉利光 著

こころを支える臨床心理学と発達教育

[改訂版]

臨床心理学と発達教育に関する心理学の基礎入門書。臨床心理学の基礎知識や精神疾患について概説の上、人間の生涯発達を踏まえつつ、教育現場での問題やこころの問題に対し支援や介入の方法について学ぶ。

A 5 並製 116 頁 1700 円 (0287-9) [2011]

〈主要目次〉

第1章 「何」を「どのように」測定するのか—心理アセスメントは何か 第2章 「こころ」の状態についての理解—さまざまな精神的な症状について 第3章 「こころ」の問題へのアプローチ—心理療法・カウンセリングの基礎問題 第4章 「こころ」の発達と適応—乳幼児期から老年期までの発達段階の特徴 第5章 教育現場に活かすための心理学—教育実践にかかわる心理学

村尾泰弘 著

家族臨床心理学入門

精神分析からナラティブ・セラピーまで

『家族臨床心理学の基礎』（2001）をもとに、最新の展開を反映させた全面改訂版。家族関係を改善することによって、個人の問題は飛躍的に改善されるとする視点からの臨床心理学の考え方と技法を論じた好著。

A 5 上製 208 頁 2300 円 (0401-9) [2014]

〈主要目次〉

1 愛と憎しみを生み出す場としての家族 2 臨床心理学の古典 3 家族療法—システムとしての家族 4 ブリーフセラピーとナラティブ・セラピー 5 問題行動の理解と対応 6 個人と家族の成長 7 精神疾患の基礎知識 8 発達障害 9 性格 10 心理臨床の実践 11 若者の現状と家族 おわりに—個人の再生と家族の再生

井村たかね 著

家族臨床心理学の視点

人間関係の希薄さ・自らの家族をつくることへの不安・キャリア化した女性の結婚観の変化等、家族の現状とその中で起こる問題状況を紹介しながら臨床心理の視点で選択の主体としての生き方を学ぶ好著。

A 5 上製 216 頁 2400 円 (0111-7) [2007]

〈主要目次〉

1 家族の成立と変容 2 配偶者選択 3 新婚期のカップルの遭遇する課題 4 乳幼児をもつ家族 5 学童期の子どもがいる家庭 6 思春期の子どもと家族の葛藤 7 青年期の若者と親子間の葛藤 8 ヤングアダルトの直面する課題 9 中高年期における様々な問題 10 高齢化社会と老年期の問題 11 家族カウンセリングの諸理論 12 離婚カウンセリングと子の監護の問題 13 父母の離婚と子の福祉

井村たかね 著

家族のための臨床心理学

子どもの福祉の立場から家族を援助する方法

人間の発達、現代のライフサイクルを家族の関係の視点から概観しつつ、筆者の携わった豊富な事例をもとに、夫婦間の葛藤や紛争による子ども達の精神的問題をどのように援助し、解決したかを解説した。

A 5 判上製 240 頁 2500 円 (0344-9) [2012]

〈主要目次〉

1 事例で理解する家族臨床心理学（家族の軸としての夫婦関係、ライフサイクルと夫婦関係の変容、親子関係）2 両親間の葛藤と青年期の人格形成（父母関係と青年期の人格形成）3 大学生・大学院生と家族（青年と家族の葛藤、半構造化面接による検討）4 若い夫婦の離婚紛争と祖父母の登場（社会の変化と家族関係の変化、片親家庭を援助する祖父母の養育力、健全に成長した青年の家庭における祖父母の養育力）

成山文夫・石川道夫 編著

家族・育み・ケアリング

激変する現今の家庭・家族関係に対し、教育学、心理学・社会学のみならず家政学・食品化学・建築学等の各専門家が協同して、今、何が起きているのか、その変化を多角的に論及し、今後の展望を示す。

A 5 上製 222 頁 2200 円 (763-5) [2000]

〈主要目次〉

1 学習課題としての家族 家庭とは何か・家族するための学び・2 家族を生きる・家族を創る 結婚は損か得か―若者のこころ模様・子どもの育ちと保育環境・家族の成長と終焉―家族の危機をめぐって 3 家族生活の環境を見直す 健康家族の食と栄養・自然と土に触れる生活・家族と住居・生活のなかの化学物質 4 家族をケアするために 子どもを生む・子どもの発達と健康・老いた親と生きる

串崎真志 著

自分をみつめる心理学

ワークと解説

さまざまなユニークな心理学のワークを紹介しながら、自分を知り、自分を見つめ、また他者を知り、他者によりよく関われることを目指したユニークな実践的テキスト。理論も分かりやすく具体的に解説。

A 5 並製 202 頁 2100 円 (0271-8) [2011]

〈主要目次〉

失敗してしまった時：認知療法 矛盾した感情がある時：インクルーシブセラピー 過去を悔やんでしまう自分：構成主義心理療法 書くことの力 「いま、ここ」の私を感じる：フォーカシング からだの知恵に耳を傾ける：ボディワーク マインドフルネスとはなにか？ 苦しみを受け入れる 気になる自画像 仲間おりしたいとき：ソーシャルスキル カウンセリングスキル イメージを共有する 才能を伸ばし楽しさを増やす 自分の力を信頼する：イメージ技法 等

小谷英文 編著

ガイダンスとカウンセリング

指導から自己実現への共同作業へ

学校教育や企業人事の場において急速に高まる指導とカウンセリングのニーズに応え、体系的な理論性と実践につながる技法とを噛み合わせた本格的なテキスト。形成されつつあるものとして独自の論を展開。

A 5 上製 223 頁 2500 円 (293-5) [1993]

〈主要目次〉

人間理解と人間の成長 ガイダンスとカウンセリングの歴史と現代的課題 治療行動学の基礎 人間性心理学的基礎 精神分析学的基礎 集団心理学的基礎 家族心理学的基礎 精神医学的基礎 心理力道論 人格理論とアセスメント シャーロックホームズにみる専門性 ガイダンスの技法構造論と過程理論 カウンセリングの技法構造論と過程理論 ガイダンスの効果 カウンセリングの効果 ガイダンスとカウンセリングのシステム力動

平木典子・巖岩秀章 編著

カウンセリングの基礎

臨床の心理学を学ぶ

臨床心理学の歴史を概観し、人格論と発達論から人間の変化についての基礎知識を要説。臨床実践での人間関係や援助の相互作用に重点をおき最新の理論と技法を紹介する高水準の「基礎」が身につく好著。

A 5 上製 222 頁 2400 円 (606-X) [1997]

〈主要目次〉

カウンセリングの基礎としての臨床心理学 1 臨床心理学の歴史と背景 異常性の探求の時代 多様化し増大する障害他 2 臨床心理学的人格論 人格の発達、構造と不適応のメカニズム他 3 臨床心理学の発達論 発達援助としての臨床心理学他 4 臨床心理学的査定 心理査定 心理診断とはなにか他 5 臨床心理学の理論と技法 主要理論とその技法 6 臨床心理学の訓練と今後の課題 カウンセラーの資格、倫理他

平木典子・巖岩秀章 編著

カウンセリングの実習

自分を知る、現場を知る

〈主要目次〉

序 自分を知る・現場を知る 1 自分を知るということー私って何だろう他 2 人とふれ合うということ 人と出会って初めて知る自分がいる他 3 カウンセリングの現場を知る 発達におけるカウンセリングの実際 教育におけるカウンセリングの実際 保健におけるカウンセリングの実際 産業におけるカウンセリングの実際 医療におけるカウンセリングの実際 看護におけるカウンセリングの実際 福祉におけるカウンセリングの実際他

心理学の基礎の上に実践知を統合するカウンセリングの訓練に不可欠な実習について、①カウンセラー自身の自己理解、②カウンセリング実践の現場理解という二つの面から読者が追体験しうよう紹介。

A 5 上製 220 頁 2400 円 (668-X) [1998]

平木典子・巖岩秀章 編著

カウンセリングの技法

臨床の知を身につける

〈主要目次〉

カウンセリングの技法とは何か 1 面接の技法 面接の構造を作る・面接を展開していく技法 2 アセスメントと記録の技法 心理アセスメントと記録・ライフサイクル 3 家族や連帯の技法 家族面接技法ー治療関係を作るための技法・コンサルテーションを初めとする連帯の技法ー組織における介入他 4 技法の向上を目指して 監督と訓練 5 臨床の知とは何か 技法に結実した臨床哲学と理論 臨床実践の共同性・臨床の技他

カウンセリングの基礎・実習を踏まえ、具体的に技法を見につけるために、面接の技法・アセスメントと記録の技法・家族や連帯の技法等を紹介しながら、さらにその技法に結実した思想と理論を展開する。

A 5 上製 222 頁 2400 円 (822-4) [2001]

山蔦主輔・杉山 崇 編著

カウンセリングと援助の実際

医療・学校・産業・行政における心理的支援

〈主要目次〉

1 カウンセリングと支援（カウンセリングとは、歴史、領域） 2 カウンセリングの理論（きくこと・みること・自己理論） 3 医療（医療現場におけるカウンセリングの考え方・実践問題） 4 学校（学校現場におけるカウンセリングの考え方、スクールカウンセリングの実際） 5 産業（職場における支援、教育的支援と社員研修） 6 行政（行政における心理的支援の実際と課題、保健所における心理的支援） 7 おわりに 他

カウンセリングの意義や基礎理論を初学者に分かりやすく解説するとともに、医療・教育・産業・行政のフィールドでの実践事例を数多く紹介しながら、カウンセリングの理論と実際が学べる実践的なテキスト。

A 5 並製 184 頁 2200 円 (322-7) [2012]

小俣和義 編著

こころのケアの基本

〈主要目次〉

序 こころのケアの基本 I 部 臨床心理学的研究と心理臨床の対象（臨床心理学のなりたちと展開 こころの病気 こどもたちの抱える問題 おとなたちの抱える問題） II 部 心理アセスメント（こころを見つめること 心理検査の使い方） III 部 心理的援助の方法（はじめに学ぶ心理療法 心理療法の実践） IV 部 心理臨床の実践（臨床心理士の仕事の実践 災害支援・危機支援：東日本大震災における地域に根ざす心理臨床活動 こころの専門家としての社会的使命）

こころのケアの方法や問題意識を様々な現場で活躍する執筆陣がコンパクトに解説した入門書。実践的コラムや心理アセスメントの説明を充実させ、東日本大震災以後のこころのケアのあり方を問い直す。

A 5 並製 216 頁 2300 円 (0384-5) [2013]

杉本裕司 著

自己理解を深める10のレッスン

主に深層心理学の立場から

深層心理学の基礎知識を概説し、日本の文化的背景及び心性を東西文化の比較や神話等の分析をもとに考察。また、昨今の社会情勢も読み解きながら、日本人の自我のあり方、その問題を浮き彫りにする。

A 5並製 204頁 2200円 (0360-9) [2013]

〈主要目次〉

1章 深層心理学について 2章 「母性社会」日本 3章 ユング派による「昔話」の東西比較 4章 フロイト派における『オイディプス王』と『阿閼世物語』 5章 「心配症」について 6章 日本人の「状況倫理」 7章 「シャイ」について 8章 若者の友人関係の希薄化? 9章 「自尊心」について 10章 「影」について

杉山 崇 編著

入門! 産業社会心理学

個人と組織の関係、対人関係とコミュニケーション、キャリア形成、ストレスとメンタルヘルス等、現代社会を生きる誰もが直面する問題を考察、具体的な人間関係の中で実際に役立つ知識や方法を提示した。

A 5判並製 254頁 2500円 (0455-2) [2015]

〈主要目次〉

組織・グループとリーダーの不思議 組織と個人のやる気のコツ コミュニケーションの理論とスキル (広告・営業の説得力 科学技術・法律・医療とのコミュニケーション) ヒトは人をどうみているのか? (対人関係における錯覚と感情) 社会と生きるヒト “自分” 創り、“自分” 探しの理論とスキル (キャリア形成と賢い生き方) ストレスとメンタルヘルス

若島孔文 編著

犬と家族の心理学

ドッグ・セラピー入門

ドッグ・セラピーの研究理論を実践例、事例を交えつつ概説。またより良いコミュニケーションに向け、心理学的見地から犬及び犬種の特徴を捉えつつ具体的に解説。ペットロスの要因やケアについても詳説。

A 5並製 104頁 1700円 (0087-5) [2007]

〈主要目次〉

1 ドッグ・セラピーの効果に関する研究 病院における実践的研究 福祉施設における実践的研究 学校における実践 家庭における実践的研究 2 ペット・セラピーをコミュニケーションで解く 葛藤的コミュニケーションにおける「相互作用レベル」 3 家族が犬を必要とするとき—家族療法の視点から 4 犬と楽しく付き合うために 犬のしつけ・訓練と学習理論 5 ペットロス—最後の贈りもの ペットロスの有益性

小川芳男 著

医療心理学 [改訂版]

人間の根本的心理学的知見、人間理解を阻害する要因、そして患者の心理及び援助するための身近な技法を分かりやすく解説。さらに医療現場での患者への具体的対応の仕方を指導した患者中心医療のためのテキスト。

A 5上製 162頁 2300円 (0241-1) [2010]

〈主要目次〉

第1章 人間の理解—人間の精神的能力—欲求と適応他 第2章 認知・理解を阻害する要因 第3章 患者の心理—患者の一般的心理—子どもの心理 青年の心理 成人の心理 老人の心理 医療人の一般的対応 第4章 カウンセリング—精神分析法 行動療法 認知行動療法 遊戯療法 芸術療法 自立訓練法 森田療法 第5章 医療現場での対応—医療人の風貌・風格 患者への問いかけと返答への対応 患者への説明・指示

青木智子 編著

医療と福祉のための心理学

対人援助とチームアプローチ [改訂版]

〈主要目次〉

クライアントをめぐる人々 1 学習～行動の変容(観察学習／行動科学の医療場面への実践他) 2 記憶・思考(記憶のしくみ／高齢者の記憶) 3 感覚・知覚・認知(感覚・知覚の加齢変化他) 4 動機・欲求・情動 5 発達(新生児期～老年期他) 6 社会・集団 7 パーソナリティとアセスメント 8 心理療法の理論と事例 コラム 他

医療・福祉・教育等対人援助職に必要な現場の問題を踏まえた心理学の入門書。コラムでは理論・実践共に長けた様々な対人援助職の執筆者により現場での問題と想いを伝える。実践につながる好テキスト。

A 5 並製 254 頁 2300 円 (0410-1) [2014]

渡邊敦子・斉藤順子 編著

対人関係とコミュニケーション

〈主要目次〉

看護と対人関係 看護に役立つ心理学の知識 人間関係におけるカウンセリング理論 共存 依存 依存症概論 依存症の当事者に対する支援者の認識 精神科病院で出会う依存症の当事者 依存症の当事者の地域生活の実態とそれへの支援 女性の依存症の当事者に対する支援 依存症の当事者の家族に対する支援 触法精神障害者への支援 青年期の心の問題 他

精神状態が不安定であり、司法等特別な処遇を受けている場合の多い依存症や触法精神障害者への支援方法を事例を基に解説。対象者の内面、実態理解を促し、受け止め方、支援の姿勢を深く考えさせる書。

A5 判並製 192 頁 2400 円 (0459-0) [2015]

江川致成 編著

カウンセリング入門

〈主要目次〉

1 カウンセリングとは 2 カウンセリングにおける人間観と方法原則 3 カウンセリングのすすめ方(受理面接) 4 悩み・行動問題の原因についての理解 5 ラポールと共感的理解の図り方 6 クライアント理解の深化の方法 7 カウンセリングにおける処置の技術 8 主要なカウンセリング技法の概要(精神分析的カウンセリング／パーソン中心療法／行動カウンセリング他) 9 カウンセラーになるための心得と訓練について 他

カウンセリング、心理療法における基礎理論を解説したテキスト。実践家執筆陣が現場での経験をもとに、クライアント理解を重視した記述で、理論から実践の流れまでを解説したバランスの良い入門書。

A 5 並製 162 頁 2000 円 (0179-7) [2009]

木ノ瀬朋子・山崎千穂 著

こころを支える心理学

パーソナリティとメンタルヘルスを考える

〈主要目次〉

1 パーソナリティ理解の基礎知識 わたしのパーソナリティって? わたしって何タイプ? 点数で知るわたし わたしの知らないわたしの心 人類に共通のイメージ わたしを成長させる力 2 メンタルヘルス カウンセリングへの招待 メンタルヘルスの入り口 精神科の扉を開ける 疾患と治療 他

パーソナリティ心理学の諸理論を解説することによりこころについての理解を深め、さらにストレスの知識、カウンセリング、精神科医療についても分かりやすく説明した。こころの健康に役立つテキスト。

A 5 並製 162 頁 1800 円 (0229-9) [2010]

今井むつみ・野島久雄・岡田浩之 著

新人が学ぶということ

認知学習論からの視点

〈主要目次〉

1 学習とは：認知学習論から見た学び 2 学習の始まり：赤ちゃんはどのように知識を創るのか 3 ことばの学習：子どもはことばを学習する天才 4 機械の学習と人間の学習：人間の知性をコンピュータの知から考える 5 概念の学習：外界の認識から科学的発見まで 6 外国語の学習：外国語はなぜ難しいのか 7 学習を極める：熟達者になるには 付録：能と将棋のエキスパート対談 8 21世紀に必要な知識の学び 9 21世紀を生きる知識を身につける教育とは

学びの科学の最先端を探る！ よりよい学びとは何か、よりよい学びを支える教育とはどういうものかという根本的問題に対して認知科学の立場から応え、多角的視野から検討し、まとめあげた好テキスト。

A 5 並製 264 頁 2600 円 (0321-0) [2012]

有元典文・岡部大介 著

デザインド・リアリティ

集成的達成の心理学 [増補版]

〈主要目次〉

現実とはつくられる 社会文化的サイボーグ 社会文化的珈琲メイカーズ 焼肉屋店員のパーソナル・ビュー フィールドに向かう 道具のデザイン＝主体のデザイン ケータイゴしのあなたと私 デザインされた動機 ブリクラ：アイデンティティの装置 空っぽの世界を意味で満たす 腐女子の文化を見る コスプレ・コミュニティの文化的実践 つくられた「童貞」を生きる 現実をデザインする ころのありか みんなとできること 他

私たちの生きる現実の世界はどのように作られそして作られつつあるのか。文化的に創られる世界を身近な切り口から柔軟に鮮やかに論じる。文化心理学の立場から世界とそのつながりを読み解いた入門書。

四六並製 244 頁 2200 円 (0391-3) [2013]

菅野理樹夫 著

見るちから [増補2版]

古代のものの見方から現代の知覚論まで

〈主要目次〉

1 古代ギリシアから近世ヨーロッパまでのものの見方 古代の精神の座・視覚観 靈魂の医学者ガレノス ルネサンス期の精神の座 デカルトの精神の座 2 脳と網膜の見方 心的活動と神経系の機能 網膜 眼球運動と視覚 3 受動的な感覚と能動的な知覚 感覚と知覚 ものの知覚 錯覚 4 全体の姿の意味がある知覚について ゲシュタルト心理学の歴史、観察と実験 知覚の恒常性 5 ものが見えるように見えるのはなぜか 他

「見る」とことはいかなることか？ 歴史的視覚観から、見ることの生理的メカニズムまでを解説。また錯視の解説を通して「見る」ことの機能、本質を探る。図版も多数掲載。「見る」を総合的に科学する。

A 5 並製 194 頁 2300 円 (0419-4) [2014]

木村玲欧 著

災害・防災の心理学

教訓を未来につなぐ防災教育の最前線

〈主要目次〉

1 災害発生前・直後の心理や行動（「わがこと意識」を身につけよう 「自分が助かる」ことから考えよう なぜ人は逃げないのか） 2 災害発生から10年間の心理や行動（「心のブレーカー」を上げよう 「救助・救出」は自分たちでという現実を直視しよう 「避難所」は被災者にとってどんな存在かを知ろう 「新しい日常」を取り戻そう 「長く続く生活再建」を乗り越えよう） 3 来たるべき災害に向けて（「心を保つ・支える」ための原理と方法を学ぼう） 他

あまりよく知られていない災害時の人間心理・行動をわかりやすく理解できるように、災害事例や社会調査結果の図表を多用しながら災害時の人間行動を段階的に解説した実証科学の教科書。理論を押さえた実践書。

A 5 並製 244 頁 2400 円 (0422-2) [2015]

遠藤健治 著

Excel によるデータ処理入門 [増補改訂版]

集計から編集、要約、グラフ化、検定まで

Excelによるデータ処理の基本を具体的に分かりやすく概説し、データ集計と編集プロセスまで丁寧に解説。推測統計に関する記述に加え、関係や類似性を数値化する手法についても詳説した充実の入門書。

A 5 並製 248 頁 2000 円 (0319-7) [2012]

〈主要目次〉

- 1 データの種類を識別する 2 データを入力する 3 他のアプリケーションとデータの交換をする 4 データを編集する 5 データを集計し特徴を記述する 6 グラフに表す 7 統計的検討を行う 二項検定 カイ二乗検定 分散分析 8 類似性・関係の程度を数値で表す ピアソンの積率相関係数 偏相関係数 ϕ 係数 類似性指数 一致度数 9 多変量を集約する 合成変量 単回帰分析 重回帰分析 因子分析 Excelによるデータ処理に関する補足他

深谷澄男・喜田安哲・伊藤尚枝 著

心理学データのエクセル統計

心理学に必要な基礎的な実験と調査のデータ処理の技法を学ぶ。データ処理の考え方とエクセル統計での分析法・実験データの統計用の実験計画法と検定法。調査データに必要な質問紙の構成法と留意点等。

B 5 並製 206 頁 2400 円 (0293-0) [2010]

〈主要目次〉

- 1 心理学のデータと統計 2 エクセルの操作法 3 データの記述と比較 4 実験研究のデザイン 5 推定と検定 6 平均値の差 7 要因配置と分散分析 8 度数のカイ二乗検定 9. 調査研究のデザイン 10 多変数データ 11 変数間の類似度 12 重回帰分析 13 判別分析 14 クラスター分析 15 因子分析 16 総合演習

若島孔文・都築誉史・松井博史 編著

心理学実験マニュアル

SPSS の使い方からレポートへの記述まで

卒論や臨床心理士になるために必要な心理学実験に対し、SPSS等基本的統計ソフトを中心に入力方法から解説する初心者向けマニュアル。レポート提出の際の記述方法から留意事項までに目を配らせる必携の書。

A 5 並製 142 頁 1600 円 (0001-0) [2005]

〈主要目次〉

- 1 章 データの入力と加工—いきなり入力する前に他 2 章 2つの条件の差を比べる (t 検定)—サンプルデータレポートへの記述例他 3 章 2つの変数の関係を見る (相関関係)—相関関係の利用について他 4 章 分散分析—どんな時分散分析を使うのか? 他 5 章 χ^2 検定 (度数データの検定)—結果参考例他 6 章 回帰分析 7 章 因子分析 8 章 リッカート法・ α 係数・I・T 相関分析・G・P 分析—質問紙を作る他

大和田智文・鈴木公啓 編著

心理学基礎実験を学ぶ

データ収集からレポート執筆まで

初学者が、実験の内容や学問的背景、あるいは実験手続きについての教示を受けるところから、最終的にレポートにまとめて提出するまでの一連の作業を躊躇なく行えるように編まれた心理学基礎実験入門。

B 5 判並製 181 頁 2400 円 (0483-5) [2016]

〈主要目次〉

- 心理学と実験 ミュラー・リヤー錯視 大きさの恒常性 ストループ効果 鏡映描写 対連合学習 系列位置効果 情報の伝達と変容 問題解決過程 4 枚カード問題 パーソナルスペース 透明性錯覚 社会的ジレンマ 社会的促進と社会的抑制 同調 潜在態度による測定 自己教示訓練 レポートの書き方

伊藤尚枝 著

「甘えの心理」に迫るRでテキストを分析

自由記述テキストの分析のため、統計ソフトとしてのSPSSやSASに対しフリーソフトの「R」が統計解析とグラフィックスの環境を急展開で提供している。その実際を『甘えの構造』を素材に分析・解説。

A 5並製 132頁 1700円 (0237-4) [2010]

〈主要目次〉

第1部 甘えの心理をテキスト分析 甘えの心理 「わかる」の分析 甘えの語彙を集計
漱石作品の分類 ネットワークマップ 対応分析 第2部 RMeCabの操作 パッケージ
を開く 作業ディレクトリの設定 クラスタ分析 他 第3部 コマンドの操作 R
のダウンロード・セットアップ・ダウンロード・インストール Rの起動と終了 四則演
算子の計算 データ型のベクトル ベクトルの要素・演算 行列の作成 他

船津 衛・安藤 清 編著

自我・自己の社会心理学

ニューセンチュリー社会心理学 第1巻

種々の問題が生じている現代人の自我・自己のあり方を多角的に研究・考察して、人間のさまざまな社会的行為・行動の理解に有効な見方を把握させ、多様性に富んださらなる展開を意欲的に試みた注目書。

A 5上製 154頁 1800円 (863-1) [2002]

〈主要目次〉

1 自己と他者 自我の社会的形成・自我の役割コンフリクト 2 自我の社会性 意味
の社会性・意味の解釈他 3 自我とコミュニケーション 鏡に映った自我・自己イメージ
のコントロール他 4 自己の発達 謎に満ちた9ヶ月他 5 自己意識 自己への注意
と行動他 6 自己概念 自己概念の複合性・自己カテゴリー化理論他 7 自尊感情と
自己評価 自尊感情と自己高揚行動他 8 自己呈示 自己呈示の分類他 9 自己開示

田中 淳・土屋淳二 編著

集合行動の社会心理学

ニューセンチュリー社会心理学 第2巻

現代における集合行動研究の全体像を俯瞰して、その源流から最新の動向まで網羅し、現代における意義を多角的に広く捉えた包括的な論究としてあらたな息吹きを提示する。未だ類書のない総合的テキストと注目される。

A 5上製 198頁 2300円 (870-4) [2003]

〈主要目次〉

序 集合行動の対象領域と関心 集合行動の特徴他 1 群集の時代から大衆社会へ 群
集心理学の影響他 2 社会解体から社会創発へ シンボリック相互作用モデル他 3
日常とシンボル 同質性の幻想他 4 社会変動と構造的ストレス 価値付加モデルの基
本構図他 5 功利主義と集団 政治的機會他 6 集まりの形成と行動環境 分析フレ
ームと方法他 7 日常生活と集合行動 8 災害研究 終 集合行動の社会心理学

大島 尚・北村英哉 編著

認知の社会心理学

ニューセンチュリー社会心理学 第3巻

高度な内容を含みつつ、単なる研究分野の紹介ではなく、研究の魅力・面白さが自然に伝わるよう興味深い切り口から追究し、初学者が最先端研究の知的刺激に触れ、理解できるよう分かりやすく解明する。

A 5上製 186頁 2300円 (937-8) [2004]

〈主要目次〉

1章 認知的表象一人や集団は心の中でどう表現されているのか 2章 自己と認知
3章 自動性とコントロール過程 4章 潜在的認知 潜在的認知研究の課題と展望他
5章 対人認知 スキーマの働き他 6章 ステレオタイプと集団認知
7章 認知と感情 進化的観点からの理論他 8章 態度の情報処理モデル
9章 日常認知 自伝的記憶 目撃証言他 10章 社会的認知と進化 なぜ進化か他

片瀬一男・高橋征仁・菅原真枝 著

道徳意識の社会心理学

ニューセンチュリー社会心理学 第4巻

〈主要目次〉

- 1 道徳意識への認知発達論的アプローチ—ピアジェとコールバーグ 2 役割取得と道徳意識—ミードとコールバーグ 3 道徳意識と道徳哲学—ロールズとコールバーグ 4 道徳意識とアイデンティティ—エリクソンとコールバーグ 5 公正の道徳と配慮の道徳—コールバーグとギリガン 6 道徳意識と道徳教育—デューイとコールバーグ 7 道徳意識とコミュニケーション行為—コールバーグとハーバーマス 道徳的発達 の 6 段階

道徳とは何か。発展心理学を認識論的に基礎づけたコールバーグの道徳的発達理論がさまざまな知的交流のなかから彫琢されてきた経過をあとづけることを中心に、道徳意識の発達過程を平易に解明する。

A 5 上製 142 頁 1800 円 (853-4) [2002]

伊藤 勇・徳川直人 編著

相互行為の社会心理学

ニューセンチュリー社会心理学 第5巻

〈主要目次〉

- 序 相互行為論の視覚 1 意味を生き相互行為をする人々の探求 2 相互行為論の端緒—ミードの社会観 3 相互行為と合意 4 相互行為とイデオロギー 5 相互行為における秩序と身体 6 相互行為と権力作用—排他的エスノメソドロジーの実践 7 相互行為と性現象—エスノメソドロジーからのアプローチ 8 相互行為における家族—グリアムとホルスタインの構築主義的アプローチ 9 相互行為とメディア

社会的世界の探究を相互行為を切り口として進めようとする、シンボリック相互作用論、ゴフマン理論、エスノメソドロジー、会話分析、構築主義等多彩な諸潮流の基本的視覚と方法、具体的成果を紹介、解説する。

A 5 上製 204 頁 2300 円 (871-2) [2002]

教育

住田正樹・高島秀樹 編著

子どもの発達社会学

教育社会学入門

子どもの発達という具体的教育問題に焦点を合わせ、発達過程を規定する様々な社会的条件、文化的条件について考えながら教育と社会との問題を分析していくための基礎的概念と方法を解説した好テキスト。

A 5 並製 200 頁 2200 円 (0260-2) [2011]

〈主要目次〉

I 子どもの発達への社会学的アプローチ 発達と社会化 II 子どもの発達と社会集団 家族集団仲間集団 近隣集団 学校集団 III 子どもの発達をめぐる現代的状況 少子化 学歴社会 マスコミュニケーション ニューメディア、ゲーム IV 現代の子どもの問題行動 非行・いじめ・性非行 児童虐待 不登校・ひきこもり

住田正樹・高島秀樹 編著

変動社会と子どもの発達

教育社会学入門

子どもの発達過程に焦点を絞り、発達過程の基礎知識の習得を目的に、子どもの発達過程に関する基本的な考え方について述べ、次いで子どもの発達をめぐる現代的状況と子どもの問題行動について論考。

A 5 判並製 184 頁 (0469-9) 2100 円 [2015]

〈主要目次〉

1 子どもの発達と社会化 2 家族集団と子どもの社会化 3 仲間集団と子どもの社会化 4 近隣集団と子どもの社会化 5 学校集団と子どもの社会化 6 学校集団における社会化の現代的課題 7 マス・メディアと社会化環境 8 ニューメディアと子どもたち 9 社会の変動と少年非行 10 社会問題化する児童虐待 11 現代社会の不登校とひきこもり

中谷 彪・浪本勝年 編著

現代の教育を考える [新2版]

学校教育が直面している教育の基本問題をはじめ、学校教育、生涯学習、社会教育、国際理解教育、障害教育等全分野にわたり、現代教育の動向をふまえつつ、問題の核心を平易・簡明に解説した最新のテキスト。

A 5 並製 118 頁 1300 円 (0054-1) [2006]

〈主要目次〉

1 子どもの教育を考える 歴史における子どもの発見他 2 学校を考える 今日における学校の課題他 3 学級を考える 学級をめぐる問題と課題他 4 校則を考える 5 体罰を考える 6 いじめを考える いじめの問題の解消に向けて他 7 教科書を考える 8 教職員を考える 9 教育委員会を考える 10 文部科学省を考える 11 生涯教育を考える 12 異文化教育を考える 13 教育の時事問題を考える

中谷 彪・浪本勝年 編著

現代の教師を考える [改訂版]

学力低下・学級崩壊等の問題と共に批判の対象にされる教師だが、教師のあるように学校があり、教育がある。日本の教育と未来を考えるために、教師を考え、教育改革へ積極的・具体的な提案を行う筋道を探る。

A 5 上製 112 頁 1300 円 (979-4) [2004]

〈主要目次〉

- 1 教師のしごとを考える 教師の資格と身分他
- 2 教師の養成政策について考える
- 3 教師の採用について考える教員採用のしくみ・問題点他
- 4 教師の研修について考える
- 5 教師と学校・学級経営
- 6 教師の教育活動を考える 生活指導と特別活動他
- 7 教師と教育委員会について考える
- 8 教師の地位について考える
- 9 教育系大学・学部の将来を考える
- 10 諸外国における教員養成を考える
- 11 日本の教師

岩本俊郎・浪本勝年 編著

現代日本の教師を考える

教員免許更新制度の導入など、様々な問題を抱える昨今の教育現場。現代の教師をめぐる諸問題を考察しつつ、教員養成を含めた教育政策の課題を検討し、今後の展望を見据えたハンディで充実したテキスト。

A 5 並製 132 頁 1300 円 (0434-7) [2014]

〈主要目次〉

- 序 教師の「資質」向上を求めて
- 1 近代学校の成立と教師 民衆教育と教師
 - 2 近代日本の教師 戦後教員免許状制度の基本原則とその後の展開
 - 3 戦後教育改革の理念と教師
 - 4 現代日本の教師 教師の採用をめぐる問題 教員免許更新制 特別支援教育と教師 ほか

岩本俊郎・大津悦夫・浪本勝年 編著

新 教育実習を考える

教職免許法の改正により、さらに重要視される教育実習の事前・事後にむけた最新のテキスト。教育実習の意義を十分に理解させるよう、その本質にかかわる諸問題をわかりやすく解説した総仕上げに役立つ好著。

A 5 並製 128 頁 1300 円 (0327-2) [2012]

〈主要目次〉

- 1 教職課程における教育実習の位置 教職に関する科目としての教育実習・教育自習の意義・教育実習と介護等体験
- 2 教育実習に向けて 教育実習をめぐる仕組み・教育実習受け入れ校の立場・事前準備
- 3 教育実習の実際 教科活動と教壇実習・学習指導案について・教科外教育について・教育実習録について
- 4 教育実習の総括と反省 教育実習生の経験から学ぶ・事後指導のあり方と実際 資料 学習指導案・教育実習関連法令等

伊藤良高・中谷 彪・浪本勝年 編著

現代の幼児教育を考える

[改訂新版]

大きく変容している現代日本の幼児教育をめぐる基本的諸問題を最新の動向と論議を踏まえつつ、その現状と課題を多角的に捉え明らかにし、今後の展望を示す。講義テキスト及び実務・研修の資料に最適。

A 5 並製 125 頁 1300 円 (0101-8) [2007]

〈主要目次〉

- 1 子どもの誕生と教育を考える
- 2 子どもの成長と発達を考える
- 3 家庭教育を考える
- 4 幼稚園を考える
- 5 保育所を考える
- 6 保育内容を考える
- 7 保育者の資格を考える
- 8 幼保一元化を考える
- 9 幼稚園・保育所経営を考える
- 10 幼児教育・保育行政を考える
- 11 幼稚園・保育所の教育実習・保育実習を考える
- 12 幼児教育の歴史を考える
- 13 世界の幼児教育を考える
- 14 幼児教育人物・事項解説

岩本俊郎・浪本勝年 編

資料 特別活動を考える

憲法・教育基本法の精神に基づく特別活動のあり方を資料に即して具体的に探究する目的で編纂。理論編では特別活動における民主主義の精神を実践編を通じてはその展開のあり方を具体的に理解できる資料を収録した。

A 5並製 126頁 1700円 (0005-3) [2005]

〈主要目次〉

- I 特別活動の理論 1 基本概念 2 学校教育における特別活動の位置 3 特別活動の原理 II 特別活動の実践 1 中学校の学級活動・高等学校のホームルーム活動—生徒の要求に根ざした学級新聞他 2 生徒会活動 3 学校行事—儀式的行事—学芸的行事—健康安全・体育的行事—旅行・集団宿泊的行事—勤労生産・奉仕的行事 4 総合的な学習の時間 5 部活動・クラブ活動 6 参加と協同の学校づくり

岩本俊郎・浪本勝年 編

資料 生活指導を考える

憲法・教育基本法の精神に基づく生活指導の在り方を資料に即して具体的に探究する。理論編を通じ、生活指導における民主主義の精神が、実践編でその展開のあり方がそれぞれ具体的に理解されるように編集した。

A 5並製 118頁 1700円 (0006-1) [2005]

〈主要目次〉

- I 生活指導の理論 1 基本理念 2 学校教育における生活指導の位置 3 生活指導の原理 II 生活指導の実践 1 校則をめぐる問題—服装規定にかかわる1つのこころみ—高校生のバイク禁止他 2 体罰をめぐる問題—体罰必要悪論を排す他 3 非行問題—苦しさを、本音で語り合うなかで他 4 心と体をめぐる問題—不登校の子どもの数の変遷他 5 心のノートをめぐる一なぜ「心の教育の大合唱」なのか他

岩本俊郎・浪本勝年 編著

史料 道徳教育を考える

[三改訂版]

深刻な今日の子どもを巡る状況に対し推し進められる「道徳教育」の根本問題を探究するために、憲法・教育基本法の精神を基軸として、理念・歴史を踏まえた必要不可欠な基本的重要資料を精選収録した。

A 5並製 152頁 1700円 (0248-0) [2010]

〈主要目次〉

- I 道徳教育の基本理念 日本・大日本帝国憲法 教育基本法他 外国・国連 児童の権利に関する条約他 II 戦前日本の道徳教育 小学校教員心得 軍人勅語 治安警察法他 III 戦後日本の道徳教育 アメリカ教育使節団報告書 中央教育審議会答申別記「期待される人間像」他 IV 学校指導要領と道徳教育 1 学習指導要領と道徳教育—学習指導要領の変遷と道徳教育他 2 学校教育における日の丸・君が代問題 道徳教育関係年表

岩本俊郎・浪本勝年 編著

現代日本の教育を考える [第3版]

理念と現実

教育基本法が様々な問題を孕んだまま改正された現在においても、憲法・教育基本法体制が求める教育の自立と民主主義の下に、現代日本における教育の基本的問題を論究し、あるべき教育の姿を探究する。

A 5並製 134頁 1400円 (0494-1) [2016]

〈主要目次〉

- 1 教育の思想と教育学 近代の教育思想と教育学 現代日本の教育 2 学校教育の基本問題 教育課程の編成と方法をめぐる問題 学力と評価をめぐる問題 道徳教育をめぐる問題 3 生涯教育の基本問題 生涯発達と教育 社会教育（生涯教育）の実践 4 教育政策の基本問題 戦後教育政策の背景と展開 今日教育政策 5 教員養成の基本問題 開放制教員養成の出発とその後の展開 教員の「資質」向上を求めて 基本的資料

浪本勝年・三上昭彦 編著

「改正」教育基本法を考える

逐条解説

[改訂版]

〈主要目次〉

- 1 「改正」教育基本法を考える—その制定過程と特徴 問題点 課題 新法の制定過程 「改正」教育基本法の構成と基本的性格 憲法 国際人権条約と新教育基本法 教育条例 にそった新教育基本法の解釈を
- 2 1947年教育基本法の歴史的意義 成立の過程
- 3 「改正」教育基本法の逐条解説 教育の目的及び理念・教育の実施に関する基本 教育行政 法令の制定・附則—施行期日等
- 4 教育基本法をめぐる資料 文献・資料

多くの問題を孕み改正された教育基本法の中に、教育条例・憲法・子どもの権利条約等の精神を踏まえた解釈の可能性を探り、逐条解説の形式で問題点と課題を考察。民主党の日本国教育基本法案等も掲載。

A 5並製 128頁 1300円 (0134-6) [2008]

川口洋誉・中山弘之 編著

未来を創る教育制度論[改訂版]

〈主要目次〉

- 1 教育制度を学ぶことの意味
- 2 子どもの権利
- 3 教育法のしくみ
- 4 教育内容の制度
- 5 日本国憲法と教育基本法
- 6 教育の目的と目標
- 7 学校の制度
- 8 義務教育の制度
- 9 教育の機会均等
- 10 教職員の制度
- 11 教育行政の制度
- 12 保育の制度—保育所の制度
- 13 保育の制度—幼稚園の制度
- 14 社会教育の制度
- 15 ゆたかな教育制度を創造するために

抽象的な知識も身近な問題から理解できるよう、読者の学校体験と教育制度の問題がリンクするよう編まれた入門書。教育制度の諸問題を乗り越えようとした実践例も紹介し、今後の展望を示した好入門書。

A 5並製 224頁 2100円 (0412-5) [2014]

宮下一博・河野莊子 編著

生きる力を育む生徒指導

[改訂版]

〈主要目次〉

生徒指導とは 生徒指導の方法 生徒指導における教育相談 生徒指導における進路指導 児童生徒の不適応行動とその要因 不登校にまつわる理論と指導の実際 いじめにまつわる理論と指導の実際 ひきこもりにまつわる理論と実際 非行にまつわる理論と指導の実際 発達障害にまつわる理論と指導の実際 精神障害にまつわる理論と指導の実際 進路指導にまつわる理論と指導の実際 他

第1部で生徒指導の内容や意義、方法、教育相談、進路指導、不適応行動に対しての要因や具体的内容を解説。第2部で不登校、いじめ、非行、学習不適応、発達障害、精神障害等の問題の事例、要因等を説述。

A 5上製 218頁 2400円 (0276-3) [2011]

岡部美香 編著

子どもと教育の未来を考える

〈主要目次〉

- 1 日本における学校教育の変遷
- 2 現代日本の教育状況
- 3 西洋における教育思想の歴史
- 4 近代のメルクマールとしての<子ども>
- 5 教育と人間
- 6 「学力問題」
- 7 メディアをめぐる教育の発展と課題
- 8 多文化教育のゆくえ
- 9 公教育の「正当性」—「よい」教育とは何か
- 10 模倣の力 キーワード解説 史料 年表ワークシート 参考資料

学校教育を中心に日本の教育の歴史的変遷や子ども観・人間観を西洋の代表的教育思想の影響を鑑みながら辿り、更に今日の教育が直面している学力問題、情報教育、多文化教育の問題と課題について考える。

A 5並製 176頁 2000円 (0175-9) [2009]

藤原政行 編著

教養としての教育学

教育学に関する歴史、思想、行政といった諸領域の理論を体系的に概説すると同時に、教育に関する現代的な事象も読み解く。教育を様々な角度からとらえ、課題と展望を示したわかり易い教育学の基本書。

A5 並製 142 頁 1900 円 (0492-7) [2016]

〈主要目次〉

1 教育学の理論（日本の教育の歴史と思想／明治期・大正期・戦時下教育の民主化と教育改革 西洋（欧米）の教育の歴史と思想／ロック・ルソー・ペスタロッチ・フレーベル・ヘルバルト・デューイ・シュタイナー 教育制度とその改革／日本、欧米、アジア 教育行政の原理と組織） 2 教育学の諸問題（教育課程の編成 学習指導（教育方法）の基礎 学習指導の現代的課題 教員養成と教職）

古里貴士・中山弘之 編著

未来を創る教育原理

教職を目指す初学者が教える立場についてイメージできるように、身近な内容や事例、エピソードを各所に盛り込みつつ、具体的な内容から抽象的な理念や思想へと結びついていくように編まれた好著。

A5 並製 220 頁 予価 2000 円 [近 刊]

〈主要目次〉

第1章 なぜ教育原理を学ぶのか 第2章 学校論 第3章 生活と教育の結合 第4章 科学と教育の結合 第5章 発達論 第6章 教育福祉 第7章 社会教育 第8章 教育行政 第9章 教師論 第10章 まとめ

武田明典・村瀬公胤・嶋崎政男 編著

現場で役立つ教育の最新事情

教育実践、研究の最前線が分かる、21世紀教育のための道標。教員免許更新講習の文科省内容基準にも対応し、更に大学での教員養成のテキストにも最適。基礎理論と教育の現在と課題が学べる好テキスト。

B5 並製 120 頁 1500 円 (0324-1) [2012]

〈主要目次〉

教師の成長と省察 21世紀の学力と教育デザイン 教師の専門性と期待される教師の役割 発達障害の理解と概要 学校における心理教育の導入 教育改革と学習指導要領改訂の動向 小学校英語教育の展開 あらたな生徒指導 学校における危機介入の具体的な対処事例 社会の変化と子どもの問題 学校教育における批判的思考と市民リテラシーの育成 終 学び続ける教師と学校文化のために

原田恵理子・森山賢一 編著

自己成長を目指す教職実践演習テキスト

教職関連科目のこれまでの学びのまとめである新設科目教職実践演習のテキスト。各大学で使用している履修カルテと並行しつつ活用でき、学びを今後いかに活かせるかという「成長」の視点から編まれた。

B5 並製 110 頁 1600 円 (0406-4) [2014]

〈主要目次〉

1 教育実践演習とは 2 教育実習の振り返り 3 学習指導要領の内容 4 指導案作成の重要性とその意義 5 指導案作成と授業の展開およびその工夫 6 模擬授業 7 道德教育と特別活動 8 子どもの発達の理解 9 生徒指導と教育相談 10 特別支援教育 11 学級経営の在り方について 12 教員組織の一員として／子供へのコミュニケーション 13 保護者・地域社会への対応について 14 教員としての使命感・責任感、倫理観、教育的愛情 15 教師像と自己のキャリアを見つめ直す

原田恵理子・森山賢一 編著

ICT を活用した新しい学校教育

今注目の ICT (Information and Communication Technology) をどのように教育に活用できるのか？
現場での効果的かつ現実的な実践事例を紹介しながら
具体的な活用方法を論考。課題と展望を示した好著。

A 5 並製 136 頁 1600 円 (0474-3) [2015]

〈主要目次〉

情報教育の現状と求められる授業のあり方 情報教育の現状と求められる授業のあり方
校務の情報化とセキュリティ iPad1 人1 台導入 小学校情報化での大型プラズマディス
プレイの活用 タブレット端末・電子黒板の活用 私物タブレットと SNS 等の活用 テ
レビ会議システムを活用した遠隔教育 情報モラル教育の必要性和教育方法 教育におけ
る ICT 活用に向けて

トーマス・リコーナ著 水野修次郎 監訳・編集

人格の教育

新しい徳の教え方学び方

アメリカの人格教育の第一人者、リコーナ博士の人格教育に関するノウハウや各学校での事例を、実際の授業で使われている資料を交えつつ分かりやすく紹介。新しい人格教育の実践的在り方を提示する。

四六並製 180 頁 1600 円 (826-7) [2001]

〈主要目次〉

1 人格の教育—その現状と将来 人格とは何か・人格教育の効果的なアプローチとは・人格教育において性教育にどう取り組むか・人格教育における宗教の役割をどう考えるか・人格教育はマスメディアにどう対処するか・教員養成の大学でいかに人格教育の準備をするか・人格教育はどのような効果を生じるか 2 人格を形成する方法 3 人格教育の 11 原理 4 アメリカにおける道德教育の変遷 キャラクター・エデュケーションの課題他

赤坂雅裕 著

子どもに学ぶ道德授業

良心の覚醒・追求を促す

押付けの道德と言われるのはなぜか。なぜ道德の授業がしらけるのか。子どもの興味・関心から授業を構築し、その結果に学ぶ。子どもが自ら原理・原則を掴み取っていくことを支援する授業方法論を提示。

A 5 並製 184 頁 2200 円 (0432-3) [2014]

〈主要目次〉

第1部 道德教育の基礎 第1章 道德教育の本質 第2章 子どもの道德性の発達 第3章 戦後日本の道德教育のあゆみ 第4章 道德の授業理論 第5章 中学生の心に響く道德授業 第6章 道德教育と教師 第2部 道德の授業実践 第1章 価値の内面的自覚を図る道德授業 第2章 良心の覚醒・追求を促す道德授業

田沼茂紀 編

道德科で育む 21 世紀型道德力

道德教育の本質と道德授業を支える教育理論について概観し、これまで以上に実効性のある道德授業実践について具体的に考察。諸外国との比較や今後の課題も含めて丁寧に論じる。育む 21 世紀型道德力。

A5 並製 210 頁 2300 円 (0503-0) [2016]

〈主要目次〉

第1部 道德科の理論編 (第1章「道德科」についての理解を深めよう 第2章 実効性の伴う道德科を目指した背景を理解しよう 第3章 確かな実行性の伴う道德科授業を創る) 第2部 道德教育の理論編 (第4章 道德として道德教育とは何だろう 第5章 道德科を指導するための理論を学ぼう 第6章 道德科の今後とこれからの課題を考えよう)

田沼茂紀 編

豊かな学びを育む教育課程の理論と方法

教育課程の歴史的変遷を俯瞰しつつ、本質、特徴、基本原理まで分かりやすく解説。さらに教育評価を考えつつ、今日の学校教育の課題を捉え、新たな学校教育創造を目指した斬新な教育課程のテキスト。

A5上製 224頁 2200円 (0352-4) [2012]

〈主要目次〉

- 1 人間力の育みと学校の教育課程（教育課程の本質と人間力の育成、学習指導要領と学校教育）
 - 2 教育課程編成の基本理論とその内容（公的枠組みとしての教育課程、教育課程編成と学習指導要領）
 - 3 教育課程の基本理論と編成方法（教育カリキュラムの基本理論、歴史的変遷、教育課程編成の方法とマネジメント）
 - 4 教育評価と新たな学校教育創造（カリキュラム評価とこれからの学校教育）
- 資料篇（教育関係法規・学校種別学習指導要領）

田沼茂紀 著

心の教育と特別活動

特別活動を核とした心の教育の意味、位置付け、特徴、歴史的変遷等を概説し、他活動との関連や指導計画と評価、実践例を紹介する。「生きて働く心の教育」の視座から、心の教育を解説した好テキスト。

A5並製 192頁 2300円 (0371-5) [2013]

〈主要目次〉

- 1 心の教育とは何か
 - 2 心の教育としての特別活動
 - 3 特別活動の基本的性格と歴史的変遷
 - 4 特別活動と他教育活動の関連
 - 5 特別活動の指導計画とその評価
 - 6 特別活動各内容の実践と心の耕し
 - 7 特別活動学校行事の実践と心の耕し
- 資料編（教育関係法規 学校種別学習指導要領）

鶴田一郎 著

児童・生徒支援のための教育相談入門

教職課程の「教育相談」のテキスト。多発する教育問題をめぐって、教師を目指す学生に必要とされる理論と技法を示す。具体的な事例により、陥り易い問題・対応のポイント・相談の醍醐味を理解できる。

A5並製 118頁 1500円 (0039-8) [2006]

〈主要目次〉

- I 理論編 教育相談とは 教育相談の3領域－学業・進路・適応 教育相談のプロセス
- II 技法編 マイクロ・カウンセリング概要 技法の練習
- III 事例編 自殺未遂の専門学校生とのケース 家庭内暴力の男子中学生の母親面接 「引きこもり」の青年期男子クライアントへの訪問相談 アパシー状態にあった専門学生との面接相談―事例の概要 面接経過 考察・アウェアネスと「沈黙」、「イメージ療法」

細井 香 編著

保健の未来をひらく子育て・家庭支援論

子育て環境の現状や、子育て家庭の抱える問題等に言及し、様々な支援の取組みについて実践例を示しながら、具体的な支援の在り方や必要性について触れた「家庭支援論」の授業に対応させた最新入門書。

B5並製 184頁 2400円 (0514-6) [2016]

〈主要目次〉

- 第1章 子育て支援とは、家庭支援とは
- 第2章 子育て支援政策・子育て支援サービス
- 第3章 子育て・家庭支援の活動
- 第4章 子育て支援の実践

梅永雄二・島田博祐 編著

障害児者の教育と生涯発達支援

[第3版]

〈主要目次〉

教育課程の特徴 個別支援とアセスメント 発達障害の原因と医学的介入 視覚障害 聴覚障害
言語障害 運動障害 知的障害 病弱虚弱 重複障害 自閉症スペクトラム障害 LD、AD/
HD 乳幼児期から学齢期 / 学齢期以降 / 高等教育と生涯学習 性に関わる教育 物理的バリア
フリー・コミュニケーション支援の工夫など インクルーシブ教育と障害理解教育について 他

障害児者の主体的学習、社会への積極的参入を援助
できるよう、障害の種類、原因や特色を概観し、具
体的援助を丁寧に解説。障害児者のより良い育ちや
生活へのサポートを木目細やかに考究した充実の書。

A 5 並製 250 頁 2600 円 (0451-4) [2015]

梅永雄二 著

自閉症の人の自立をめざして

ノースカロライナにおける TEACCH プログラムに学ぶ

〈主要目次〉

1 ノースカロライナ州の自閉症サポートとTEACCHプログラム TEACCHにおける自
閉症の捉え方 2 診断・評価 3 就学前支援 4 学校コンサルテーション 小学
校・中学校・高校 5 就労支援 6 居住支援 グループホーム 7 余暇支援 8
研修 9 その他 おわりに：自閉症の人の支援に関するノースカロライナに学ぶ点 診
断 発達障害者手帳 学校教育 就労支援 居住支援 余暇支援 生活支援

自閉症の人たちが地域でできるだけ自立して生活で
きるよう能力を最大限に引き出すことができるよう、
ノースカロライナ州アッシュビルTEACCHセンター
が行っている自閉症者の具体的支援を紹介した。

A 5 並製 116 頁 1500 円 (0119-3) [2007]

松浦俊弥 著

エピソードで学ぶ 知的障害教育

〈特別支援教育の現場がわかる〉

〈主要目次〉

1 特別支援教育・特別支援学校 2 特別支援学校の教育（学習指導要領と教育課程 個別の指
導計画と個別的教育支援計画） 3 知っておきたいあれこれ（保護者対応 特別支援教育コーデ
イネーター 放課後等デイサービス） 4 特別支援学校の教員に求められているもの 5 小中
学校の知的障害教育（特別支援学級の専門性 通常学級にいる知的障害児 就学の問題 「就学指導」
から「教育支援」へ） 6 特別支援学校を取り巻く諸課題（進路 生徒指導と社会問題） 他

教職を学ぶ学生のみならず、現場で働く教員、特別支援
教育コーディネーターや支援員、介助員、障害のある子
をもつ保護者の方が理解できるように、特別支援教育の
日常をわかりやすくエピソード形式で綴った入門書。

A 5 並製 208 頁 2300 円 (0441-5) [2014]

富田久枝・松浦俊弥 編著

ライフステージの発達障害論

インクルーシブ教育と支援の実践

〈主要目次〉

1 発達障害児がいる教育の現場（インクルーシブ教育とは？ 他） 2 就学前の発達障害児
支援（就学前支援の特徴とその重要性 保育所、幼稚園の前段階支援 保育所・幼稚園等での支
援 巡回相談による支援 学齢期へどうつなぐのか） 3 学齢期の発達障害児支援（小学校・
中学校・高等学校・特別支援学校での支援 各機関をつなぐ移行支援） 4 成人期の支援と生
活（高校卒後の進路 高等教育機関での取り組み 就労と社会生活 支援上の課題と方向性）

就学前から学齢期を通じ、各々の段階に応じた発達
障害児の支援方法や教育について現場の実状をひき
つつ解説。インクルーシブの理念に基づいた発達障
害児理解と支援スキルを学ぶための実践的な教科書。

A 5 並製 264 頁 2500 円 (0497-2) [2016]

山下修一 編著

理科の授業研究

研究授業の指導案から授業、検討会まで、ポイントを押さえつつ、筆者らが実際に行った授業研究の事例を取り上げて具体的に解説した。実り多い理科の授業につながる授業研究のための実践的テキスト。

A 5並製 146 頁 1900 円 (0346-3) [2012]

〈主要目次〉

第1部 研究授業に向けて 1 研究授業の前に 2 指導案について 3 観察・実験について 4 苦手分野は他の人の知恵も借りよう! 第2部 研究授業のポイント・見所 1 導入部について 2 展開部について 3 まとめについて 第3部 検討会・成果発表について 1 検討会について 2 成果発表について

永島惇正 編

生涯学習社会のスポーツ指導

全3巻

生涯学習生活の一環としてのスポーツ生活を健全で豊かなものにするためにはどのような事柄が配慮されるべきか。各分野のスポーツ専門科学の立場から広範囲の視野により具体的・平易に解説する。スポーツ指導者および愛好家にとって、絶好の指導書。

永島惇正 編著

第1巻 スポーツ指導の基礎

諸スポーツ科学からの発信

〈主要目次〉

1 21世紀におけるスポーツ指導 2 スポーツ教育学の立場から 3 スポーツ心理学の立場から 4 スポーツ社会学の立場から 5 レジャー論の立場から 6 スポーツマネジメントの立場から 7 スポーツ運動学の立場からー動きの内観をめぐって 8 スポーツバイオメカニックスの立場から 9 スポーツを生理学の立場から 10 スポーツ医学の立場から 運動処方基礎理論・生活習慣病と運動療法

生涯学習生活の一環としてスポーツ生活を健全で豊かなものにするためにはどのような事柄が配慮されるべきか。各分野のスポーツ専門科学の広範囲の視野から、新たな指導法の基本を具体的・平易に解説した好著。

四六並製 244 頁 2300 円 (748-1) [2000]

永島惇正 編著

第2巻 生涯学習生活とスポーツ指導

〈主要目次〉

1 生涯学習生活とスポーツ 行政とスポーツ生涯スポーツの関係について他 2 児童期のスポーツとその指導ー発達を配慮して 3 青少年のスポーツとその指導ー全人的形成に配慮して 4 中高年のスポーツとその指導ー健康・体力づくりを配慮して 5 高齢者のスポーツとその指導ー生きがいづくりを配慮して 福祉の理解とスポーツ指導・こころの老化といきがいづくり 6 障害者のスポーツとその指導ースポーツの享受を配慮して

生涯学習生活の一環としてのスポーツ指導法を児童期、青少年、中高年、高齢者、障害者等各分野に区分し、発達、形成、健康、体力づくり、生きがいなどの各時期における留意点を配慮しつつ具体的・簡潔に解説。

四六並製 150 頁 1500 円 (751-1) [2000]

永島惇正 著

第3巻 地域スポーツの指導

生涯スポーツの中心を担う地域スポーツの抱える問題・課題に対して、スポーツについての考え方や指導の仕方を実践的・学理的な視点から捉え直す試み。文化としてのスポーツの重要性・独立性を提示。

四六並製 160 頁 1700 円 (777-5) [2000]

〈主要目次〉

- 1 部 地域に生かすスポーツ指導のあり方 1 スポーツ指導の基礎 スポーツ指導の目標・現代社会におけるスポーツの意味他 2 スポーツと学習 3 スポーツ指導の原則 4 スポーツの現実とスポーツ指導 2 部 これからのスポーツとスポーツ指導 1 少年スポーツのあり方を問う：ドイツの子どもとスポーツクラブ 2 文化としてのスポーツ 3 これからのスポーツとスポーツ指導

岩本俊郎・志村欣一・田沼 朗・浪本勝年 編

史料 道徳教育の研究 [新版]

基本的人権の尊重を軸にすて明治以降の道徳教育の理念・歴史・問題点などを明らかにし、非行・生活指導など現代の学校現場をめぐる問題をもとり入れ、基本的重要資料を体系的に収録した資料集。

A 5 並製 294 頁 2400 円 (330-3) [1994]

〈主要目次〉

- 1 道徳教育の基本理念 2 戦前日本の道徳教育 3 戦後日本の道徳教育 4 学習指導要領と道徳教育 現行学習指導要領における道徳教育・学習指導要領の変遷と道徳教育－戦後教育改革当初の学習指導要領－道徳特設時の告示学習指導要領－告示学習指導要領の変遷－学校における日の丸・君が代問題 5 現代の子ども・青年と道徳教育の課題 調査に見る現代の子ども・青年・子どもの人権をめぐる問題 登校拒否・不登校他

千田 忠 著

地域創造と生涯学習計画化

住民の主体形成と地域社会の創造・発展を目指す地域生涯学習の計画化の具体的事例を対象に、社会教育実践的視点からその展開構造を明らかにし、住民による地域生涯学習の計画化の可能性と条件を明示する。

四六上製 196 頁 2200 円 (809-7) [2001]

叢書 地域をつくる学びⅢ

〈主要目次〉

- 地域生涯学習計画論研究の視座 1 地域創造をめざす社会教育計画 地域社会の構造と地域社会教育実践他 2 置戸型社会教育と地域社会発展教育 社会教育の展開と地域構造の特質・図書館づくりと地域課題他 3 過疎の進展と生産教育への道 過疎問題の構造と地域社会教育実践・過疎に立ち向かう生産教育の提起 4 生産教育の展開過程 公論の場と地域課題の学習他 5 地域社会発展と教育の計画化・地域社会発展教育の可能性他

鈴木敏正・玉井康之・川前あゆみ 編著

住民自治へのコミュニティネットワーク

住民のコミュニケーション作りが学びに繋がるプロセスを丁寧な現地調査を基に解明し、結果として住民の自治力を高め、地域再生を成功させた北海道標茶町の取組みを紹介する。生涯学習の実践的研究。

四六上製 288 頁 2600 円 (0219-0) [2010]

酪農と自然公園のまち標茶町の地域再生学習
叢書 地域をつくる学び X V

〈主要目次〉

- 標茶町コミュニティネットワーク型まちづくりの特徴 まちづくり・生涯学習推進体制と地域自治組織 農村型子育て支援のネットワーク 健康と環境保全のネットワーク形成 社会的協同から起業型協同活動へ 地産地消の取り組みと地域づくり 農業・農村の新しい価値の創造 地域連携のコミュニティネットワークの展開へ 他

鈴木敏正 著

持続可能で包摂的な社会のために

3・11 後社会の「地域をつくる学び」
叢書地域をつくる学び XVI

〈主要目次〉

序 「協同的教育」から「ともに育ち合う地域づくり」へ 1 子育て運動の新段階と教育再生＝地域再生 2 地域再生教育から地域づくり教育へ 3 韓国農村教育共同体運動と「地域をつくる学び」 4 北海道型環境教育の展開と「持続可能な地域づくり教育」 5 近代教育批判から現代環境教育へ 6 「持続可能で包摂的な地域づくり教育（ESIC）の提起：グローバリゼーション時代における環境教育と開発教育の統一 終 3.11 後の「社会教育としての生涯学習」

主に北海道と韓国の地域づくり教育、国際的環境教育・開発教育の実践を通し、「地域再生」と「教育再生」とを結び付けていくことにより、震災後の復興のあり方、持続可能で包摂的な地域づくりへのヒントを提起。

四六上製 250 頁 2600 円 (0317-3) [2012]

鈴木敏正 著

生涯学習の教育学 [増補改訂版]

学習ネットワークから地域生涯教育計画へ

〈主要目次〉

序 学習ネットワークから地域生涯教育計画化へ I. 生涯学習の教育学：5つの視点 II. 生涯学習の歴史的・国際的理解 III. 生涯学習時代における教育基本形態 IV. 現代人の社会的形成 V. 参画型社会における生涯学習推進体制 VI. 地域社会教育実践の展開 終章 地域生涯教育計画化の方へ

教育のあり方の根本的見直しが問われている今日、学習ネットワークから始まる生涯学習の論理と実際を検討することを通して社会教育としての生涯学習の教育学を具体的事例を多く取り上げつつ展開した好著。

A 5 上製 264 頁 2900 円 (0397-5) [2014]

鈴木敏正 著

教育の公共化と社会的協同

排除か学び合いか

〈主要目次〉

序章 問われる「教育の公共性」 I 章 現代生涯学習公共性—4つの実践から考える— II 章 現代的人権と社会的教育の価値 補章 若者問題への教育的アプローチ III 章 改革時代における教育の公共性 新革的教育改革論をめぐる他 IV 章 社会的企業と社会的協同のハイブリット化—脱官僚化・脱商品化へ— V 章 現代民主主義と地域生涯学習公共圏の形成 生涯学習政策の二面性と学習権他 終章 「新しい教育学」のために

社会的協同と公的教育を媒介する位置にある学習・教育活動の考察に重点をおき、現代社会全体の中で公共性問題を捉えつつ、改めて「教育の公共性」を検討し、生涯学習と教育の合体の「公共化」する枠組を提起する。

A 5 上製 196 頁 2500 円 (0072-X) [2006]

前田寿紀 著

未来志向の生涯学習

〈主要目次〉

通俗教育、社会教育、生涯教育・学習 生涯教育・学習論の登場 わが国の行政上の対応 P. ラングランの生涯教育・学習論 ハッチンスの「学習社会」論 OECD の「リカレント」教育論と他の生涯教育・学習論との違い 『生涯学習振興法』『生涯学習推進構想』『生涯学習推進計画』 生涯学習審議会答申・中央教育審議会答申 生涯教育・学習の歴史 生涯各期の特性と学習支援 社会教育機関・施設等とそこで生涯学習を支える人々 他

生涯学習の実践へ向けて、理論、理念を概説しつつ、行政上、そして個人としていかに実践へ移していくべきかを考究。理解を深化させ興味を惹起する資料や学習を深めるため章末に課題が織り込まれている。

A 5 並製 234 頁 2500 円 (0173-5) [2009]

社会・文化

宮川典之 著

社会科学の発想

リベラルアーツの復権をもとめて

〈主要目次〉

社会科学とはなにか 市場経済と政治経済学 格差問題を考える 「不況」問題を考える 「人間開発」という考え方について 歴史を動かすものはなにか—マルクスの視点と従属学派・ヴェーバーによる社会の見方 アダム・スミスの人間認識と社会認識—リカードとの対比で捉える 新自由主義の発想 文芸作品に見る社会科学の要素 新興国の興隆をどう捉えるか 全地球の問題—人口問題と環境問題 一次産品に見る社会学的捉え方

国際経済学専門の著者による社会科学概論。大学教育の最初に社会科学の視座を獲得するための新たな試みとして、社会の大きな流れと具体的な経験より読者を啓発させる方向に誘導することを目的とする。

A 5 並製 168 頁 1900 円 (0239-8) [2010]

南田勝也・矢田部圭介・山下玲子著

ゼミで学ぶスタディスキル

[改訂版]

〈主要目次〉

1 大学に入ったら 2 ノートのとり方 3 要約の仕方 4 図書館を利用しよう 5 本のレビューとレコメンド 6 レポート作成1：問題設定 7 レポート作成2：アウトラインの作成 8 レポート作成3：先行研究の調査 9 レポート作成4：二次資料を利用した調査編 10 レポート作成4：実査編 11 レポート作成4：ワークショップ調査編 12 レポート作成5：引用・参考文献の作成 13 レポート課題提出と反省点の振り返り 14 レジュメの作成 15 自説発表と議論

大学での学ぶ技法がぎゅっと詰まった入門書。情報やテーマ収集のアンテナの張り方から、講義の受け方のコツ、ゼミ活動のツボ、文献集めの技、レポート作成、発表のスキルまで、至れり尽くせりの好著。

A 5 上製 166 頁 1900 円 (0355-5) [2013]

[第3版近刊]

大多和直樹・山村 豊 編著

研究小僧の思考法とツール (仮題)

[近 刊]

研究を通じた社会参加のために

木村玲欧 著

グループワークとワークショップ の能力開発 (仮題)

[近 刊]

大多和直樹 著

放課後の社会学

メディア・街・学校

〈主要目次〉

I 消費・余暇編—カラダの感覚は社会の中でつくられる!?(社会的装置としてのデパート ディズニーランドと私たちの現実世界 鉄道旅行の考古学 マルチメディアとしてのケータイ J-Pop というジャンル) II 生産・労働編—私たちは社会のなかでどう管理されるのか?(パノプティコンとは何か:監獄と私たちの社会の深い関係 学校とパノプティコン 環境管理型権力と新しい監視社会 学校から職業へのつながり 制服の流行はなぜ変化したのか 感情の管理をめぐる)

渋谷、ディズニーランド、鉄道、ケータイ、音楽、学校、労働等、身近なテーマを切り口に、それらの事象を社会学的視点から捉え直す。初学者読者の視点の転換を図り、学びの楽しさを伝える好入門書。

A 5並製 162頁 1900円 (0427-9) [2014]

宇都宮京子・小川祐喜子 編著

社会がみえる社会学

時代と共に生きる社会学理論

〈主要目次〉

1 行為論から社会を理解する:社会学における行為論の系譜 2 相互行為論の社会学:日常生活の自己・他者・相互作用を問う 3 知識社会学の課題:知のあり方と社会の関係を問う 4 機能主義とは何か:社会をシステムとしてとらえる 5 社会を「関係」でとらえる:構造主義が可能にする地平

ヴェーバー、シュッツからデュルケム、ルーマン、ソシュール、ブルデュー等、社会学の主な理論を初学者にもわかりやすいよう、なるべく身近な具体例や現象に引き寄せつつ、解説を行った好テキスト。

A 5判並製 204頁 2100円 (0471-2) [2015]

小松楠緒子 編著

薬剤師と社会

変わりゆく職能

〈主要目次〉

1 総合人文社会科学の概要・目的 2 新薬の製造販売後(育薬)における薬剤師の役割 3 セルフメディケーションにおける薬剤師の役割 4 在宅療養での薬剤師の役割 5 地域医療における薬剤師の役割 6 病院における薬剤師の役割 7 今後の社会保障制度 8 今後の病院経営における薬剤師の役割 9 我が国における薬剤師職能改革の展望 体験記1:サリドマイドを生きる 体験記2:がんの夫を看取って

薬学部の6年制に伴い薬剤師に求められているのは何か。育薬、在宅医療、地域医療、病院、医療保険、セルフメディケーション等、社会の中での役割の変化を把握・自覚する力を育む医療人間学のテキスト。

B 5並製 120頁 1900円 (0306-7) [2011]

小松楠緒子 編著

薬学生のための医療社会学

具体事例を交えながら、告知、出生前診断、不妊治療、臓器移植、終末期医療等、医療現場での様々な問題と課題を紹介し、薬剤師の役割とその可能性を示した。医療者として、深く考える力を養う好テキスト。

B 5 並製 120 頁 1900 円 (0318-0) [2012]

〈主要目次〉

- 1 告知—知るメリット、知らないデメリット
- 2 インフォームド・コンセント—納得に至る過程
- 3 患者の権利—勝ちとってきた歴史
- 4 出生前診断—運命の選択
- 5 不妊治療—つくれる命
- 6 臓器移植—提供をはばむ壁
- 7 終末期医療—希望の探求
- 8 統合医療—第三の道
- 臨床における薬物治療
- 論文：1 新しい医師 2 Deep-Value-Pairing モデルの形成とその論争点 3 インターネットによる患者のエンパワメント

小松楠緒子・川北晃司 編著

くすりと社会

医師・薬剤師・研究者・医療事故被害者・被害被害者等くすりをめぐる専門家や当事者が展開する社会の現状を理解し、6 年制教育がめざす薬剤師に求められる新しい役割を考える。薬学部必読のテキスト。

B 5 並製 118 頁 1900 円 (0436-1) [2014]

〈主要目次〉

- 1 病院経営における薬剤師の役割
- 2 病院における薬剤師の役割
- 3 地域医療における薬剤師の役割—薬剤師の立場から
- 4 地域医療における薬剤師の役割—医師の立場から
- 5 医療事故を減らすために患者家族として、医療従事者として取り組んだこと
- 6 サリドマイド患者として生きて
- 7 妊婦とくすり
- 9 ワクチンと社会
- 予防接種は誰を守るために？
- 9 「予防＋治療型」診療による改革
- 11 統合医療の現状と今後の展望と予測
- 12 日本における社会保障の現状と課題
- 13 研究発表倫理入門
- 14 総合人文社会科学の現状と課題

田中大介 編著

ネットワークシティ

現代インフラの社会学

2010 年代以降の「文化としての都市」から「モノとしての都市」という地平を開き、現代都市のリアリティを明らかにする。「インフラ」という対象や視角を通して現代日本の都市世界を社会的に考える書。

A5 並製 [近 刊]

〈主要目次〉

- I イントロダクション（ネットワークシティとは？ ネットワークシティへのアクセススキル）
- II 交通インフラ（道路・交差点 鉄道・駅舎 自動車・ロードサイド）
- III 空間インフラ（高層ビル・昇降機 河川・橋）
- IV 生活インフラ（水道・飲料 エアコン トイレ・ゴミ 病院）
- V 電気インフラ（電柱・電線 ケータイカメラ・監視カメラ モバイルメディア エネルギー）

千田有紀・菊地英明 編著

グローバリゼーションと変わりゆく社会

〈叢書 現代の社会学とメディア研究 第 1 巻〉

グローバリゼーションとはいかなる社会現象であるのか、最新知見や具体事象を盛り込みつつ、基本的な考え方、理論を紹介。また、グローバリゼーションが各システムにもたらした変動を詳らかにする。

A 5 並製 [近 刊]

〈主要目次〉

- 1 グローバリゼーションとは何か
- 2 拡大する不平等と日本社会の変貌
- 3 移民と国際移動
- 4 グローバリゼーションと教育
- 5 グローバリゼーションとミレニウム都市
- 6 グローバリゼーションと福祉・社会保障
- 7 近代家族とその揺らぎ
- 8 変化する国内外の政治
- 9 まとめ

大屋幸恵・内藤暁子・石森大知 編著

文化とコミュニケーション

〈叢書 現代の社会学とメディア研究 第2巻〉

文化とコミュニケーションの基礎知識を概説の上、社会学や人類学の視座から、音楽、ファッションやスポーツ、観光といった消費文化の具体事例を基に文化的行為、コミュニケーションの諸相を読み解く。

A5並製 132頁 1800円 (0504-7) [2016]

〈主要目次〉

- 1 コミュニケーションは文化を「かたる」
- 2 異質な他者とのつきあい方——異文化コミュニケーションから考える共生社会
- 3 グローバル時代における日本人の対人コミュニケーション
- 4 ジェンダー——隣のあなたと私の関係
- 5 日常生活のなかの宗教——超自然的存在とのコミュニケーション
- 6 映画作品から現代のポピュラー音楽を考える
- 7 観光イメージをめぐるホストとゲスト
- 8 近代スポーツとそのさしめ

矢田部圭介・山下玲子 編著

アイデンティティと社会意識

私のなかの社会／社会のなかの私

〈叢書 現代の社会学とメディア研究 第3巻〉

基本知識を概説し、最新知見を盛り込みながら、〈わたし／わたしたち〉を〈わたし（たち）をとるまわりのもの〉とのかかわりで考える。〈わたし〉への社会学的基本アプローチを取りつつ、様々な現象を取り上げる。

A5並製 158頁 1900円 (0313-5) [2012]

〈主要目次〉

- 1 私としての私—本当の自分の扱い方
- 2 「女」／「男」と私
- 3 相互行為のなかの私—「私」が自己に出会う時
- 4 恋愛関係のなかの私
- 5 集団のなかの私たち
- 6 戦後日本の社会変動と社会意識の変化
- 7 歴史のなかの私たち
- 8 ネット空間のなかの私たち
- 9 犯罪のなかの私

小田原敏・アンジェロ・イシ 編著

マスコミュニケーションの新時代

〈叢書 現代の社会学とメディア研究 第4巻〉

これまでのマスメディアの問題を分析しつつ、現在コンテンツ文化が我々にもたらしているもの、メディアテクノロジーの変化から見えるものを考察。更にこれからのマスコミュニケーションの展望を示す。

A5並製 152頁 1900円 (0422-4) [2014]

〈主要目次〉

- 序章 マスコミュニケーションの新しい時代
- 1 章 マスコミュニケーションを担う人々
 - 2 章 マスコミとどう向きあうか
 - 3 章 テレビジャーナリズムの昨日と今日
 - 4 章 インターネットとジャーナリズム
 - 5 章 音楽聴取の個人化
 - 6 章 デジタルメディア社会における広告の展開
 - 7 章 テクノロジーとメディア
 - 8 章 ブラジルから考えるメディアの「グローバルとローカル」

粉川一郎・江上節子 編著

パブリックコミュニケーションの世界

〈叢書 現代の社会学とメディア研究 第5巻〉

[改訂版]

〈主要目次〉

- 1 パブリックコミュニケーションを知る
- 2 広報とは何か
- 3 市民メディアの誕生と発展
- 4 メディアとしての電子コミュニケーション
- 5 企業広報、行政広報の実際
- 6 地域メディアは地域を変えるか？
- 7 少子高齢化社会のパブリックコミュニケーション
- 8 民主主義とインターネット
- 9 ネットコミュニケーションが作り出す新しい社会関係資本

パブリックコミュニケーションの持つ意義と基本的な考え方を整理しつつ、具体的な実践例やそれをもたらしたインパクトについても概観することで、現代社会が切り開こうとしている社会のあり方を提示。

A5並製 146頁 1800円 (0499-6) [2016]

中橋 雄・松本恭幸 編著

メディアプロデュースの世界

〈叢書 現代の社会学とメディア研究 第6巻〉

メディアプロデュースを取り巻く学術的な基礎となる枠組みを提示するとともに、第一線でメディアプロデュースに携わる執筆陣により実践世界を提示する。メディアを内側、外側から鋭く見つめた好著。

A 5並製 144頁 1900円 (0359-3) [2013]

〈主要目次〉

- 1 メディアプロデュースのためのメディアリテラシー
- 2 映像とメディア表現
- 3 デジタル社会のメディアプロデュース
- 4 広告とメディアプロデュース
- 5 ネットコミュニティのプロデュース
- 6 ドキュメンタリーの現場
- 7 CMをつくる
- 8 音楽をつくる仕事
- 9 出版物をつくる
- 10 ルポルタージュの力
- 11 アニメーションをつくる

竹内郁郎・児島和人・橋元良明 編著

新版 メディア・コミュニケーション論 I

メディア・コミュニケーションの歴史的展開を概説し、国家、産業、社会と各分野との関連を平易に説述して理論的展開を明確に示す。急速に変貌するメディア・コミュニケーションと文化および社会を捉える。

A 5並製 224頁 2400円 (990-8) [2005]

〈主要目次〉

- メディア・コミュニケーション論の生成 I メディア・コミュニケーションの歴史的展開
メディアとしての身体からグーテンベルクへ マス・コミュニケーションの成立と発展・変容
放送メディアの生成と展開他 II 現代社会におけるメディア・コミュニケーション
国歌・メディア・制度 ネットワーク社会における階層構造の変容他
III メディア・コミュニケーションをめぐる理論的展開 マスメディアの利用と効果他

竹内郁郎・児島和人・橋元良明 編著

新版 メディア・コミュニケーション論 II

メディア・コミュニケーションとは何か? I巻の歴史的展開や理論的展開に続き、本書II巻では政治、広告、教育、ジェンダー、社会的危機、グローバリゼーション、人間関係、エスノグラフィーという8テーマから論考した。

A 5並製 160頁 1800円 (999-9) [2005]

〈主要目次〉

- IV テーマ・スタディ 政治とメディア 広告のコミュニケーション機能とメディア 教育とメディア ジェンダーとメディア 社会的危機とメディア グローバリゼーションとメディア パーソナル・メディアの普及とコミュニケーション行動
オーディエンス・エスノグラフィー

田崎篤郎・児島和人 編著

マス・コミュニケーション効果研究の展開

〔改訂新版〕

高度情報社会と呼ばれる現代のマス・コミュニケーションの研究領域の中で最も注目される、その影響と効果に関し、各時代の社会的背景下にどのように問題とされ、展開してきたかに焦点を絞りまとめる。

A 5上製 172頁 1800円 (897-6) [2003]

〈主要目次〉

- 1 マス・コミュニケーション効果研究小史 効果研究の推移・効果モデルと受け手イメージの変遷
- 2 初期の代表的研究 利用と満足の研究・説得的コミュニケーション研究他
- 3 初期効果研究に対する批判と展開 コミュニケーションの流れ研究に対する批判と展開他
- 4 新効果論 沈黙の螺旋状過程仮説・情報処理アプローチ・培養分析他
- 5 効果研究の今後の課題 多様な効果論の底流と新たな展開・効果論の今後の課題他

土橋臣吾・南田勝也・辻 泉 編著

デジタルメディアの社会学

問題を発見し、可能性を探る [改訂版]

〈主要目次〉

環境化するデジタルメディア ウェブは本当に情報の大海か ネットは自由な空間か管理された箱庭か ケータイは友人関係を広げたか ゲームでどこまで恋愛できるか 動画共有サイトでは何が共有されないか iPod はコンテンツ消費に何をもたらしたか オンラインで連帯する「つながり」で社会を動かす ケータイで都市に関わる リアルタイムにウェブを生きる デジタルメディアで創作する デジタルコンテンツとフリー経済を考える メディア・リテラシーの新展開

デジタルメディア環境を生きることに徹底的に意識的になり、具体事例に緻密な分析を加えることにより問題を浮き彫りにした。更にデジタルメディアに意識的に関わる事により広がる様々な可能性を示唆。

A 5 並製 228 頁 2100 円 (0366-1) [2013]

飯田 豊 編著

メディア技術史

デジタル社会の系譜と行方

〈主要目次〉

1 章 技術としての書物 2 章 写真はどこにあるのか 3 章 映画の歴史を巻き戻す 4 章 音楽にとっての音響技術 5 章 声を伝える / 技術を楽しむ 6 章 テレビジョンの初期衝動 7 章 ローカルメディアの技術変容 8 章 文化としてのコンピュータ 9 章 開かれたネットワークインターネットをつくったのは誰か 10 章 手のひらの情報革命 11 章 誰のための技術史?

活版印刷、写真、映画、音楽、電話、ラジオ、TV、ミニFM からケータイやコンピュータ……メディアの萌芽から最先端まで、技術の歴史を紐解くことにより、人間の文化を捉え、現在と未来を見据える。

A 5 並製 168 頁 1900 円 (0393-7) [2013]

[改訂版近刊]

中橋 雄 著

メディア・リテラシー論

ソーシャルメディア時代のメディア教育

〈主要目次〉

1 現代社会におけるメディアと人間の関わり 2 メディア・リテラシーとは何か 3 メディアの何を学ぶのか 4 多様な能力からなるメディア・リテラシー 5 イギリス・カナダ・日本におけるメディア教育 6 日本におけるメディア・リテラシーの研究 7 子どもを取り巻くメディア環境 8 メディア・リテラシーと情報活用能力 9 学力とメディア・リテラシー 10 メディア教育用教材の開発 11 先駆的モデル、フィンランドのメディア教育

現代社会において、欠かすことのできないメディア・リテラシーについて具体的な事象や教育実践事例を交えながら理論的な解説を行う。更にメディア・リテラシー教育の新しい実践や教材開発も紹介する。

A 5 上製 174 頁 2200 円 (0411-8) [2014]

中橋 雄 編著

メディア・リテラシー教育

ソーシャルメディア時代の実践と学び

従来のメディア・リテラシー研究の蓄積を活かしながら、時代の変化に対応したメディア・リテラシーの在り方を考える。さらに事例をもとに、その特性を生かして教育を実現するための教材や実践を探究。

A5 上製 [近 刊]

羽瀧一代・内藤直樹・岩佐光広 編著

メディアのフィールドワーク

アフリカとケータイの未来

〈主要目次〉

アフリカのケータイをフィールドワークする 現代社会をケニアで考えるということ 道路をバイパスしていく電波 農村の若者集団とケータイ ザンビア農村における女性のくらしとケータイ ナミビア農村部におけるケータイの普及と経済活動の空間的拡大 森に入ったケータイ 呪術化するケータイ 紛争と平和をもたらすケータイ カネとケータイが結ぶつながり ケータイが切りひらく狩猟採集社会のあらたな展開 グローバル社会のメディア研究

フィールドワークの実践を通し、ケータイの普及がもたらしたアフリカ社会における、伝統と変化、ゆらぎの諸相を読み解く。アフリカ文化・社会、そして世界とのつながりと課題を浮き彫りにした好著。

A 5 並製 212 頁 2200 円 (0348-7) [2012]

駒谷眞美 著

メディア情報リテラシー入門

高度情報社会を生き抜くチカラ

〈主要目次〉

1 稠密化・重層化・複合化する間メディア社会 2 消費を享受する社会 3 疎外される社会 4 現実と仮想を彷徨う社会：ステレオタイプ 5 メディアに依存する社会：ネット（ゲーム・スマホ）依存症 6 つなかりを模索する社会 7 現代社会に求められるメディア情報リテラシー

現代社会の高度情報化の様相を概観し、MIL に関する基本的理解と新たな視点の獲得をめざす。生活に密着したメディアが引き起こす社会現象について注目すべき issue を取り上げ、その深層を読み解く。

A5 並製 [近 刊]

田崎篤郎・船津 衛 編著

社会情報論の展開

〈主要目次〉

1 情報社会論の展開 欧米の情報社会論・日本の情報社会論 2 情報化の展開 産業の情報化・地域の情報化・マス・メディアの情報化・広告とマーケティングの情報化 3 情報行動論の展開 コミュニケーションと情報行動・情報化と情報行動 4 社会情報論の展開－マス・コミュニケーション論の変容－社会情報論の展開他 コミュニケーション論から社会情報論へ・情報社会論から社会情報論へ－社会情報研究の成立の背景他

情報化の進展にともなうメディア環境の変貌と個人・システムへの影響を、従来の情報社会論より幅広い視野から包括的に捉える社会情報論の最新研究。社会や生活の諸側面における情報化の展望を探った。

A 5 上製 158 頁 1900 円 (601-9) [1997]

吉井博明 著

情報のエコロジー [新版]

情報社会のダイナミズム

〈主要目次〉

1 情報、情報化、情報化社会 情報化社会論の系譜と論争点他 2 生活の情報化－情報通信メディアの生活への浸透 テレビと生活・インターネットと生活他 3 産業の情報化と職場の情報化 組織コミュニケーションとメディアの使い分け他 4 情報通信産業 コンピュータ製造業・通信サービス産業 他 5 情報化と社会 情報化の国土利用への影響・電子メディア発達の社会的影響他 6 情報化社会のアキレス腱 情報化と雇用他

好評の前著『情報化と現代社会』をその後のメディアの激変を考慮し、最新情報に基づき全面的に書き改める。利用者創造接近という観点から、メディアの普及と社会的影響に焦点をあて分析を加えた新著。

A 5 上製 280 頁 2900 円 (867-4) [2002]

吉井博明 編著

メディアエコロジーと社会

明治以降のメディアクライマックスの変化を踏まえ、昨今形成されつつあるクライマックスが社会にもたらす影響を、生活・企業・産業・地域や社会との関係から考究。現代メディア社会を浮き彫りにする。

A 5 並製 244 頁 2200 円 (0098-1) [2007]

〈主要目次〉

- 1 生活の中のテレビ系メディア
- 2 パーソナル系メディアとのつきあい
- 3 ウェブ (Web) の利用と満足
- 4 変容する消費行動とメディアインターネットショッピングの広がり
- 5 産業の情報化とソフトウェア産業
- 6 企業と社会をつなぐメディアコーポレート・コミュニケーション
- 7 多メディア時代の世論形成
- 8 地域メディアと地域コミュニケーション
- 9 メディアエコロジー社会の影

シリーズ

情報環境と社会心理

船津 衛・廣井 脩・橋元良明 監修

昨今の情報環境の変化は、日進月歩ならぬ「秒進分歩」の感があり、研究活動においても続々と新たな成果、知見が公表されている。本シリーズは、ハード/社会システム面、文化論、メディア論の観点からみた変化はもとより、とりわけ生活者の立場に目線をおいた社会心理的分析の検討に焦点を合わせ、21 世紀初めの現時点での市民生活・意識の全体像と課題のすべてを的確に把握させることを意図とする。

(第1巻 情報行動と社会心理 第3巻 子ども・青少年とコミュニケーション 第6巻 情報通新と社会心理 品切中)

船津 衛 編著

地域情報と社会心理

〈シリーズ 情報環境と社会心理 2〉

地域社会の停滞を打破し、活性化するためにも注目されている地域情報化、地域情報の特質、地域メディア、情報コミュニティ等の問題と正面から取り組み、その解明を通じて新しい可能性を具体的に示す。

A 5 上製 152 頁 1900 円 (692-2) [1999]

〈主要目次〉

- 1 地域情報の社会心理 地域社会と地域情報化・情報コミュニティの社会心理他
- 2 地域情報化の過程 地域情報化の要請とその対応・類型・実態
- 3 地域メディアの最近の動向・今後の課題他
- 4 地域情報の特質 阪神・淡路大震災にみる地域情報他
- 5 地域情報化の現代的位相 地域情報化の変貌・情報化と地域の独自性他
- 6 情報コミュニティの可能性 いまなぜコミュニティなのか・情報コミュニティが投げかける「問い」他

橋元良明 編著

映像メディアの展開と社会心理

〈シリーズ 情報環境と社会心理 4〉

デジタル化、双方向化、高精細度化というテレビ産業の動き、インターネットの効用、テレビ電話の可能性等の映像メディア環境の変化の社会的意味と日常生活への影響を社会心理学的アプローチから捉えた最新書。

A 5 上製 136 頁 1700 円 (726-0) [1999]

〈主要目次〉

- 1 映像時代の社会展開 メディア普及とリテラシー
- 2 デジタル映像のインパクト デジタル映像の応用・展望
- 3 インターネット時代のリアリティ構成 閉じられた世界から開かれた世界へ他
- 4 映像メディアに関する効果研究の新展開 テレビの登場とそのインパクト・テレビの認知的影響他
- 5 映像メディアシステムと対話システム 対話システムとしての映像メディアは嫌われている他
- 6 テレビ視聴実態の日中比較他

橋元良明・船津 衛 編

情報化と社会生活

〈シリーズ 情報環境と社会心理 5〉

高度情報社会といえる現下において新しいメディアと広告の現状と動向、ニュースメディアの変貌、家庭ライフスタイルの変容、流行に及ぼす影響等を具体的資料に基づき平易に論究し、今後の展望を示す。

A 5 上製 134 頁 1700 円 (730-9) [2000]

〈主要目次〉

- 1 新しいメディアと広告 新しいメディアとその広告をめぐる先行研究・現状・動向
- 2 高度情報社会におけるニュース・メディア 電子新聞の利用動向・電子新聞の社会的影響・新聞メディアの将来他
- 3 情報化とジェンダー 情報格差の意味・ジェンダー差の原因他
- 4 情報化と家族ライフスタイルの変容 現代日本におけるライフスタイルの変化と生活情報化の歴史他
- 5 情報化と流行 流行理論・モード革命・メディアと流行他

廣井 脩 編著

災害情報と社会心理

〈シリーズ 情報環境と社会心理 7〉

顕在化してきた多岐にわたる自然災害の諸問題を災害情報という急速に発展し、多様化した新しい分野から種々の実証的、最新データを駆使し多角的に論究。現時点における課題と問題点を具体的に解明する。

A 5 上製 178 頁 2300 円 (954-9) [2004]

〈主要目次〉

- 1 章 災害情報の現在一阪神・淡路大震災以降の変化 災害情報システムの変化他
- 2 章 災害情報と流言 災害流言の基本的特性他
- 3 章 災害情報とパニック パニックの研究事例・発生条件他
- 4 章 安否情報と情報化の進展 ブロードバンド時代の安否情報他
- 5 章 災害とマス・メディア 災害情報の実情と課題他
- 6 章 災害予警報と避難行動 気象情報と火山・津波警報他
- 7 章 災害弱者と情報 災害弱者が発生する背景他

船津 衛 編著

コミュニケーションと社会心理

〈シリーズ 情報環境と社会心理 8〉

現代人の自我の様相と言語・外見・感情のコミュニケーションの変化・変容などを多角的・総合的に検討し、今後のCATV、コミュニティFM放送等の各役割を明確に究明して近未来の展望を提示する。

A 5 上製 204 頁 2400 円 (00444) [2006]

〈主要目次〉

- 序章 コミュニケーションの社会心理
- 1 章 人間のコミュニケーション シンボリックな相互作用他
 - 2 章 自我とコミュニケーション 現代人の自我の様相他
 - 3 章 自己表現のコミュニケーション 感情表現のコミュニケーション他
 - 4 章 自己「発信」のコミュニケーション 電話・携帯コミュニケーション 電子コミュニケーション
 - 5 章 コミュニティ・メディア・コミュニケーション コミュニティ・メディアと災害情報他

阿部 潔 著

日常のなかのコミュニケーション

現代を生きる「わたし」のゆくえ

〈主要目次〉

- 1 コミュニケーションの仕組み コミュニケーションとは何か?・言語・身体 of コミュニケーション・精神・機械のコミュニケーション他
- 2 コミュニケーションの現在 自己完結するコミュニケーション・手段としてのコミュニケーション・メディアに依存するコミュニケーション他
- 3 コミュニケーションの不思議 わたしをめぐるコミュニケーション・恋愛をめぐるコミュニケーション・公私をめぐるコミュニケーション他

理論的・抽象的に終始することのないように日常のありふれた具体的事例を中心に三分野から平易に解説。コミュニケーション論のテキストとして学ぶ人と教える人がともに使える教科書を意図とする。

A 5 上製 202 頁 2400 円 (742-2) [2000]

宮崎公立大学コミュニケーション学会 編

コミュニケーション用語事典

メディアの急速な発展と多様化の中で、一般市民にも高まるコミュニケーションへの関心に対し、解説編・用語編の重層的構造で高度情報化社会に求められる理論と実際の基礎知識を簡潔にまとめ上げる。

四六並製 200 頁 2100 円 (838-0) [2001]

〈主要目次〉

解説編 コミュニケーション 自己呈示・親密な人間関係・文化・認知・異文化間訓練他
メディア 新聞の歴史と発展・社会情報化他 マスコミュニケーション 変容するニュース・政治とパフォーマンス・限定効果論・沈黙の螺旋他 マスコミ法 言論の自由の歴史・犯罪報道の犯罪・プライバシーの権利他 出版文化 明治・大正・昭和の出版文化・出版物の構成要素と装丁・装本他 広告 マーケティングと広告・広告の将来 用語編

田畑暁生 著

映像と社会

表現・地域・監視

映像社会と言われる現代社会の実像、映像の性質、機能などを平易に概説し、ついで写真、映画、テレビ、ヴァーチャル・リアリティに関し社会的観点からまとめ上げ、映像による地域振興、映像監視行動にまで及ぶ。

A 5 上製 140 頁 1900 円 (918-2) [2003]

〈主要目次〉

1 映像と社会 映像社会—グローバル化と映像・恐怖の映像・映像と情報・活字離れと映像文化他・「映像」と「社会」・「社会」概念再考 2 各映像メディアの特質 写真・映画・テレビ・究極の映像メディア ヴァーチャル・リアリティ 3 映像による地域振興 地域情報化政策と映像 ハイビジョンと地域情報化政策・フィルムコミッション・SKIP シティ 4 監視と映像 監視社会論の系譜 コンピュータによる新たな監視 監視社会を超えて他

田畑暁生 著

情報社会論の展開

欧米・日本での情報社会論の歴史的展開を説述すると同時に、現代社会論の視点からも捉え返す。更に「情報の反意語は何か？」という著者独自の視点からも考察した斬新で多角的視野をもった情報社会論。

A 5 上製 130 頁 1900 円 (946-8) [2004]

〈主要目次〉

1 章 欧米の情報社会論 知識産業から情報産業へ 「ノラ・マンク警報」とフランスの情報社会論 「第3の波」の衝撃 トフラー他 2 章 日本の情報社会論 情報社会論の始まり ニューメディア論から高度情報社会論へ他 3 章 情報社会論と現代社会論 大衆社会論と情報社会論 産業社会論と情報社会論 消費社会論と情報社会論他 4 章 情報の反意語は何か？ 情報概念の混乱 情報の反意語たち 付論 情報化の指標に関して

橋本満弘・畠山 均・丸山真純 著

教養としてのコミュニケーション

コミュニケーションの根幹を捉えた入門書。日常生活で体験する具体的事柄を例に、コミュニケーションの本質を概説した上、異文化間、時間、文化という視点からコミュニケーションの諸様相を読み解く。

A 5 上製 190 頁 2200 円 (0046-0) [2006]

〈主要目次〉

序章 コミュニケーション communication こみゆにけーしょん
1 章 コミュニケーションとは何だろうか シンボル活動としてのコミュニケーション他 2 章 遠心的活動としてのコミュニケーション ことばの体得と表現他 3 章 異文化コミュニケーション：自己観からのアプローチ 自己観と文化 4 章 時間と文化 私たちと異なる時間意識他

嶋根克己・藤村正之 編著

非日常を生み出す文化装置

現代社会において、無意味化しつつあるといわれる「日常と非日常」を多様な側面から読み直し、新たな日常—非日常の機能を探る。文化論的視点から具体的な検証を行い、現代という時代の一面への照射を試みる。

A 5 上製 200 頁 2400 円 (799-6) [2001]

〈主要目次〉

- 1 非日常を生み出す文化装置—日常と非日常の社会学にむけて
- 2 現代社会における日常／非日常の構図—高度消費社会への動的スタンス
- 3 音楽は非日常を作り出すか—メディア社会における音楽
- 4 社会を喪失した子どもたち—飽和社会における禁欲のエートスの機能不全と少年犯罪
- 5 メディア消費化する海外旅行
- 6 〈食〉という文化装置
- 7 都市空間における墓地
- 8 グロテスクなものとしての始原的世界

藤竹 暁 著

環境になったメディア [改訂版]

マスメディアは社会をどう変えているか

我々の生活はメディアなしには成立しえなくなっている。マスメディアと人間の関係に力点を置き、消費から政治まで社会生活全ての面に見てとれる現代のメディア社会の特質をシャープに論じた入門書。

A 5 上製 180 頁 2000 円 (0149-0) [2008]

〈主要目次〉

コミュニケーションとは メディアの発達とパーソナル・コミュニケーション マス・コミュニケーションの時代 人間環境とマスメディア ジャーナリズムの成立 マス・メディアの論理 マスメディアは人間の生活を変えた メディア享受空間の変化 オーディオ・ビジュアルな時代のはじまりと大衆文化 放送の日常化と同時体験の時代 心理戦争がはじまった 広告の時代 テレビが政治手法を変えた 高度成長社会に生きる人間他

福田 充 著

リスク・コミュニケーションとメディア

社会調査論的アプローチ

リスクに関する情報伝達のリスク・コミュニケーションにおいて、メディアはどのような力を持ちどのような機能を果たすべきかを実証的に検証すると同時に、方法としての社会調査法と論文作法を学ぶ。

A 5 上製 144 頁 1900 円 (0222-0) [2010]

〈主要目次〉

- 1 「リスク社会」の到来 ベックのリスク社会論
- 2 リスク・コミュニケーション研究 リスク・コミュニケーションとクライシス・コミュニケーション
- 3 リスクとメディアに関する調査計画と仮説
- 4 現代人の持つリスク意識とその構造 リスク認知とリスク不安
- 5 リスク・コミュニケーションとメディア メディアからリスク意識への心理プロセス
- 6 リスクに関する社会教育の可能性
- 7 結果の考察とまとめ 他

福田 充 編著

大震災とメディア

東日本大震災の教訓

東日本大震災で、被災地メディアの問題が浮き彫りになり、また震災を報道するメディアのあり方にも様々な論議が持ち上がった。本書はこれらの問題を総括し、災害時有効な新たなメディアの展望を示す。

A 5 上製 182 頁 2200 円 (0332-6) [2012]

〈主要目次〉

- 序 東日本大震災の発生
- 1 東北の被災地におけるメディア
 - 2 震災におけるメディア
 - 3 震災のための支援活動
 - 4 震災がもたらした負の側面
 - 5 メディアが人々に与えた影響
- 終 大震災で求められるメディアのあり方

橋本満弘・畠山 均・清水孝子・八尋春海 編著

人・言葉・社会・文化とコミュニケーション

コミュニケーションの諸相を古今東西の日常生活から異文化間コミュニケーションまで様々なテーマから読み解く。コミュニケーション研究の多様性、厚みと可能性を浮き彫りにしたユニークなテキスト。

A5 上製 210 頁 2300 円 (0129-2) [2008]

〈主要目次〉

第1編 九州におけるコミュニケーションの史的研究 第1章 通事(詞)考 第2章 模合にみる沖縄人(ウチナンチュ)のコミュニケーションについて 第2編 日常生活における言語表記と表現 第1章 日常会話とは何か 第2章 日本人の言語観再考 第3章 福岡県における交通表示の言語表記に関する調査(八尋春海) 第3編 伝達と理解について 第1章 〈対話〉とコミュニケーション 第2章 誤解の検証 第3章 政治とエンターテインメント 第4編 明治の言語とメディア

鍋倉健悦 編著

異文化間コミュニケーションへの招待

異文化の理解から異文化との交流に向けて

好評の前著『日本人の異文化コミュニケーション』を全面的な改訂と補充を加えてさらに充実。アメリカを中心として基本的理論と多くの事例を紹介した現代における稔りある異文化交流・理解の手引書。

A5 上製 208 頁 2300 円 (673-6) [1998]

〈主要目次〉

1 異文化間コミュニケーションへの招待 2 文化とコミュニケーションのかかわり コミュニケーションの定義・レベル・能力他 3 言語によるコミュニケーション 言語コミュニケーションと世界観他 4 非言語によるコミュニケーション 非言語コミュニケーションの定義・特質・範囲・普遍性と個別性他 5 カルチャーショック カルチャーショックの定義・種類・徴候・要因・予防 6 異文化間コミュニケーションの教育と訓練

増子勝義 著

福祉文化の協奏

[近刊]

佐瀬一男・栗原淑江 著

女性たちのチャレンジ

過去・現在・未来

なぜ女性の視点や発想、生活感覚は社会や思想に反映され難いのか——歴史をひもときながら、従来の女性学を男性も貢献すべき人間学と位置づけ、現代社会における真の「女性の解放」を問う挑戦の書。

A5 上製 227 頁 2400 円 (0400-2) [2014]

〈主要目次〉

1 はじめに 2 歴史をひもとく(女性の視点からみた社会・思想・文化 諸宗教にみる女性観) 3 「女らしく」から「自分らしく」へ(フェミニズムの誕生と展開 女性学の成立と課題 ジェンダー・スタディーズ 世界の潮流) 4 現代社会の女性をめぐる諸問題(家族における女性 職場における女性 教育における女性 高齢社会における女性 メディアにおける女性 身体性と女性 犯罪と女性) 5 おわりに

高橋 準 著

ジェンダー学への道案内 [四訂版]

〈主要目次〉

1章 そもそも話のはじまりは—ジェンダーって何? ジェンダーという概念 他 2章 時には過去も振り返り—フェミニズムの思想と運動 3章 生きていくのに必要なこと—労働とジェンダー性の違いが扱いの違い? 他 4章 あなたの大切な人たち—〈家族〉とジェンダー 家族の「当たり前」を問い直す 他 5章 自分のところ、自分のからだ—セクシュアリティとジェンダー・アイデンティティ 6章 困った時の、何頼み?—災害とジェンダー／セクシュアリティ 他

ジェンダーの基礎概念・思想の歴史を概説すると共に、最新の研究動向を盛り込みつつ、労働、家族、セクシュアリティとジェンダー・アイデンティティ・災害等を様々な角度から焦点を当て分かりやすく論考した。

A 5並製 204頁 2100円 (0425-5) [2014]

中條 献 著

歴史のなかの人種

アメリカが創り出す差異と多様性

〈主要目次〉

はじめに 人種を考える 1章 国勢調査のなかの人種—なぜ分類なのか センサスとその政治的背景 顕在化してゆく人種他 2章 歴史学と人種／人種の歴史学—カテゴリーの再考 人種概念の歴史 人種を歴史化する他 3章 アメリカの奴隷制度と人種—奴隷であること、黒人であること 北米植民地と奴隷制度他 4章 近代国民国家アメリカと人種社会—人種化するアメリカ人 5章 抵抗する黒人の思想 歴史のなかの人種他

アメリカの「民主主義・発展・自由」の陰に潜む複雑な人種・民族問題、国家概念、支配・差別構造を歴史史料の緻密な分析を基に鋭く解き明かす。人種概念を読み解きながら「アメリカ」を浮彫りにする。

A 5上製 216頁 2400円 (936-0) [2004]

本田毅彦 編著

つながりの歴史学

〈主要目次〉

第Ⅰ部 歴史学の歩み (1 中国古代の人びととその「つながり」 2 日本中世社会の新しい枠組み 3 幕藩関係史の研究動向 4 権力とコミュニケーション) 第Ⅱ部 歴史学の可能性 (5 中国古代郷里社会の「きずな」と「しがらみ」 6 一味と逃散 7 内願と幕藩関係 8 英領インド帝国の多角的なコミュニケーション)

歴史学研究の最先端の面白さを味わってもらうために編まれた入門書。「つながり」「結びつき」「コミュニケーション」をキーワードに、日本史・東洋史・西洋史の研究者が垣根をこえ歴史理解の視座を提起。

A 5並製 222頁 (0473-6) 2300円 [2015]

内村理奈 編著

ファッションビジネスの文化論

〈主要目次〉

1 ファッションビジネスと服飾文化のために 2 日本の伝統の再発見：染め型紙の可能性 3 トップモードを担ってきた染織 4 仕立て替えの文化：小袖・能装束の修復実例を通して 5 時代をひらくデザイナー 7 人生を彩る服飾 8 ファッション誌の過去と現在、未来 9 ファッション産業の歴史とグローバル化 10 ラグジュアリーブランドの社会貢献、文化貢献 11 ファッションと倫理：エシカルファッション

今日のファッション業界における経済優先とグローバル化による伝統文化軽視への危機感を背景に、服飾の多様なあり方を再発見し、日本発のラグジュアリーの可能性を示す。学生・業界人必読のテキスト。

A 5並製 224頁 2300円 (0433-0) [2014]

内村理奈 著

ヨーロッパ服飾物語

ヨーロッパ服飾文化の洞察を通し、当時の人々の、ものの考え方や感じ方・美意識・生き方等を読み解く西洋服飾史の入門書。文献資料・図像資料も豊富。

A5並製 174頁 2300円 (0501-6) [2016]

〈主要目次〉

- 1 白い下着
- 2 肌の白さ
- 3 漂白
- 4 白さのヒエラルキー
- 5 男になる
- 6 脱帽
- 7 喜劇
- 8 身体技法
- 9 品格
- 10 従う
- 11 誘惑する
- 12 愛を伝える
- 13 崩す
- 14 逸脱する
- 15 服飾が語るロココの女王：ツワイク『マリー・アントワネット』
- 16 緑のドレスと針仕事：ミッチェル『風と共に去りぬ』

富川淳子 著

ファッション誌をひもとく

人気女性誌元編集長の著者が、作り手の視点からファッション誌の歴史や仕組みをひもときながら、メディアや流行などの研究におけるその資料的価値を再発見し、ファッション誌という文化を考査した。

A 5並製 124頁 1700円 (0470-5) [2015]

〈主要目次〉

- 1 日本の女性誌の誕生にみる「雑誌は時代の鏡」
- 2 ファッション誌の歴史
- 3 雑誌のターゲットとコンセプト
- 4 雑誌と広告
- 5 ファッションページの流行特集
- 6 ファッションページの着回し特集
- 7 おしゃれスナップ 特集雑誌調査に役立つ図書案内 / 用語解説 / 関連年表

木谷 厳 編著

文学理論をひらく

今日の人文学軽視の風潮を文学研究の内在的危機と捉え直し、見落とされがちな文学理論の教育的価値を新たに構築する実践型入門書。精神分析からポストコロニアル研究まで理論の最前線がここにある！

A 5並製 208頁 2300円 (0430-9) [2014]

〈主要目次〉

- I部 テキストをひらく（意識から無意識へ：夢・動物・おとぎ話、女同士の絆、ヘンリー・ジェイムズの『ねじの回転』と精神分析・クティア批評、“ポスト”フェミニズム理論：「バックラッシュ」とヒロインたちの批判精神、『ハックルベリー・フィンの冒険』における人種の境界線）
- II部 理論をひらく（ド・マンの精読とアイロニー、平成の三四郎たちへ：グローバル時代の移住者として、作者の死と読者の誕生、「美感的なもの」の快楽と文学研究の現在）他

石塚正英 編

歴史研究の基本

酒井三郎「史学概論講義」、綱川政則「歴史哲学と歴史観」を収録し、新たな世界観・社会観を構想する著者独自の概念「多様化史観」をもって歴史学研究と教育について、その意味と方向を鮮明に提示した好書。

四六上製 150頁 1800円 (0037-1) [2006]

〈主要目次〉

- 第1部 史学概論 歴史とは 歴史学 歴史的認識 史料 史料の処理 理解と表現 歴史学に関連する諸学－哲学・経済学・社会学・政治学他 史観 歴史区分論 歴史教育論
- 第2部 歴史学と歴史観 歴史哲学と歴史観 歴史観の推移 歴史哲学の成立と展開 歴史主義 歴史認識論
- 第3部 歴史知と多様化史観 文化史と世界史 歴史意識と歴史知 多様化史観 循環と進歩の相互的連合へ 補論 翻訳語としての「歴史」について

M. ブーロンニユ・ガルサン・P. モッセ
井部俊子・原山 哲 共著

ケアの組織を比較する パリと東京

〈主要目次〉

序論 複数の次元「まとも」 1章 ケアのプロフェッションの生成 フランスのプロ
フェッショナルリズム 日本の教育における医師の支配 2章 ジェンダーの脱構築 3
章 キャリアの形成からコーディネーションへ—パリ 4章 制度への非統合から統合へ
—東京 5章 病院の経済 フランスの病院 日本の病院 結論 ケアの組織論

医療をめぐり、医師の技術、病院の経済とともにケア
の質が問われている。フランスと日本の看護士たちは、
新しいケアのあり方を構築する担い手となることが出
来るのか。国際比較により今後の医療組織を探索する。

A 5並製 166頁 2200円 (0069-X) [2006]

アリーナ・ウー 著

西洋音楽鑑賞入門

〈主要目次〉

はじめに 鑑賞の本質 歴史を知ることの意味 第一章 西洋音楽の理解 第一項 音
第二項 音楽の意味 第三項 音楽の不思議——ギリシャ人の音楽の捉え方—— 第二章
西洋音楽の基礎 第一項 理論の原点 第二項 リズム 第三項 旋律 第四項 音
程 第五項 音 階 第三章 西洋音楽の知識 第一項 音楽の形 第二項 作品の理解
あとがき 音楽史年表

ピアニストの著者が大学で音楽の楽しみを教え始め
て四半世紀。どうしたら音楽の世界の素晴らしさを
伝えることができるのか。格闘の中で作り上げた音
楽鑑賞入門書としての西洋音楽の理解と基礎と知識。

A 5並製 152頁 2100円 (0417-0) [2014]

家田愛子 編著

18歳からの教養ゼミナール

〈主要目次〉

世界は人権問題にみちている？ ジェンダーフリーに生きる セクシュアル・ハラスメントはな
ぜ起きるのか 政治参加への視点 男女差別の現実 過労死あるところに少子化あり クルマ社
会を考える 若者の健康管理を喫煙から考える エイズと人種 ケータイの功罪と消費者 地球
規模の環境問題とは？ レポート・レジュメ作成の心構え レポートの書き方 図書館は君の情報
報収集基地だ インターネットで何が調べられるのか？ 他

社会で最低限必要な教養・モラル・知識を第1部テーマ
スタディで専門研究者によって解説。知的好奇心を持っ
た読者の学習を助けるよう工夫。第2部は学びにあたり
資料検索・収集、発表やレポート作成の方法を平易に説述。

A 5並製 222頁 2400円 (992-1) [2005]

中山智晴 著

地球に学ぶ [第3版]

人、自然、そして地球をつなぐ

〈主要目次〉

1 私たちの地球 2 環境保護の思想—その流れ 3 私たちを取り巻く環境 4 生き物と人の
バランス—生活環境の問題 5 人と地域のバランス—社会環境の問題 6 地域と生態系のバ
ランス—自然環境の問題 7 生態系と地球のバランス—地球環境の問題 8 人、そして地球一つ
なぐ 9 美しき地球のかたち おわりに—この美しき星に生まれて

人、自然、地球が有機的につながり循環しているこ
とを理解するための入門書。自然のしくみを解説し
つつ、現代の地球汚染などの様々な問題と課題を解
説し、問題解決へ向けての提言も行った充実の書。

B 5並製 408頁 2900円 (0480-4) [2016]

中山智晴 著

競争から共生の社会へ [改訂版]

自然のメカニズムから学ぶ

〈主要目次〉

1 命あふれる自然の仕組み（遺伝子・種の多様性 生態系内での物質循環 生態系の範囲と平衡 景観の多様性）2 生物多様性を保全する（絶滅しやすい種を考える 個体群を保全する 生息地を保全するために）3 大きくなりすぎた人間社会（望ましい社会のあり方）4 自然のメカニズムから学ぶ共生 5 私たちの進むべき道（共生理念に基づく社会 自然の恵みを賢く使う社会 自然の恵みを豊かにする社会）6 21世紀の共生社会を考える 等

生物多様性を高めるために必要な遺伝子・種・生態系の仕組みを概説し、それらへの人間の活動の影響を明らかにする。その上で持続可能な共生社会を自然の仕組みを参考にして考察し実践的な活動を紹介。

A 5 並製 214 頁 2300 円 (0491-0) [2016]

佐藤 暢 著

地球の科学

変動する地球とその環境

〈主要目次〉

1 惑星地球の概要 地表の様子 地球の内部構造 2 プレートテクトニクス 大陸移動説 地球の磁場 海洋底拡大説 3 地震の科学 破壊と地震 地震災害 4 マグマ学 プレート境界のマグマ学 火山の形態と噴出物 5 地球の年代学 6 地球環境の変遷 地球と生命の誕生 大陸の形成と環境変化 7 新生代の地球環境と人類 人類の進化と地球環境 8 応用地球科学 日本列島の形成 比較惑星学 レアメタルとレアアース メタンハイドレード

現在地球上で生じている火山や地震等の現象やこれまでの地球環境の変遷を、実際の観測結果や観測データ、研究結果に基づく図版や表等を豊富に掲載する事により、理解が深められるよう解説した、わかりやすい好テキスト。

B 5 並製 144 頁 2100 円 (0394-4) [2013]

由井秀樹 編著

少子化社会と生殖・養育 (仮題)

テーマでひらく学びの扉

不妊や養子縁組、子育て支援や出生前診断など、生殖と養育をめぐるトピックについて、歴史的背景と現状を初学者にもわかりやすく解説。「少子化対策」をより多層的に議論するための視点を提示する。

四六並製 [近 刊]

言語・経済・科学 他

榎本正嗣・長野 正 著

音からことばへ

音声学的な分析により日本語の音構造を図表や具体例を多用し分かり易く解説。第1部では日本語音声、語彙形成、間違い易い発音等を扱い、第2部では語彙の特徴と使い方、話し言葉の教育的側面を扱う。

A 5並製 142頁 1700円 (0092-9) [2007]

〈主要目次〉

第1部 音声編 1 日本語発音の基礎 基本的発音記号を知る 日本語母音の調音点と発音特徴 2 文字・語の発音 語形成 語形成と音変化 3 日本語発音の現状と問題点
言語発達段階による発音特徴 若者ことば 日本語学習者が起こしやすい発音間違い 第2部 語彙・指導編 1 日本語の語彙 2 日本語の方言と共通語 3 話しことばの学習
ことばと人間形成 ことばの学習 話しことば指導の目標 日本語の特色をふまえて話す

佐藤 誠 著

日本語表現法Ⅱ

人生を変える話し方

元NHKエグゼクティブアナウンサーの著者が発声・発音から滑舌、敬語の使い方、そして面接時のテクニックまで、話し方が上達するノウハウを分かり易く解説。自分のスタイルを確立するヒントを掲載。

四六並製 208頁 1900円 (0380-7) [2013]

〈主要目次〉

1 発音・発声の基礎 2 滑舌 3 ニュースを読む 4 文章を読む 5 ナレーション 6 自己紹介に挑戦! 7 面接と自己PR 8 会話能力をどう磨くか? 9 コミュニケーション 10 なぜ話し方が重要なのか? 11 面接のテクニック 12 電話のかけ方 13 敬語の役割と種類 14 接遇 15 報告のポイント 16 魅力的な話し方 17 笑いをとる 18 スピーチ 19 話を構成する 20 司会 21 特別講義 付録①～⑫

藤本一司 著

素晴らしきドイツ語の世界 [改訂版]

「あなたへの敬意」から生まれた言語

ドイツ語の根底に流れる「あなた」や「万象」に対する敬意の文化を切り口に、ドイツ文化やドイツでのエピソードを交えつつ、会話、文法の基礎、用語を平易に解説。ドイツをもっと知りたくなる入門書。

A 5並製 144頁 1400円 (0493-4) [2016]

〈主要目次〉

アルファベット 発音 こんにちは ありがとう 今日はいいお天気ですね お元気ですか? お名前は? ご職業は? 彼女の事、彼のこと 国籍は? 身近な物 好きな食べ物? レストランで ご趣味は? ご家族は? 贈り物をしよう たくさん遊ぼう!
(助動詞、前置詞) 旅をしよう! (分離動詞、命令文、現在完了) お会いできて、うれしいです 歌(歓喜の歌・きよしこの夜 他) 単語集 他

佐藤賢一 著

そして数は遙かな海へ 東アジアの数理科学史

近代以前日本・中国・朝鮮・琉球諸島等、東アジアの伝統的な数学や天文学は、貿易、政治、宗教面から互いに影響を受けつつかに発展を遂げていった。科学の裏の政治性をも読み解く。貴重な図版も多数掲載。

A 5 上製 150 頁 1900 円 (988-3) [2005]

〈主要目次〉

- 1 古代中国の数学 時代背景 官僚制と数学他
- 2 古代中国の天文学 易姓革命について 古代中国の宇宙観他
- 3 中世中国の暦算 宋末元の数学 元の授時暦
- 4 明・清期の伝統科学と西洋科学 実学の勃興 典札問題他
- 5 朝鮮半島の伝統化学と「西学」
- 6 琉球諸島の科学史
- 7 古代・中世日本の暦学と算術
- 8 近世日本の数学
- 9 近世日本の暦学
- 10 蘭学と暦算 南蛮天文学他
- 11 日本科学史研究への手引き

芹澤数雄 著

自己愛の経済学序説

利己主義の経済学を超えて

経済学にとって真に解くべき問題は何か。人間性の基盤に立った研究を求め、価値判断からの中立・客観性・効用理論・生産水準重視等の従来の問題を整理し、人間の幸福実現のための経済学をめざす試み。

A 5 上製 218 頁 2300 円 (961-1) [2004]

〈主要目次〉

- 第1章 経済学を批判する 経済学は真の問題を解いているか他
- 第2章 経済学の客観性について 経済学における価値判断からの中立性 価値相対主義を超える他
- 第3章 効用理論の展開の隠された意味 加法的効用関数から一般的効用関数へ他
- 第4章 経済学の科学主義とビグーの厚生経済学 ビグーの危惧と GNP 至上主義の到来他
- 第5章 根源的欲求を求めて
- 第6章 自己愛の経済学序説 付論 自己愛は他者への愛を含む他

黒須純一郎 著

中流階級の経済学

古代から現代に至るまでの経済学の諸説を丹念に考察することにより、脱税せびらかし、脱競争社会を提言する。あるべき経済の姿、社会の姿を模索し、人間の幸せとは何かを考究したユニークな経済書。

四六並製 284 頁 2700 円 (0193-3) [2009]

〈主要目次〉

- 1 アリストテレスの中庸の徳—ほどほどをもって良しとせよ
- 2 トマス・アウイナスの貪欲の罪
- 3 デイヴィッド・ヒュームの市民の国—中流階級を育成すべし
- 4 アダム・スミスの自然調和の社会
- 5 カール・マルクスの階級対抗社会—疎外された労働と過剰生産の世界
- 6 ソースタイン・ヴェブレンの見せびらかしの消費の世界—大衆社会のわな
- 7 スーザン・ストレンジのカジノ資本主義—これ以上金融センターはいらない 他

小島照男・渡邊修朗・神余崇子 著

経済原論

最新の研究成果を踏まえ、コンパクトにまとめた入門書。現実の様々な問題を考えることができるよう、思考用具としての諸理論と諸法則、諸定理を紹介。

A 5 上製 198 頁 2300 円 (0232-9) [2010]

〈主要目次〉

経済学の基礎概念 市場メカニズム 受容と供給の理論 消費者余剰・生産者余剰 市場の失敗 消費者行動の理論 不確実性 生産者行動の理論 独占の理論 その他の不完全競争理論 競争均衡とパレート最適 一般均衡理論 国際貿易 国民所得の諸概念 45 度線分析 ギャップ分析 財政政策 投資の決定と利子率 ゲーム理論 他

坂本幹雄 著

経済学入門

経済学の基本的な概念・発想・思考法を身につけられるよう、体系的にミクロ理論、マクロ理論、国際経済論を図版や数式も盛り込み分かりやすく解説した入門書。政策的議論を展開し財政学理解をも促す。

A 5並製 256頁 2500円 (0246-6) [2010]

〈主要目次〉

- 1 基礎概念 2 市場均衡論 3 消費理論 4 生産理論 5 不完全競争論 6 公共経済論 7 国民所得統計 8 国民所得決定論 9 貨幣論 10 IS-LM 分析 11 AD-AS 分析 12 経済成長論 13 国際経済論

世良耕一 著

コース・リレーテッド・マーケティング 社会貢献とマーケティングに活かす戦略

マーケットにおける進展の一つ「企業の社会貢献活動」をマーケティング活動の一環と位置づけるコース・リレーテッド・マーケティングに着目し、その定義や位置づけ、実施時の効果や留意点等事例をひき検証する。

A 5上製 240頁 2500円 (0416-3) [2014]

〈主要目次〉

- 1 コース・リレーテッド・マーケティングとは 2 コース・リレーテッド・マーケティングの効果 3 コース・リレーテッド・マーケティングと CSR 4 コース・リレーテッド・マーケティングのマーケティング研究における位置づけ 5 コース・リレーテッド・マーケティングを用いた戦略の検証 6 コース・リレーテッド・マーケティング実施時の留意点とその検証 7 日本でのコース・リレーテッド・マーケティング受容に必要な俯瞰

江口善章 著

統計解析の基礎

[増補改訂版]

統計学の初學者向けのコンパクトな入門テキスト。身近な例を多くひきながら、手順に沿って丁寧に解説。統計解析の捉え方、統計解析の有効性と限界を具体的に平易に理解できるよう編まれたテキスト。

A 5並製 200頁 2200円 (0420-0) [2014]

〈主要目次〉

- 1 平均と分散 2 母集団と標本 3 母平均の区間推定 4 仮説検定 5 母平均の差の検定 6 比率の検定 7 母分散の推定と検定 8 分散分析 9 独立性の検定 10 相関係数 11 回帰分析 12 多変量回帰分析 13 離散データの回帰分析 付録 A 統計数値表 (標準正規分布表 t 分布表 2 分布表 F 分布表右裾 5% 点) 付録 B EXCEL 関数表 (主な統計関数表 主な算術関数表)

川又俊則 著

数字にだまされない生活統計

統計リテラシー、社会調査実査の方法、データ分析の方法を分かりやすく身近な例を基に具体的に解説する。数字にだまされず、使いこなす術と分析力・思考力を楽しく身につけられるユニークな入門書。

A 5並製 194頁 2100円 (0361-6) [2013]

〈主要目次〉

- 第1部 数字の読み方・だまし方—統計リテラシー編 (グラフを使いこなそう 貯蓄1664万円の恐怖 25%は30%より上? いじめ「ゼロ」のウソ 調査法の変遷) 第2部 調査に必要な「イ・ロ・ハ」—社会調査実査編 (調査の前に考える 何を聞けばわかるのか 内閣支持率はなぜ違うのか 調査の流れ) 第3部 統計の基礎とExcelの処理—データ分析 (偏差値って何? 集めたものを整理する 見かけと中身が違う! 検定しましょう 分析結果のまとめ方、報告の仕方)

藤澤宏幸 著

ヒトはなぜ坐れるのか？

比較形態学からみた身体運動と姿勢の再発見

初学者読者のための入門書。人間や動物の日常の動きから、筋肉や骨格のメカニズム、運動の不思議を分かりやすく解説。また、各節のテーマに沿った美術作品の写真も多数掲載し、読者の興味を惹起する。

四六上製 112 頁 1600 円 (0304-3) [2011]

〈主要目次〉

- 1 ヒトはなぜ坐れるのか 2 ヒトはなぜ仰向けで寝られるのか 3 ヒトはなぜボールを投げることができるのか 4 ヒトはなぜ釘を打てるのか 5 ヒトはなぜ箸を使えるのか 6 ヒトはなぜ長く立っていられるのか 7 ヒトはなぜ速く歩くことができるのか 8 ヒトはなぜ滑らかに方向転換できるのか 9 ヒトはなぜバットを振ることができるのか 10 ヒトはなぜお腹を引っ込めていられるのか 付録(骨と運動の名称の図)

藤澤宏幸 著

理学療法の基層

人間学としての思想に向き合うための 15 章

理学療法の起源と歴史、根幹をなす思想や倫理観、関連する法や医療制度の背景まで、多角的に網羅した書。本質的な人間理解を基盤とした理学療法のあり方について、人間学の視座から解き明かした好著。

A5 上製 218 頁 2400 円 (0510-8) [2016]

〈主要目次〉

- 序 人間学としての理学療法 1 理学療法の起源と歴史 2 理学療法士養成教育の歴史 3 理学療法と関連法規 4 リハビリテーションの思想 5 理学療法の学問体系と理学療法モデル 6 理学療法の実践 7 障害受容 8 生きがいと働きがい 9 日本人の宗教観と文化 10 権利と義務 11 学ぶということ 12 理学療法と研究 13 理学療法士の役割とチーム医療 14 医療制度 15 理学療法の未来 おわりに 心ある医療人になるために

初年次教育

南田勝也・矢田部圭介・山下玲子著

ゼミで学ぶスタディスキル

[改訂版]

大学での学ぶ技法がぎゅっと詰まった入門書。情報やテーマ収集のアンテナの張り方から、講義の受け方のコツ、ゼミ活動のツボ、文献集めの技、レポート作成、発表のスキルまで、至れり尽くせりの好著。

A 5 上製 166 頁 1900 円 (0355-5) [2013]

[第 3 版近刊]

〈主要目次〉

- 1 大学に入ったら
- 2 ノートのとり方
- 3 要約の仕方
- 4 図書館を利用しよう
- 5 本のレビューとレコメンド
- 6 レポート作成 1：問題設定
- 7 レポート作成 2：アウトラインの作成
- 8 レポート作成 3：先行研究の調査
- 9 レポート作成 4：二次資料を利用した調査編
- 10 レポート作成 4：実査編
- 11 レポート作成 4：ワークショップ調査編
- 12 レポート作成 5：引用・参考文献の作成
- 13 レポート課題提出と反省点の振り返り
- 14 レジユメの作成
- 15 自説発表と議論

内田詔夫 著

論理の基礎と活用

知識成長・問題解決・論述文読み書きのために

論理の意義や仕組み、使い方を日常的事例に即して分かりやすく説明し、自ら活用できる力を養えるテキスト。また、チェックポイントで要点を確認し、問題を解きながらトレーニングができる実践的な書。

A 5 並製 144 頁 2000 円 (0334-0) [2012]

〈主要目次〉

- 1 主張相互の関係
- 2 暗黙の前提
- 3 妥当な推論
- 4 「ならば」と「または」—論理力トレーニングⅠ
- 5 「すべて」と「ある」—論理力トレーニングⅡ
- 6 妥当性の証明—論理力トレーニングⅢ
- 7 推論と推測、演繹と帰納
- 8 知識成長・改善と論理
- 9 問題解決と論理
- 10 論述文と論理
- 11 論述文読み書きトレーニング
- 12 記号論理の基礎—論理力トレーニングⅣ

家田愛子 編著

18歳からの教養ゼミナール

社会で最低限必要な教養・モラル・知識を第 1 部テーマスタディで専門研究者によって解説。知的好奇心を持った読者の学習を助けるよう工夫。第 2 部は学びにあたり資料検索・収集、発表やレポート作成の方法を平易に説述。

A 5 並製 222 頁 2400 円 (992-1) [2005]

〈主要目次〉

世界は人権問題にみちている？ ジェンダーフリーに生きる セクシュアル・ハラスメントはなぜ起きるのか 政治参加への視点 男女差別の現実 過労死あるところに少子化あり クルマ社会を考える 若者の健康管理を喫煙から考える エイズと人種 ケータイの功罪と消費者 地球規模の環境問題とは？ レポート・レジユメ作成の心構え レポートの書き方 図書館は君の情報収集基地だ インターネットで何が調べられるのか？ 他

若山 昇 著

誰でもわかるクリティカルシンキング

それって、ホント？

〈主要目次〉

1 部 基礎編：クリティカルシンキングとは 1 章 「なぜ？」を何度も投げかけよう（おかしい日本語
ニュースのなぜ 世界地図の不思議 他） 2 章 手で考えよう（演繹法を正しく使おう 帰納法を正しく
使おう 仮説って何？ MECE・ロジックツリー・マトリックス分析とは） 3 章 立場を替えて考えよう
（前提を疑おう 自分の考えを疑おう 推論の罠） 2 部 応用編：とっても楽しい就活 4 章 就活をクリ
ティカルシンキングしてみよう（自己分析をしてみよう アクション・プランを作成し、実行しよう 他）

論理的な思考法の活用と応用や問題発見・解決の方法等が身に付くための実践型ワークやユニークなワークが織り込まれた入門書。初学者が楽しく学び、そしてじっくり考えることができるよう編まれた。

B5 並製 152 頁 2000 円 (0374-6) [2013]

大多和直樹・山村 豊 編著

研究小僧の思考法とツール (仮題)

[近 刊]

研究を通じた社会参加のために

木村玲欧 著

グループワークとワークショップ の能力開発 (仮題)

[近 刊]